

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2011-520191

(P2011-520191A)

(43) 公表日 平成23年7月14日(2011.7.14)

(51) Int.Cl.

G06Q 40/00

(2006.01)

F 1

G 06 F 17/60

2 3 4 A

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 66 頁)

(21) 出願番号 特願2011-507691 (P2011-507691)
 (86) (22) 出願日 平成21年5月1日 (2009.5.1)
 (85) 翻訳文提出日 平成23年1月4日 (2011.1.4)
 (86) 國際出願番号 PCT/US2009/042568
 (87) 國際公開番号 WO2009/135154
 (87) 國際公開日 平成21年11月5日 (2009.11.5)
 (31) 優先権主張番号 61/174,367
 (32) 優先日 平成21年4月30日 (2009.4.30)
 (33) 優先権主張国 米国(US)
 (31) 優先権主張番号 61/050,080
 (32) 優先日 平成20年5月2日 (2008.5.2)
 (33) 優先権主張国 米国(US)

(71) 出願人 510291482
 ステイト・ストリート・コーポレーション
 アメリカ合衆国マサチューセッツ州021
 11, ボストン, リンカーン・ストリート
 1
 (74) 代理人 100140109
 弁理士 小野 新次郎
 (74) 代理人 100075270
 弁理士 小林 泰
 (74) 代理人 100080137
 弁理士 千葉 昭男
 (74) 代理人 100096013
 弁理士 富田 博行
 (74) 代理人 100153028
 弁理士 上田 忠

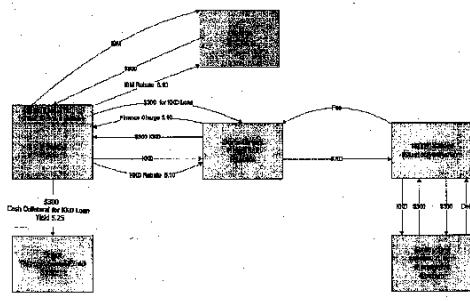
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 証券のカストディおよびプリンシバル方式レンディング改良のためのコンピュータ・システム・アキテクチャおよびコンピュータ実装方法

(57) 【要約】

コンピュータ・システムは、あるエンティティの貸出口座からそのエンティティの借入口座に証券を貸し出すためにプリンシバル方式レンディングを実行し、この場合、エンティティはプリンシバルとして振る舞う。本システムは、エンティティの貸出口座から借入に利用可能な証券のアベイラビリティを示す証券アベイラビリティ情報を格納するように構成されているコンピュータ・データベースと、プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムによって実施されるコンピュータ・サーバ・システムとを含む。プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムは、借入口座に対する証券の空売り指示を電子的に受信し、空売りした証券のカストディを少なくとも1つの貸出口座からプリンシバルに移転するために、第1移転命令をカストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信し、空売りした証券のカストディをプリンシバルから借入口座に移転するために、第2移転命令をカストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するように構成されている。コンピュータ実装方法および種々の代替実施形態も開示する。

The Financing Trade



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

エンティティによって管理されている証券に対してプリンシパル方式レンディング・トランザクションを実行し、前記エンティティの貸出口座から前記エンティティの借入口座に前記証券を貸し出すためのコンピュータ実装方法であって、前記エンティティは前記トランザクションにおいてプリンシパルとして振る舞い、前記方法は、

前記プリンシパル方式レンディング・コンピュータ・システムから証券アベイラビリティ情報を電子的に送信して、前記エンティティの貸出口座から借り入れるために利用可能な証券のアベイラビリティを示すステップと、

借入口座に対する証券の空売り指示を電子的に受信するステップと、

前記空売りした証券のカストディを少なくとも1つの貸出口座から前記プリンシパルに移転するために、第1移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するステップと、

前記空売りした証券のカストディを前記プリンシパルから前記借入口座に移転するために、第2移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するステップと、

を備えている、コンピュータ実装方法。

【請求項 2】

請求項1記載のコンピュータ実装方法において、前記空売り指示は、借入口座による空売りを検出するために取引コンピュータ・システムを監視することによって前記空売りの後に受信される、コンピュータ実装方法。

【請求項 3】

請求項1記載のコンピュータ実装方法において、前記空売り指示は、前記空売りの前に、借入要求として受信され、前記証券アベイラビリティ情報に基づいて、借り入れる証券を特定する、コンピュータ実装方法。

【請求項 4】

請求項3記載のコンピュータ実装方法において、前記借入要求は、投資マネージャから前記借入口座に対して受け取られる、コンピュータ実装方法。

【請求項 5】

請求項1記載のコンピュータ実装方法において、証券アベイラビリティ情報を電子的に送信する前記ステップは、

借入のために求められる証券を特定する証券位置特定要求を電子的に受けるステップと、

借入のために求められる証券のアベイラビリティを示す証券位置特定要求応答を電子的に送信するステップと、

を備えている、コンピュータ実装方法。

【請求項 6】

請求項5記載のコンピュータ実装方法において、前記証券位置特定要求は、投資マネージャから前記借入口座に対して受信される、コンピュータ実装方法。

【請求項 7】

請求項1記載のコンピュータ実装方法において、前記貸出口座および前記借入口座は、双方共前記エンティティの同じクライアントに属する、コンピュータ実装方法。

【請求項 8】

請求項1記載のコンピュータ実装方法において、前記証券アベイラビリティ情報は、プリンシパル方式レンディング・トランザクションに関与することを試みる貸出口座からの情報に基づいて、前記プリンシパル方式レンディング・コンピュータ・システムに格納される、コンピュータ実装方法。

【請求項 9】

請求項8記載のコンピュータ実装方法において、プリンシパル方式レンディング・トランザクションに関与しようと試みる貸出口座からの前記情報は、前記エンティティの貸出

10

20

30

40

50

エージェントから受信される、コンピュータ実装方法。

【請求項 1 0】

請求項 1 記載のコンピュータ実装方法であって、更に、プリンシバル方式レンディング・トランザクションのために現金担保を得るために、前記借入口座によって保持されている買い持ち証券のプローカに対する貸出トランザクションを開始するステップを備えている、コンピュータ実装方法。

【請求項 1 1】

請求項 1 記載のコンピュータ実装方法において、前記空売りした証券のカストディを前記プリンシバルから前記借入口座に移転するために、第 2 移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信する前記ステップの結果、前記借入証券の売却の収益が前記借入口座に送信される、コンピュータ実装方法。

10

【請求項 1 2】

請求項 1 1 記載のコンピュータ実装方法において、前記空売りした証券のカストディを前記プリンシバルから前記借入口座に移転するために、第 2 移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信する前記ステップの結果、前記借入証券の売却の収益が前記借入口座に送信され、前記クライアントが、当該クライアントのロング・ポジションを埋めるために前記売却収益を用いて、前記借入口座に対する証券の購入を開始することを可能にする、コンピュータ実装方法。

【請求項 1 3】

エンティティによって管理されている証券に対してプリンシバル方式レンディング・トランザクションを実行し、前記エンティティの貸出口座から当該エンティティの借入口座に前記証券を貸し出すためのシステムであって、前記エンティティは前記トランザクションにおいてプリンシバルとして振る舞い、前記システムは、

20

前記エンティティの貸出口座から借入に利用可能な前記証券のアベイラビリティを示す証券アベイラビリティ情報を格納するように構成されているコンピュータ・データベースと、

前記コンピュータ・データベースに接続されているプリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムによって実施されるコンピュータ・サーバ・システムであって、借入口座に対する証券の空売り指示を受けるように構成されている、コンピュータ・サーバ・システムと、

30

を備えており、

前記プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムは、更に、前記空売りした証券のカストディを少なくとも 1 つの貸出口座から前記プリンシバルに移転するために、第 1 移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信し、前記空売りした証券のカストディを前記プリンシバルから前記借入口座に移転するために、第 2 移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するように構成されている、システム。

【請求項 1 4】

請求項 1 3 記載のシステムにおいて、前記空売り指示は、借入口座による空売りを検出するために取引コンピュータ・システムを監視することによって前記空売りの後に受信される、システム。

40

【請求項 1 5】

請求項 1 3 記載のシステムにおいて、前記空売り指示は、前記空売りの前に、借入要求として受信され、前記証券アベイラビリティ情報に基づいて、借り入れる証券を特定する、システム。

【請求項 1 6】

請求項 1 5 記載のシステムにおいて、前記借入要求は、投資マネージャから前記借入口座に対して受け取られる、システム。

【請求項 1 7】

請求項 1 3 記載のシステムにおいて、前記コンピュータ・サーバ・システムによって証

50

券アベイラビリティ情報を電子的に送信する際、

借入のために求められる証券を特定する証券位置特定要求を電子的に受けることと、

借入のために求められる証券のアベイラビリティを示す証券位置特定要求応答を電子的に送信することと、

に備えている、システム。

【請求項 18】

請求項 17 記載のシステムにおいて、前記証券位置特定要求は、投資マネージャから前記借入口座に対して受信される、システム。

【請求項 19】

請求項 13 記載のシステムにおいて、前記貸出口座および前記借入口座は、双方共前記エンティティの同じクライアントに属する、システム。

【請求項 20】

請求項 13 記載のシステムにおいて、前記証券アベイラビリティ情報は、プリンシバル方式レンディング・トランザクションに関与することを試みる貸出口座からの情報に基づいて、前記プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムに格納される、システム。

【請求項 21】

請求項 20 記載のシステムにおいて、プリンシバル方式レンディング・トランザクションに関与しようと試みる貸出口座からの前記情報は、前記エンティティの貸出エージェントから受信される、システム。

【請求項 22】

請求項 13 記載のシステムにおいて、前記システムは、プリンシバル方式レンディング・トランザクションのために現金担保を得るために、前記借入口座によって保持されている買い持ち証券の貸出トランザクションを開始する、システム。

【請求項 23】

請求項 13 記載のシステムにおいて、前記空売りした証券のカストディを前記プリンシバルから前記借入口座に移転するために、前記システムが第 2 移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するとき、前記借入証券の売却の収益が前記借入口座に送信される、システム。

【請求項 24】

請求項 23 記載のシステムにおいて、前記空売りした証券のカストディを前記プリンシバルから前記借入口座に移転するために、前記システムが第 2 移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するとき、前記借入証券の売却の収益が前記借入口座に送信され、前記クライアントが、当該クライアントのロング・ポジションを埋めるために前記売却収益を用いて、前記借入口座に対する証券の購入を開始することを可能にする、システム。

【請求項 25】

エンティティによって管理されている証券に対してプリンシバル方式レンディング・トランザクションを実行し、前記エンティティの貸出口座から前記エンティティの借入口座に前記証券を貸し出すためのコンピュータ実装方法であって、前記エンティティは前記トランザクションにおいてプリンシバルとして振る舞い、前記方法は、

前記プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムから証券アベイラビリティ情報を電子的に送信して、前記エンティティの貸出口座から借り入れるために利用可能な証券のアベイラビリティを示すことを可能にするステップと、

借入口座に対する証券の空売り指示を電子的に受信することを可能にするステップと、

前記空売りした証券のカストディを少なくとも 1 つの貸出口座から前記プリンシバルに移転するために、第 1 移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信することを可能にするステップと、

前記空売りした証券のカストディを前記プリンシバルから前記借入口座に移転するために、第 2 移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信すること

10

20

30

40

50

を可能にするステップと、
を備えている、コンピュータ実装方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

関連出願に対する相互引用

[0001] 本願は、U.S.C. § 119(e)に基づいて、2008年5月2日に出願され、"SYSTEMS AND METHODS FOR ENHANCED CUSTODY AND PRINCIPAL LENDING OF SECURITIES"（証券のカストディおよびプリンシパル方式レンディング改良のためのコンピュータ・システム・アーキテクチャおよびコンピュータ実装方法）と題する米国仮特許出願第61/050,080号、および2009年4月30日に出願され"SYSTEMS AND METHODS FOR DOMESTIC AND INTERNATIONAL ENHANCED CUSTODY AND PRINCIPAL LENDING OF SECURITIES"（証券の国内および国際的カストディおよびプリンシパル方式レンディング改良のためのコンピュータ・システム・アーキテクチャおよびコンピュータ実装方法）と題する米国仮特許出願第61/174,367号の優先権を主張するものである。これらの特許出願をここで引用したことにより、その内容全体が本願にも含まれるものとする。

10

【従来技術】

【0002】

[0002] 証券貸出(securities lending)または株式貸出(stock lending)は、一当事者による他方への証券の貸出に言及する。ローン(loan)の契約条件(term)は、"Securities Lending Agreement"（証券貸出契約）によって決定され、ボロワーは、レンダーに現金、国債(government security)、または信用状の形態で、貸し出される証券以上の価値がある担保を提供する。貸金に対する支払いとして、両当事者は、貸し付けられる証券の額の年率として時価が示される手数料(fee)を取り決める。同意された担保の形態が現金である場合、手数料は「割り戻し」(rebate)として時価を示してもよい。これが意味するのは、レンダーは、現金担保に生ずる利子の全てを受け取り、同意した利率をボロワーに「割り戻す」ことである。

20

【0003】

[0003] 証券貸出は、合法的であり、世界の主要証券市場の殆どにおいて明確に規制されている。殆どの市場では、証券の借入(borrowing)は、特定的に認可された目的のために行われる事が、指導されている。その目的は、一般に、下記を含む。

30

【0004】

1. 取引の決済を容易にするため。

【0005】

2. 空売り(short sale)の引き渡しを容易にするため。

【0006】

3. 証券に融資する(finance)ため。

【0007】

4. これら認可された目的の1つによって興味を持った別のボロワーへの貸金を容易にするため。

40

【0008】

[0004] 証券が貸し出されるとき、その証券の法的権利(title)はボロワーに移転する。これが意味するのは、ボロワーがその証券を所有するかのように、それを保持する利益(advantage)を有するということである。具体的には、ボロワーは、全てのクーポンおよび/または配当金、ならびに投票権のようなその他のあらゆる権利を受ける。殆どの場合、これらの配当金またはクーポンは、「マニュファクチャード配当」(manufactured dividend)と呼ばれるものの形態で、レンダーに戻されなければならない。証券融資業務を最初に推進したのは、決済不履行を保護するためであった。一当事者が株式を貴方に引き渡し損ねた場合、貴方が既に別の当事者に売却した株式を、貴方は引き渡すことができないことを意味する。決済不履行によって発生する可能性があるコストおよび違約金を回避す

50

るために、ある料金で株式を貸し出し、二番目の当事者に引き渡すことができる。貴方の最初の株式が引き渡し期限になった（または他のソースから得られた）とき、レンダーは同数の株券を、彼らが貸した証券で返還される。証券を借り入れる主要な理由は、ショート・ポジション(short position)を賄うためである。証券を引き渡すことを余儀なくされると、それを借り入れなければならない。契約の満了時には、同等の証券をレンダーに戻さなければならない。この文脈において同等とは代替可能(fungible)であることを意味する。即ち、証券は完全に相互交換可能でなければならない。これを、10ユーロ紙幣を貸すことと比較する。同じ紙幣そのものが戻されるとは思わないであろう。何故なら、どの10ユーロ紙幣でも構わないからである。

【0009】

10

[0005] 証券のレンダーは、貸出可能な証券を利用する機関である。これは、多くの証券を管理下に有するアセット・マネージャ、第三者のために証券を保持するカストディアン銀行(custodian bank)、または資産保持者のカストディアン(custodian)を通じて自動的に証券を利用する第三者のレンダーが考えられる。証券貸出業界の国際取引機関は、International Securities Lending Association(国際証券貸出連合)である。

【0010】

20

[0006] 以下に述べるような、コンピュータ・アーキテクチャおよびこのアーキテクチャ上で実行されるコンピュータ・プロセスによれば、既存の証券貸出プロセスを大幅に改善できることを、本発明者は断定した。

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】

【0011】

[0007] コンピュータ・システムは、あるエンティティの貸出口座からそのエンティティの借入口座に証券を貸し出すためにプリンシパル方式レンディング(principal lending)を実行し、この場合、エンティティはプリンシパル(principal)として振る舞う。本システムは、エンティティの貸出口座から借入に利用可能な証券のアベイラビリティを示す証券アベイラビリティ情報を格納するように構成されているコンピュータ・データベースと、プリンシパル方式レンディング・コンピュータ・システムによって実施されるコンピュータ・サーバ・システムとを含む。プリンシパル方式レンディング・コンピュータ・システムは、借入口座に対する証券の空売り(short sale)指示を電子的に受信し、空売りした証券のカストディを少なくとも1つの貸出口座からプリンシパルに移転するために、第1移転命令をカストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信し、空売りした証券のカストディをプリンシパルから借入口座に移転するために、第2移転命令をカストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するように構成されている。コンピュータ実装方法および種々の代替実施形態も開示する。

30

【0012】

[0008] 本発明の任意の実施形態の中には、空売り(short sale)指示が、借入口座による空売りを検出するために取引コンピュータ・システムを監視することによって空売りの後に受信される場合がある。本発明の任意の実施形態の中には、空売り指示は、空売りの前に、借入要求として受信され、証券アベイラビリティ情報に基づいて、借り入れる証券を特定する場合もある。

40

【0013】

[0009] 本発明の任意の実施形態の中には、借入要求が投資マネージャから借入口座に対して受け取られる場合がある。本発明の任意の実施形態の中には、本システムが、借入のために求められる証券を特定する証券位置特定要求を電子的に受け取り、借入のために求められる証券のアベイラビリティを示す証券位置特定要求応答を電子的に送信する場合がある。

【0014】

[0010] 本発明の任意の実施形態の中には、証券位置特定要求が、投資マネージャから

50

借入口座に対して受信される場合がある。本発明の任意の実施形態の中には、貸出口座および借入口座が双方共エンティティの同じクライアントに属する場合もある。本発明の任意の実施形態の中には、証券アベイラビリティ情報は、プリンシバル方式レンディング・トランザクションに関与することを試みる貸出口座からの情報に基づいて、プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムに格納される場合もある。

【0015】

[0011] 本発明の任意の実施形態の中には、プリンシバル方式レンディング・トランザクションに関与しようと試みる貸出口座からの情報が、エンティティの貸出エージェントから受信される場合がある。本発明の任意の実施形態の中には、本システムが、プリンシバル方式レンディング・トランザクションのために現金担保を得るために、借入口座によって保持されている買い持ち(long)証券の、プローラに対する貸出トランザクションを開始する場合がある。本発明の任意の実施形態の中には、本システムが、借入証券の売却の収益を借入口座に送信する場合がある。本発明の任意の実施形態の中には、売却収益を用いて、借入口座に対する証券の購入を開始する場合がある。

10

【0016】

[0012] 以上、以下に続く詳細な説明を一層深く理解できるようにするために、そして本発明の当技術分野に対する貢献を一層正しく認めることができるようにするために、本発明のより重要な特徴の概要を、どちらかと言うと広く、記載した。勿論、本発明には更に別の特徴もあり、これらについては以下で説明する。これらは、本明細書に添付した特許請求の主題を形成する。

20

【0017】

[0013] これに関して、本発明の少なくとも1つの実施形態を詳細に説明する前に、本発明は、以下の説明に明記するまたは図面に例示する構造の詳細およびコンポーネントの構成に、その用途が限定されるのではないことは理解しておくべきである。本発明は、他の実施形態も可能であり、種々の方法で実用化および実行することができる。また、本明細書において用いる表現や用語は、説明を目的にするのであり、限定と見なしてはならないことは言うまでもない。

【0018】

[0014] したがって、本開示の基本となる概念は、本発明の様々な目的を実行するための他の構造、方法、およびシステムの設計のための基礎として容易に利用できることは、当業者には認められよう。したがって、本明細書に記載される構造と同等の構造は、本発明の主旨および範囲から逸脱しないので、特許請求の範囲はこれら同等の構造も含むものと見なされることは重要である。

30

【0019】

[0015] 本発明のこれらおよび他の目的は、本発明を特徴付ける種々の新規の特徴と共に、本開示に添付されその一部をなす特許請求の範囲において、特定的に指摘されている。本発明、その使用によって達成されるその動作上の利点および特定的な目的をより良く理解するためには、本発明の好ましい実施形態が例示されている添付図面および記載内容を参照するとよい。

40

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図1】図1は、証券のカストディおよび貸出モデルを示す。

【図2】図2は、改良カストディ・モデルに対する証券貸出拡大を示す。

【図3】図3は、改良カストディおよび貸出モデルの動作モデルを示す。

【図4】図4は、本発明の実施形態による融資取引例を示す。

【図5】図5は、魅力的な証券に対するロング・ポジション(long position)の数を増大するモデルを示す。

【図6】図6は、本発明の実施形態による貸出および借入モデルを示す。

【図7】図7は、米国についてプリンシバル・レンダーの改良カストディ・モデル応用図を示す。

50

【図 8】図 8 は、米国、ヨーロッパ、および極東についての、プリンシパル・レンダーの改良カストディ・モデル応用図を示す。

【図 9】図 9 は、改良カストディ・モデルのアベイラビリティ処理を示す。

【図 10】図 10 は、注文管理の簡潔なプロセスを示す。

【図 11】図 11 は、代理のアベイラビリティを含む注文管理の簡潔なプロセスを示す。

【図 12】図 12 は、投資家・マネージャ・アベイラビリティ・ファイルを生成するプロセスを示す。

【図 13】図 13 は、投資家マネージャ要求ファイル・プロセスを示す。

【図 14】図 14 は、位置特定(locate)および応答ファイル・プロセスを示す。

【図 15】図 15 は、投資マネージャ実行順序ファイル・プロセスを示す。

【図 16】図 16 は、本発明の実施形態によるアプリケーション・フレームワーク設計を示す。

【図 17】図 17 は、空売り(short sale)プロセスを示す。

【図 18】図 18 は、空売り(short sale)記入プロセスを示す。

【図 19】図 19 は、空売り(short sale)命令および決済プロセスを示す。

【図 20】図 20 は、自己借入、および非自己借入の買戻しプロセス(buy-to-cover process)を示す。

【図 21】図 21 は、証券のアベイラビリティおよび値付けを決定するプロセスを示す。

【図 22】図 22 は、金融取引プロセスを示す。

【図 23】図 23 は、契約比較および値洗い(mark to market)プロセスを示す。

【図 24】図 24 は、収入収集プロセスを示す。

【図 25】図 25 は、証券交換プロセスに対する義務的法人アクション(mandatory corporate action)を示す。

【図 26】図 26 は、証券分割プロセスに対する義務的法人アクションを示す。

【図 27】図 27 は、証券スピン・オフ・プロセスに対する義務的法人アクションを示す。

【図 28】図 28 は、キャッシュ・プロセスに対する自発的法人アクションを示す。

【図 29】図 29 は、キャッシュ・プロセスに対する義務的法人アクション(corporate action)を示す。

【図 30】図 30 は、証券交換プロセスに対する自発的法人アクションを示す。

【発明を実施するための形態】

【0021】

[0046] 本発明の少なくとも 1 つの実施形態を詳細に説明する前に、本発明は、以下の説明に明記するまたは図面に例示する構造の詳細およびコンポーネントの構成に、その用途が限定されるのではないことは理解しておくべきである。本発明は、他の実施形態も可能であり、種々の方法で実用化および実行することができる。また、本明細書において用いる表現や用語は、説明を目的にするのであり、限定と見なしてはならないことは言うまでもない。

【0022】

[0047] したがって、本開示の基本となる概念は、本発明の様々な目的を実行するための他の構造、方法、およびシステムの設計にための基礎として容易に利用できることは、当業者には認められよう。したがって、本明細書に記載される構造と同等の構造は、本発明の主旨および範囲から逸脱しないので、本発明はこれら同等の構造も含むものと見なされることは重要である。

【0023】

[0048] 例えば、記載するプロセスの具体的なシーケンスは、ある種のプロセスは、他のプロセスと並列にまたは独立して実行するように、これらのプロセスが互いに依存しない範囲で変更してもよい。つまり、本明細書において記載されるステップの具体的な順序は、プロセスを実行するステップの具体的なシーケンスを暗示すると考えてはならない。先のプロセスには、その他の変形または変更も考えられる。例えば、本明細書において記

10

20

30

40

50

載するプロセスの範囲内において、前述のプロセスおよび／またはアルゴリズムには、更に架空の近似(insubstantial approximation)も考えられる。

【0024】

[0049] 加えて、一実施形態の一部として図示または記載される特徴は、他の実施形態において用いて更に別の実施形態を生み出すことができる。加えて、ある種の特徴は、同一または同様の機能を行う、未だ述べられていない同様のデバイスまたは特徴と相互交換することもできる。したがって、このような変更や変形は本発明の総体に含まれることを意図している。

【0025】

[0050] 本発明の実施形態によれば、買い持ち(long)証券のポートフォリオを拡大し、現金担保(cash collateral)を高めるために、追加の望ましい買い持ち証券を含ませる一方、望ましくない証券を空売り(short sale)することができる。本発明の実施形態によれば、クライアントの口座における資産を借入する必要がある場合、エージェント方式レンディング・システム内部で自己借入(self-borrow)によってその資産を移動させる。本発明の実施形態によれば、全ての証券の移動および借入は、カストディ・システム内部にそしてクライアントの名義で保持しておき、銀行が近づけ(access)ないようにする利点がある。

10

【0026】

[0051] 本発明の実施形態によれば、コンピュータ実装システムおよびコンピュータ・アーキテクチャが、代替投資媒介物(Alternate Investment Vehicles)（「AIV」）を提供する。これは、エクイティ証券(equity security)（「借入証券」）のような証券を直接、例えば、プリンシパルであるエージェント・レンダー(agent lender)から、彼らの空売り(short selling)活動との関連で借り入れることができる。実施形態の中には、借入証券の殆どが、例えば、エージェント・レンダーによって、その代理証券貸出プログラム・レンダー(agency securities lending program lender)から供給される（即ち、借入される）ことがあるが、ときどき、エージェント・レンダーが証券を他の第三者金融機関（例えば、他のエージェント・レンダー銀行またはブローカ・ディーラ）から借入することもある（各場合において、「レンダー」）。証券が借り入れられるのは、エージェント・レンダーによってそれらがAIVに貸し出されることをAIVが要求したときである。実施形態の中には、エージェント・レンダーはエクイティ証券においていずれのポジションも取らないことや、このような証券を所有権取引(proprietary trading)のために用いないこともある。エージェント・レンダーは、一般に、取引不履行という異常事態を除いて、または他の限定的な状況に基づく場合は除いて、証券を終夜保持していない。

20

30

40

50

【0027】

[0052] AIVは、多種多様の米国および米国以外のクライアントによってスポンサーされる、またはこれらのクライアントの一部をなすことができる。例えば、AIVは、ERISA年金計画(pension plan)または州および地方議会計画の投資ポートフォリオであってもよい。また、これらは、任意に、1940年の投資会社法に基づいて登録された投資法人のような、別個の合法的エンティティであってもよい。加えて、AIVは、中央銀行または通貨当局のような、米国以外の投資家のポートフォリオであってもよく、またはこれらによって支持されてもよい。実施形態の中には、AIVの各インスタンスが1934年の証券交換法(Securities Exchange Act)の第3(a)(54)章に定められる「認定投資家」(qualified investor)である、またはその一部をなす場合もある。各AIVおよびエージェント・レンダーは、法的契約を結ぶ（または既存の契約を補正する）ことができる。この契約は、相手／証券貸出部を含むことができ、これに基づいて、位置特定エージェント・レンダーは借入証券をAIVに貸し出し、他のAIV関連サービスを提供する（「AIV契約」）。実施形態の中には、AIV契約が、任意に、プリンシパル・ローン(principal loan)（与信承認プロセス中に考慮される要素）に関して資産言語(asset language)に対して留置権(lien)を含むこと、および／または短期現金ローンを利用しようとする場合、特定的な留置権を資産言語に対して含むこともある。

【0028】

[0053] A I V は、本発明の好ましい実施形態によれば、自己借入という選択肢を有することができる。具体的には、プリンシパル方式レンディング(principal lending)を含む改良カストディ・システムは、A I V が空売りした証券(shorted securities)について、法的に認可される場合であれば、A I V (または系列下のファンド)の他のポートフォリオに最初に記入する選択肢を含む。例えば、巨大な公的ファンドが多数のポートフォリオを管理している場合、A I V ポートフォリオ・マネージャによって空売りされた証券は、同じ法的エンティティ内において異なるマネージャによって管理されるポートフォリオに保持することができる。

【0029】

10

[0054] このような場合、エージェント・レンダーは、例えば、同じ法的エンティティの下で、それ自体はプリンシパルとして介在することなく、ポートフォリオ間で内部借入を実行することができる(「自己借入(self-borrows)」と呼ぶ)。

【0030】

20

[0055] 取引日に、例えば、「アベイラビリティ・ファイル」においてSecurities Financeによって毎日伝達される一般担保証券(「G C」)(general collateral securities)のアベイラビリティ、または電話によって伝達される非G C証券(または「特殊」(special))のアベイラビリティに基づいて、A I V (または外部で管理されている場合はその投資マネージャ)は、実行するブローカーを用いて空売り(short sell)注文を入れる。決済日以前に、プリンシパルとして振る舞うエージェント・レンダーは、要求された証券をその代行貸出プログラム(agency lending program)(またはエージェント方式レンディング・プログラムにおいて入手可能でない場合は他のレンダー[即ち、「場外」(street)])から借り入れる。この代行貸出クライアントからプリンシパルとしてのエージェント・レンダーへのローン(loan)は、代行貸出システム(例えば、「D M L」)に記録される。また、このトランザクションは、貸出および借入を追跡し、本明細書において記載する機能を実行する、プリンシパル方式レンディングおよびボローリング・システム(「Global One」)のような標準的なコンピュータ・システムにも記録される。以下の「動作の流れおよび危険性」の章では、この動作の流れの詳細な論述を行う。

【0031】

30

[0056] これらのシステムが生成する命令に基づいて、借入証券は、例えば、エージェント・レンダーの証券預託機構(D T C;Depository Trust Company)の口座からD T Cの下位口座(sub-account)に移動(move)する。証券預託機構は、法人および自治体の証券における取引決済のための国営決済所(national clearinghouse for the settlement)であり、その関与する銀行およびブローカー/ディーラーのために資産サービスを提供する。エージェント・レンダーのカストディ・システムは、帳簿への記入を通じて、このような証券が貸出中であり、代行貸出クライアントの口座が残っていることを反映することができる。そして、借入証券は、D T C下位口座からクライアントD T C口座に転送され戻すことができる。

【0032】

40

[0057] A I V 契約にしたがって、例えば、エージェント・レンダーによるA I Vへの借入証券の引き渡しと同時に、エージェント・レンダーは、A I Vからローンに対する現金または証券の担保(「担保証券」)を受け取り、その担保を代行プログラムにおける貸出クライアントに受け渡す(または借入証券が「場外(street)」から供給された場合には、外部のレンダーに戻す)。

【0033】

50

[0058] 本発明の実施形態によれば、改良証券貸出システムは、130/30戦略および/または以下のものを含むがそれらに限定されないその他の戦略を利用して、そのエージェントの貸出クライアントから借り入れて、これらの証券をファンドに貸し出す。エージェント・レンダー・クライアントは、エージェント・レンダーをボロワーとして承認する。130/30クライアントは、プリンシパルとしてのカストディ/エージェント・レ

ンダーと借入契約を結ぶ。資産の保管(custody)は、決してサービス・モデルを離れない(leave)。したがって、この自己借入システムおよびプロセスは、既存のモデルをレバレッジして、クライアントが、他のいずれの供給元(source)に行く前に、最初に彼ら自身から証券を借り入れることを可能にするという利点がある。

【0034】

[0059] 実施形態の中には、借入および貸出取引が現金に対するものもある。その結果、資産および対応する負債がバランス・シート上に記録される。利子の収入および支出は、毎日生ずる。130/30クライアントは、証券融資プリンシパルに、トランザクションを構築するための料金を支払う。任意に、標準的なGlobal One (Sungard)システムを用いて、バランス・シート上のトランザクションを実現することもできる。

10

【0035】

[0060] プリンシパル / エージェント・レンダーとの借入契約(borrower agreement)によれば、

- 契約は、プリンシパル / エージェント・レンダーに利益のある資産言語(asset language)に対する留置権(lien)を要求する。

【0036】

- プリンシパル / エージェント・レンダーは、ロング・ポジションが担保として委託されることを規定する。

【0037】

- クライアントは、追加の買い持ち(long buy)に資金を供給するために、空売り(short sales)から移行する。

20

【0038】

[0061] 資産の保管(custody)がプリンシパルのサービス・モデルを決して離れない特徴によれば、下記を含む利点がある。

【0039】

- 法人アクションの監督(oversight)
- 配当 / 収入支払いの監視
- 値洗い(mark-to-market)および担保保証(collateralization)の維持
- カストディアンとのリアル・タイムのローン / 返済 / 再配分のメッセージング
- 税金還付(tax reclaim)サービス

30

[0062] 本発明の改良証券貸出システムでは、実施形態の中には、証券融資プリンシパル(SFP)が従前の代行貸出取引の相手となることもある。

【0040】

[0063] すると、証券融資プリンシパルは、証券をクライアントまたは、あり得るとすれば、ブローカに貸し出す。

【0041】

- これが意味するのは、貸出クライアントは、プリンシパル / エージェント・レンダーしか知らず、後のボロワーはプリンシパル / エージェント・レンダーしか知らないということである。

【0042】

- クライアントは、プリンシパル / エージェント・レンダーをこの取引における相手として承認するだけでよい。

40

【0043】

- エージェント・レンダーは、この取引のエージェント方式レンディング部の観点から引き続きファシリテータであるが、プリンシパルとしても振る舞う。

【0044】

- 証券融資の収益は、利益に対する我々と貸出クライアントとの間ににおける料金分割に基づく。SFPは、借入とローンとの間ににおける値開き(spread)に基づく利益を有する。

【0045】

[0064] AIVは、積極的な拡大戦略を採用する。これは、例えば、120/20、1

50

30 / 30、または150 / 50戦略として設定することができる。

【0046】

120 / 20の一例を以下に示す。

【0047】

- 投資マネージャ(IM)は、ポートフォリオの20%を空売り(short)するであろう。

【0048】

- 空売り(short)とは何か？

- 空売り(short)とは、ポートフォリオが所有していない資産をIMが売却することを意味する。

10

【0049】

- 20%以上の資産を購入するために、空売りの収益(proceeds)が用いられる。

【0050】

- ポートフォリオが空売りに携わる前に、マーケット・エクスposure(market exposure)が100%であった。空売り(short sale)および買い持ち(long buy)の後、総合マーケット・エクスposureは100%のままである(100%買い持ち + 20%空売り + 20%買い持ち)。

【0051】

- 売却され保有されていない資産について、IMは空売りの引き渡しを行うために、証券を借り入れる必要がある。

20

【0052】

[0065] 本発明の一部の実施形態によれば、本発明の改良証券貸出システムによって、以下のプロセスが実施される。最初に、証券融資プリンシバル方式デスク・システム(SFP)が投資マネージャ・システム(「IM」)に報告し、借入に利用できる証券を示すか、またはIMが位置特定ファイル(locate file)の中で送り、これに対してSFPが応答する。借入に利用できる証券に基づいて、投資マネージャは、空売りする証券を特定し、取引注文をグローバル管理システム(「SSGM」)に送る。実行すると、SSGMは取引の詳細をIMに返送する。次いで、IMはプリンシバル/エージェント・ボロワーに証券を売却するように指示するか、あるいはSFPに証券を借り入れるように指示する。SFPは、証券をエージェント・レンダーから借り入れ、カストディ(Custody)におけるIMの口座に送り出す。カストディは、取引決済のために、借入証券をSSGMに送る。最後に、カストディ・システムは、ポジション(position)を維持し、取引の詳細を下流システムにデリバーアする。

30

【0053】

[0066] 本発明の一部の実施形態によれば、以下で特定されるシステムによって、以下のプロセスが実行される。

【0054】

[0067] Global One(G1 : グローバル・ワン) システムは、プリンシバルの業務についての記録帳簿(Book of Records)である。全ての取引および取引活動はG1に入力される。G1は、証券移動のために、証券移動(Security Movement)および制御システム(SMAC)にインターフェースする。クライアント報告は、G1から供給される。最後に、G1は法人アクションおよび配当活動(dividend activity)を取り込み追跡する。

40

【0055】

[0068] 注文管理データベース・システムは、IMに送られるアベイラビリティ(Availability)を生成し、IMからの要求を処理し応答し、IMからの取引実行ファイルにおいて受信し、G1およびDMLに対してローンおよび借入を記入するために取引記録簿(Trade Blotter)を生成する。

【0056】

[0069] DMLシステムは、エージェント方式レンディング・プログラムに記入される融資取引をサポートするように修正されている。DML上にはプリンシバルの取引活動が

50

記入されていない。

【0057】

[0070] SLDシステムは、G1からフィードを取り込み、データをSLDデータベースに搬送する。最終的に、他のシステムに対するインターフェースは、プリンシパルの業務に対してSLDから来ることになる。SLPRシステムは、プリンシパル方式トランザクションをクライアントまたはIMに報告するために利用される。また、SLPRシステムは、融資取引を「通常の」エージェント方式レンディング業務から分離するために修正される。

【0058】

[0071] 本発明の一部の実施形態によれば、カストディおよび/またはエージェント方式レンディング・コンピュータ・システムは、全ての借入およびローンについて以下の動作タスクを処理する。 10

【0059】

- 配当および収入支払い監視
- 値洗いおよび担保証券(collateralization)の維持
- カストディアンとのリアル・タイムのローン/返済/再配分のメッセージング
- 法人のアクション
 - ・全てのクライアントに「全サービス法人アクション」モデルを提供する。

【0060】

・全ての法人アクションおよび収入イベントに対して、クライアントに代わってアクションする。 20

【0061】

・以下のことを実行することによって、投資マネージャのために「借り入れた」そして「貸し出した」、根元的な証券(underlying security)を手配する(service)。

【0062】

1. 新たな借入およびローン・ポジションを反映するために、帳簿記入を行う。

【0063】

2. クライアントのDDAのボロワーに記入し、現金収益を貸出エージェントまたはカストディアンに受け渡す。 30

【0064】

3. 二次的な証書(secondary instrument)(即ち、新たな権利/新たな株)をエージェント・レンダーまたはカストディアンに受け渡す。

【0065】

>> 仲介業務の介在を通じて、市場において必要な証券を購入する。

【0066】

>> 購入した株(shares)をエージェント・レンダーまたはカストディアンに受け渡す。

【0067】

>> クライアントに代わって証券を購入したことに対する現金出費を、クライアントのDDAの借方に記入する。 40

【0068】

[0072] 本発明の実施形態の中には、市場中立戦略、またはロング・ショートおよび改良長期投資戦略(120/20、130/30、または150/50戦略と呼ばれる)もあり、本明細書では「AIV」、または代替投資媒介物(alternate investments vehicle)と呼ばれる)を利用するクライアントを主に支援するために、エージェント方式レンディング・システムをイネーブルするコンピュータ実装監査(administration)システムおよび方法を提供するものもある。これらのAIVは、ショート証券ポジションを利用して、彼らのアルファ(alpha)を増大させ、更に証券を直接彼らに貸し出す(即ち、エージェントとしてではなくプリンシパルとして)。AIVのショート・ポジションをプリンシパル方式証券貸出によって賄うことによって、クライアントは最も重要な仲介業務サービス 50

を回避し、彼らの資産の全てを、全ての付随するサービスおよび報告を行いつつ、保管し(custody)続けることができる。A I Vという用語は、先に論じた代替投資媒介物に加えて、プローカ・ディーラおよびその他の従来のボロワーを含むように読み取ることとする。

【0069】

[0073] A I Vは、その空売り(short selling)活動と関連して、エクイティ証券(「借入証券」)を直接プリンシバルとしてのエージェント方式レンディング・システムから借り入れる。この借入証券の殆どが、エージェント方式レンディング・システムによって、その代行証券貸出プログラムのレンダーから供給されることが予期されるが、ときとして、最後の頼みの綱として、エージェント方式レンディング・システムは、他の第三者機関(例えば、他のエージェントの貸方銀行またはプローカ・ディーラ)(各場合において、「レンダー」)から証券を借り入れることもある。証券が借り入れられるのは、A I Vが、エージェント方式レンディング・システムによって証券をA I Vに貸し出すことを要求したときのみである。エージェント方式レンディング・システムは、エクイティ証券においていずれのポジションを取ることも要求されず、他の場合にはこのような証券を所有権取引(proprietary trading)のために用いる。エージェント・レンダーは、一般に、取引不履行という異常な場合を除いて、証券を翌朝まで保持しない。

10

【0070】

[0074] A I Vは、多種多様な米国クライアントおよび米国以外のクライアントによってスポンサーされるか、またはそれらの一部をなす。例えば、A I Vは、E R I S A年金制度または州および地方会議計画の投資ポートフォリオとなることもできる。また、これらは、1940年の投資会社法の下において登録された投資法人というような、別個の法人(legal entity)であってもよい。加えて、A I Vは、中央銀行または通貨当局のような、米国以外の投資家のポートフォリオであっても、これらによって援助されてもよい。各場合において、A I Vは、1934年の証券交換法(Securities Exchange Act)の第3(a)(54)章に定められる「認定投資家」となること、またはその一部をなすことになる。

20

【0071】

[0075] 実施形態の中には、各A I Vおよびエージェント方式レンディング・システムを用いるエージェント・レンダーは、法的契約を結ぶ(または既存の契約を補正する)。この契約は、相手ノ証券貸出部を含むことができ、これに基づいて、エージェント・レンダーは借入証券をA I Vに貸し出し、他のA I V関連サービスを提供する(「A I V契約」)。任意に、A I V契約の資産言語(asset language)に対する留置権(lien)が、プリンシバル・ローン(principal loan)(与信承認プロセスの間に考慮すべき要因)に関して提供され、および/または以下のように、短期現金ローンを利用しようとする場合、特定的な留置権を資産言語に関して提供される。

30

【0072】

[0076] プリンシバル方式レンディング・トランザクションについて説明する前に、本改良カストディ・プリンシバル方式レンディング・システムは、A I Vが空売りした証券(shorted security)について、合法的に認可される場合であれば、A I V(または系列下のファンド)の別のポートフォリオに最初に記入する選択肢を含むことを注記するは重要である。例えば、巨大な公的ファンドが多数のポートフォリオを管理している場合、A I Vポートフォリオ・マネージャによって空売りされた証券は、同じ法的なエンティティ内において異なるマネージャによって管理されるポートフォリオに保持することができる。その場合、エージェント・レンダーおよびエージェント方式レンディング・システムは、例えば、同じ法的なエンティティの下で、それ自体はプリンシバルとして介在することなく、ポートフォリオ間で内部借入を実行することができる(「自己借入」と呼ぶ)。多くのクライアントとの自己借入は、エージェント・レンダーから借り入れる前のプロセスにおける最初のステップである。

40

【0073】

50

[0077] A I V に対するエージェント・レンダーによるプリンシバル・ローン、ならびに関係する取引実行および付隨するカストディ・サービスについて、本明細書において論ずる。以下では、種々の当事者の役割および責任について更に詳しく論ずる。

【0074】

[0078] 取引日において、「アベイラビリティ・ファイル」においてSecurities Financeによって毎日伝達される一般担保証券（「G C」）(general collateral securities)のアベイラビリティまたは非G C証券（または「特殊」(special)）のアベイラビリティに基づいて、A I V（または外部で管理されている場合はその投資マネージャ）は、実行するブローカーを用いて空売り(short sell)注文を入れる。決済日以前に、プリンシバルとして振る舞うエージェント・レンダーは、エージェント方式レンディング・システムを用いて、要求された証券をその代行貸出プログラム(agency lending program)（またはエージェント方式レンディング・プログラムにおいて入手可能でない場合は他のレンダー[即ち、「場外」(street)]から借り入れる。この代行貸出クライアントからプリンシバルへのローン(loan)は、代行貸出システム（例えば、「D M L」）に記録される。また、このトランザクションは、プリンシバル方式レンディングおよびボローリング・システム（「Global One」）にも記録される。Global One および動作の流れの詳細な解説については、以下の補足解説を参照のこと。

10

【0075】

[0079] これらのシステムが生成する命令に基づいて、借入証券は、例えば、エージェント・レンダーの証券預託機構（D T C）の口座からエージェント・レンダーのD C Tの下位口座(sub-account)に移動する。D T Cは、法人および自治体の証券における取引決済のための国営決済所(national clearing house)であり、その関与する銀行およびブローカー/ディーラーのために資産サービスを提供する。このD T C下位口座は、エージェント・レンダーの「997」D T C口座の下位口座である。エージェント・レンダーのカストディ・システムは、帳簿への記入を通じて、このような証券が貸出中であり、代行貸出クライアントの口座が残っていることを反映する。そして、借入証券は、D T C下位口座からエージェント・レンダーのクライアントD T C口座に転送され戻される。エージェント・レンダーのカストディ・システムは、帳簿入力によって、新たなロング・ポジションをA I Vのカストディ口座において反映する。また、これは、A I Vが借り入れる証券を有するという事実も反映する。次いで、借入証券は、空売りを決済するために、エージェント・レンダーのクライアントD T C口座からブローカーのD T C口座に受け渡される。エージェント・レンダー・カストディ・システムは、帳簿入力によって、このトランザクションの決済をA I Vのカストディ口座において反映する。

20

【0076】

[0080] A I V の空売り(short sales)は、実行するブローカーの帳簿上には掲載されず、代わりにエージェント・レンダー・システム上において考慮される。これらの空売りからの収益は、A I V のD D A（次いで、スワイープ・ビヒクル(sweep vehicle)に一掃されることもある）の貸方に記入され、多くの場合（スワイープ・ビヒクルに一掃されない場合）、同時に追加のロング・エクスposure(long exposure)を購入するためにA I Vによって用いられる。

30

【0077】

[0081] A I V 契約にしたがって、エージェント・レンダーによる借入証券のA I Vへの受け渡しと同時に、エージェント・レンダーは、A I Vから、ローンに対する現金または証券担保（「担保証券」）のいずれかを受け取り、代行(agency)プログラムにおいてその担保を貸出クライアントに受け渡す（または借入証券が「場外」から供給された場合には、外部のレンダーに戻される）。

40

【0078】

[0082] 殆どの場合、現金は妥当な担保となる。現金は、殆どの場合、A I V がその証券を代行貸出プログラムにおいてまたは同じ法的エンティティにおける他のポートフォリオから貸し出すことによって、調達される。A I V が現金を調達する限りにおいて、この

50

のようなローンは、「融資トランザクション」と呼ばれ、一般に、代行プログラムおよびそのキーとは別個にトランザクションされる。A I V 契約は、「アベイラブル証券」(この用語は、証券貸出許可契約(Securities Lending Authorization Agreement)において定義されている)から除去され融資トランザクションに利用可能となる証券を日毎に識別することができる言語(language)を有する。融資トランザクションによって調達され担保として必要とされる現金は、エージェント・レンダーのプリンシバルの帳簿に記録され(例えば、標準的なGlobal One システム)、A I V 現金担保口座を通じて、プリンシバルとしてのエージェント・ボロワーを経由して、根源の(underlying)レンダーに受け渡され、貸出クライアントの現金担保投資口座においてエージェント・レンダーによって投資される。エージェント・レンダーによってA I V に支払い可能な割り戻し料金(または「割り戻し率」)は、レンダーから受け取られる割り戻し料金の一部から成る。

10

【0079】

[0083] レンダーがエージェント・レンダーの代行貸出プログラムにある場合、エージェント・レンダーは、エージェントとして、現金担保を別個に管理されている口座において、当該エージェント・レンダーによって管理されている投資プールにまたは外部ファンドにおいて投資することを、レンダーによって許可される。レンダーは、現金担保に対するあらゆる投資リターンを受ける権利がある。現金担保に関する全ての投資リスクは、レンダーが負う。レンダーは、一般に、エージェント・レンダーに、ローンを取り決めたことに対する料金(代行貸出料金)を支払い、更にプリンシバルのボロワーに現金担保の使用に対する料金(「割り戻し料金」)を支払うことを要求される。

20

【0080】

[0084] 融資トランザクションを実行できず(例えば、1日の内遅い時間帯)、しかもA I V が担保目的で入手可能な他の現金を有していないという限定的な場合では、A I V は、その現金担保の必要性を満たすために、エージェント・ボロワーから現金を日計りで(intraday)または翌日まで(overnight)借り入れることができる。これらの短期ローンは、A I V の資産の言質(pledge)によって担保が確保され、そして恐らくは他の保管(custody)資産によって担保が確保される(そして、短期現金ローンはA I V には行われない)。このような言質を取った資産が「余裕株」(margin stock)でなく、短期ローンをカバーするのに十分である範囲では、連邦準備銀行の規制U(銀行による与信の拡大に関する、「規制U」)は適用することができない。短期ローンが「余裕株」によって担保が確保されている場合(即ち、取引されたまたは国内株式交換所においてリストに載せられたエクイティ証券、法人型投資信託の持ち分[ある主の除外される法人型投資信託以外]、OTC NMS 証券、余裕株に返還可能であるまたは余裕株に返還可能なワラント(warrant)を必要とする債務証券)、該当する場合もあり、規制Uが適用される可能性がある。これらの短期ローンの収益は、具体的に現金担保が必要になるときのために取って置かれる。

30

【0081】

[0085] 実施形態の中には、A I V が全ての必要な文書を実行し受け渡すこと、および/またはエージェント・レンダーが担保証券に対する権利を受けるかまたは担保証券(「言質」または「抵当権」(security interest))において第1抵当権を有することを保証するために必要な全ての指示を与えることを、A I V 契約において同意する場合もある。ある場合には、特に米国以外のA I V に関して、権利を全て移転し全ての負担を負わずに、担保証券を完全に移転することもある。しかしながら、殆どの場合、特に米国法の下で確立されたA I V の場合には、A I V がその買い持ち証券(long securities)の一部を抵当に入れること、そしてエージェント・レンダーがこれらの担保証券において抵当権を得ることが予期される。そして、米国市場に特定すると、証券融資は、法的に可能な範囲で、抵当に入れた担保証券と関連してA I V から再担保契約権(rehypothecation right)を得て、次いでこのような証券をプリンシバル・ローンの根源の(underlying)レンダー(例えば、代行レンダー・プログラムにおける貸出クライアントまたはその他のレンダー。これらは全て「レンダー」となる)に再度担保に入れようとする。

40

【0082】

50

[0086] 先に論じたように、本発明は、同じ法人内に保管(custody)されている A I V およびその他のポートフォリオまたはファンド(例えば、公債)を有するクライアントおよび/またはシステムに、カストディアンがポートフォリオ間またはファンド間で内部移転(または、「ローン」)を処理する際に用いられるサービスおよび/またはプロセスを提供する。つまり、クライアントは、彼ら自身の空売り(short sales)を賄うために、利用されていないロング・ポジションを用いることができる。カストディアンがこの活動から累進プロセス収益(incremental processing revenue)を得ることに加えて、これらの自己借入は、プリンシバルとしてのカストディアンを通過しておらず、したがってカストディアンのバランス・シート上には載らない。レバレッジ率(leverage ratio)または有形共通エクイティ制限(tangible common equity limitations)がある範囲で、これは、以前に考えられたよりも高いレベルで、A I V の空売りをサポートする。

10

【0083】

[0087] 先に注記したように、最初に S F P はトランザクションに関与し、そのトランザクションを通じて現金担保が利用される。これらの取引は、3つの行程から成る。

【0084】

[0088] S F P は、証券のボロワーとなり、一般に借り入れられる証券の価値の 102 %で、現金担保をエージェント・レンダーに提示する(post)。したがって、S F P が 102 %の現金担保を提示する場合、リスク・ベース資本負担(capital charge)は、過剰な現金担保である 2 %に対して発生するだけである。

20

【0085】

[0089] このトランザクションの第2行程は、S F P から A I V への証券のローンであり、これによって 102 %の現金担保が受け取られる。S F P は、現金担保のリスク・ウェイト(risk weight)をコンジット・トランザクション(conduit transaction)のこの行程に割り当てる。現金に適したリスク・ウェイトは 0 %である。

【0086】

[0090] このトランザクションの最終工程は、融資取引であり、A I V クライアントが、証券借入を担保として差し入れるために必要な現金を調達することを可能にするために利用される。このトランザクションは、エージェント方式レンディング契約の下で行われ、これによって、エージェント・レンダーは証券を貸し出し、担保として現金を受け取る。受け取った現金担保に対して、既存の V a R (value-at-risk) モデリングを用いて、リスク・ベース資本(risk based capital)を計算する。

30

【0087】

[0091] つまり、現金ベース・トランザクションの下で、エージェント・レンダーからの証券借入のみが、リスク・ベース資本の影響を有し、リスクを重み付けした資産は、提供された過剰現金担保の 100 % に等しい。

【0088】

[0092] 実施形態の中には、S F P が、現金以外の担保を利用してトランザクションを引き受けてもよい場合もある。これらのトランザクションは、2行程を有する。

【0089】

[0093] 第1行程において、S F P は証券を借り入れ、証券を担保として提示する。S F P はリスク・ベース資本の影響を生じない。

40

【0090】

[0094] 第2行程において、S F P は証券を A I V に貸し付け、証券を担保として受け取る。したがって、この場面では、担保が基金(treasury)またはその他の資格担保(qualifying collateral)で構成される場合、リスク・ウェイトは 0 % となる。それ以外の場合、100 % となり、あるいは相手が認定ブローカー・ディーラーである場合、20 % となる。

【0091】

[0095] 実施形態の中には、担保によって保証された現金のローンが、当該ローンが成立する時点において次の要件を満たす限り、担保貸出規則に対する適格性を得ることができる。

50

【0092】

(a) 留置権(lien)は、取引帳簿に含むことができ、流動性があつて容易に市場に出せる証券に付される(事実上AIVによって保持されるエクイティ・ポジション(equity position)は取引台帳適格性がある(trading book eligible)であるので、これは問題にならないはずである)。

【0093】

(b) 過振り出し／ローン(overdraft/loan)は、毎日市場に出すようにマークされる(これはせいぜい一晩のローンであるので、問題にならないはずである)。

【0094】

(c) 過振り出し／ローンは、毎日証拠金維持要件(daily margin maintenance requirements)を満たさなければならない(この場合も、一晩であるため、問題にはならないはずである)。

【0095】

(d) 過振り出し／ローンは、一晩毎に行われ、無条件に取り消し可能であり、あるいは倒産において事実上自動停止(automatic stay)を免れる(この場合も、一晩であるため、問題にはならない)。

【0096】

[0096] 改良カストディ・モデルでは、プリンシパル方式レンディング・トランザクションは、最初は保管されているクライアント(custodied client)と行われ、全ての貸出は現金担保に対して行われる。しかしながら、現金以外の担保取引も任意に用いることができる。プリンシパル・レンダーは、SSBTまたはSSC子会社であるが、殆どの場合、AIVに対して資産に留置権(lien)としての利益も有する。

【0097】

[0097] また、AIVファンドに貸し出すために、プリンシパルの代わりに与信限度を承認することも必要となる。SF Credit & Riskは、ERMに新たなファシリティ(facility)を取引帳簿に設定し、そのファシリティがエージェント・プログラム(agent program)ではなくプリンシパルの代わりであることを示すことを推奨している。SF Credit & Riskは、プリンシパルがレンダーに与えている(エージェントを通じて)証拠金によって表されるエクスポートを認識する必要がある。SECは、ブローカー・ディーラーが、レンダーに言質を与えた証拠金に伴うリスクを記録し監視することを要求する。BASELに関して、証券融資は、RDRシステムに手作業で入力するために、最初に、毎日のローン、担保、および証拠金ポジションをERMテクノロジーに電子メールで送る。BASELを目的とするこれらのフィードは、任意に自動化することができる(例えば、FTP転送によって)。

【0098】

[0098] プリンシパルの借入およびローンの決済、自発的および非自発的な企業のアクション、毎日の値洗い、回収(recall)管理、および証券移動／ポジションの調停(reconciliation)の監督は、以下にしたがって管理される。

【0099】

- トランザクション決済：トランザクションは、取引を決済している標準的な極的市場決済サイクルに基づく。

【0100】

- 企業のアクション：証券融資主要製品(principle product)に関連のある全ての法人アクション機能の処理および一般的な監督は、プリンシパルのクライアントの全てに対して、業界標準、例えば、"Prime Broker-like Full Service Corporate Actions" (優良ブローカー状全サービス法人アクション)サービス・モデルを用いる。

【0101】

- "Full Service Corporate Actions" (全サービス法人アクション)サービス・モデルの範囲は、全ての関与するプリンシパルのクライアント、および彼らがSFプリンシパル方式レンディング・チームから借り入れている根源の(underlying)証券を含む。

【0102】

10

20

30

40

50

- 値洗い(Mark to market)：SFP操作(operation)は、関与するレンダーおよびAIVとの全ての公開(open)借入およびローンについて、日毎の値洗いプロセスを通じて、その担保エクスポージャを管理する。値洗いは、自動化されたマーク(automated marks)に対してLoanet LAMSシステムを用いて、証拠金および丸めパラメータ(rounding parameters)に対する業界の慣例に基づくものである。

【0103】

- 回収管理(Recall Management)：SFP操作は、補助SFP取引(assisting SFP Trading)と共に、プリンシパルに発行される回収の管理の責任を負う。

【0104】

- 証券調停(Security Reconciliation)：貸出エージェントとの相互作用間における証券およびトランザクションに基づく調停、貸出エージェント・カストディ・システム、AIVカストディ記録、ならびにGlobal One内部の借入およびローン記録。これらの比較点の主な目標は、全てのトランザクションが適正に実行されていることを確認し、公表されない関与するAIVとの空売り(short)および買い持ち(long)トランザクションを先回りして検索するために必要とされる必須のツールを、プリンシパルのチームに提供することである。

10

【0105】

[0099] SFP操作におけるこれらの機能の内、法人アクション処理は、証券融資部門の潜在的な損失および例外処理双方に関して、最も肝要である。プリンシパル方式レンディングに付随する法人アクションを監視し管理するための、提案するSFP操作モデルは、証券融資(「SFA」)が現在利益を得る所有者に代わって処理するものとは異なる。主な相違は、代行プログラムにおいて、証券融資は単に法人アクション指示をボロワーに送るだけであり、一方下記の法人アクションに対して、SFP運営グループは、SFA運営グループによって、関与するボロワーのように扱われることである。つまり、SFP操作は、法人アクション指示を受けて、その受信を承認し、それに応じてアクションしなければならない。SFP操作グループは、法人アクションを処理する際の実際の役割を想定し、AIVの代わりにそのように行う。

20

【0106】

[0100] SFP操作は、SFA操作からのクライアント選択通知によって指示されるように、必要な処置を講じ、続いて、そのクライアントであるAIVに、当該法人アクションを完了し処理したことによって発生した費用を請求する。SFP操作が法人アクションのために活動的役割(active role)を果たすことによって、優良ブローカー(Prime Broker)が投資マネージャに法人アクションについてある程度の透明性を与えることが可能となる。SFP操作は、AIVがその元本に基づくローン活動のために期待するサポート・サービスを提供する。

30

【0107】

[0101] 総合的な記号アクションサービス・モデルは、次の通りである。

【0108】

1. AIVに対する責任

a. 「委任状またはAIV契約」を通じて、SFP操作は、全ての法人アクションについて、関与するAIVに代わってアクションする。

40

【0109】

b. SFP操作は、必須の法人アクションの詳細、および結果的に生じた処理アクションを関与するAIVに適時報告する。

【0110】

2. 関与するレンダー(一人または複数)に対する責任

a. 調停および確認された全ての法人アクションに対して、関与するレンダー(一人または複数)に全ての現金および証券債務(obligations)を市場支払い日に支払う。

【0111】

b. SFP操作は、必須の法人アクションの詳細、および結果的に生じた処理アクシ

50

ヨンを関与する貸出エージェントまたはカストディアンに適時報告する。

【0112】

[0102] SFP 操作は、法人アクションの責務(liability)毎に、関与する AIV に代わって、関与する貸出エージェントに帰する各法人アクション債務について、以下の 3 つのプロセス・アクションの内 1 つまたはその組み合わせを採用する。

【0113】

1. 新たな借入およびローン・ポジションを反映するために、帳簿入力を行う。

【0114】

2. AIV DDA の借方に記入し、現金収益を貸出エージェントまたはカストディアンに受け渡す。

10

【0115】

3. 二次的な証書(例えば、権利/新たな株)をエージェント・レンダーまたはカストディアンに受け渡す。

【0116】

a. 仲介業務の介在を通じて、市場において必要な証券を購入する。

【0117】

b. 購入した株(shares)をエージェント・レンダーまたはカストディアンに受け渡す。

【0118】

c. AIV の代わりに証券を購入したことに対する現金出費を、AIV DDA の借方に記入する。

20

【0119】

[0103] これらのプリンシバル・ローンに関して、現金および証券移動の殆どは、全体的に、カストディアン/エージェント・レンダーのシステムならびに台帳および記録を利用するカストディアン/エージェント・レンダーの管理下にある。また、運営および法的な観点から、本明細書に記載したプリンシバル方式レンディング活動は、リスクのないプリンシバルの取引の同等物である。カストディアン/エージェント・レンダーは、双方の当事者からトランザクションに対する委託を得ていない限り、プリンシバル方式レンディング・トランザクションを開始しない。つまり、エージェント・レンダーによって借り入れられたいずれの証券も、直ちに最終的なボロワーに貸し付けられ、最終的なボロワーによって提示されたいずれの担保も、直ちにレンダーの口座に提示される。

30

【0120】

[0104] 以下の図は、異なる頭字語を用いた種々のプロセスを示す。頭字語の定義を以下に示す。

【0121】

「SFA」は、エージェント方式レンディング実行デスク(agent lending running desk)、例えば、エージェント方式レンディング・デスクである。

【0122】

「SFP」は、証券融資プリンシバル(security finance principal)を表し、改良カストディ・モデル約定品(custody model product)をサポートする。これは、証券を借り入れて、位置特定要求(locate request)で応答するものに対応する。

40

【0123】

「IM」は、投資マネージャである。

【0124】

「IR」は、情報記録を表す。

【0125】

「OMD」は、注文管理データベースを表す。

【0126】

「電話」は、その電話に繋がれている人がいることを意味する。

【0127】

50

「Global One」は、プリンシパル方式デスク(principal desk)用記録システムの台帳である。これは、エージェント・レンダーからの全ての借入を載せており、終端間処理(end-to-end processing)を実行する。

【0128】

「MCH」は、多通貨限界(Multi-Currencies Horizon)を表し、銀行口座システムである。

【0129】

「DML」は、エージェント・レンダーの記録台帳であり、エージェント実行デスクに用いられる。

【0130】

「SB」は、自己借入を表す。

10

【0131】

「NSB」は、非自己借入を表す。

【0132】

「SMAC」は、証券移動および制御を表す。

【0133】

「DTC」は、証券預託機構を表す。

【0134】

[0105] 図1は、カストディおよび貸出モデルを示し、ここでは証券融資プリンシパル方式デスクが、投資マネージャへの借入のために利用可能な証券を示す報告を送ることができる。あるいは、証券融資プリンシパル方式デスクは、投資マネージャによって送られる特定の証書に対する位置特定ファイル(locate files)に応答することもできる。利用可能な証券に基づいて、投資マネージャは、空売り(short)用の証券を特定することができ、取引注文をブローカ・ディーラに送ることができる。この取引注文の実行時に、取引の詳細が投資マネージャに返送される。投資マネージャは、カストディ・システムにその証券を売却するように指示することができる。あるいは、投資マネージャは、証券融資プリンシパル方式デスクに、投資マネージャが特定した証券を借り入れるように指示することもできる。証券融資プリンシパル方式デスクは、その証券をエージェント方式レンディング・システムから借り入れて、これらをカストディ・システムにおける投資マネージャの口座に受け渡すことができる。カストディ・システムは、借り入れた証券を、取引決済のために、ブローカ・ディーラに送ることができる。カストディ・システムは、このポジションを維持し、取引の詳細を会計処理(accounting)およびリスク報告システムにデリバーアブルすることができる。

20

【0135】

[0106] 図2は、カストディ・システムに対する証券貸出の拡大を示す。この拡大は、証券プリンシパル方式システム、調停システム、および総勘定元帳(ledger)システムを備えている。証券プリンシパル方式システムは、毎日および毎月ローンおよび借入から証券貸出データベースに収入をロードする。証券貸出データベースは、帳簿をつけるために総勘定元帳システムに結合されており、更に取引決済のために調停システムに結合されている。

30

【0136】

[0107] エクイティ拡張(equity extension)の動作モデルを図3に示す。プリンシパル方式レンディング・システムは、投資マネージャから、証券についての位置特定要求を受け、位置特定応答で応答する。投資マネージャは、売却注文をブローカ・ディーラに送り、逆に取引確認を受け取ることができる。また、投資マネージャは、実行した市場取引についての情報をファンド監査システムに送ることもできる。

40

【0137】

[0108] プリンシパル方式レンディング・システムは、証券の借入要求をエージェント方式レンディング・システムに送り、逆に借り入れられた証券を受け取ることができる。プリンシパル方式レンディング・システムは、また、証券をブローカ・ディーラに貸し出

50

すこと、およびブローカ・ディーラから借り入れることもできる。また、ブローカ・ディーラは、借入命令をエージェント方式レンディング・システムに送ることもできる。プリンシパル方式レンディング・システムは、借入および貸出指示をカストディアンシステムに送ることができる。また、カストディアンシステムは、投資トランザクションに関する情報を、ファンド監査システムから受け取ることもできる。また、カストディアンシステムは、証券アベイラビリティ指示(security availability instructions)をエージェント方式レンディング・システムに送り、逆に借入指示を受けることもできる。更に、カストディアンシステムは、受領および受け渡し指示を下位カストディアン(subcustodian)または市場預託システム(market depository system)に送ることもでき、これらは借り入れられた証券に対して決済を行い、更にブローカ・ディーラから指示を受けることもできる。

10

【0138】

[0109] 図4は、本発明の一部の実施形態による、130/30クライアントに対するプリンシパル方式レンディング・プロセス例を示すための、全てを包含する図である。クライアントは、KKD証券を借り入れることを要求している。この実施形態では、クライアントはKKDを場外に売却したが、証券を受け渡すために、クライアントは、プリンシパルに移転して受け渡しを行うための証券を必要としている。この例では、クライアントは、証券を売却した相手の人から300ドルを現金で手に入れた。このクライアントは、300ドルを得て、Dellの証券を購入する。したがって、このクライアントは、KKDを空売り(short)し、Dellを買い持ち(long)し、クライアントの現金は底をつく、即ち、0ドルとなる。プリンシパルはKKDを借り入れ、エージェント・レンダーに300ドル与え、一方エージェント・レンダーは、クライアントに代わって300ドル投資する。このトランザクションの終了時には、プリンシパルは300ドル不足し、クライアントから現金を受け取っていない。クライアントは、口座に現金を有していない。プリンシパルは、クライアントが行ったローン(例えば、IBMをブローカに)を引き受け、この借入から現金を取得し、ブローカは300ドルをエージェントに戻す。エージェント・レンダーは、クライアントの代わりに、300ドルを担保としてプリンシパルに送り、その結果、KKDに対する本発明の自己融資が行われる。KKDおよび/またはIBMの割り戻しは、現金投資に対するリターンを表す。

20

【0139】

[0110] 図5は、既存のロング・ポジション(long position)を用いて、エージェント方式証券貸出プログラムによって現金担保を調達するプロセスを示す。クライアントは、100ドルの価値がある買い持ち(long)のみのポートフォリオを有する。エージェント方式証券貸出プログラムによって、クライアントのポートフォリオを拡大し、30ドルの価値がある余分な魅力的な買い持ち(long)証券を含ませることができる。同時に、魅力のない30ドルの価値がある証券を空売りして(short sold)、現金担保を調達し、ポートフォリオが追加のエクスパートを得るようにする。

30

【0140】

[0111] 図6は、本発明の実施形態による貸出および借入モデルを示す。クライアントの長期証券(long-term securities)が、証券融資代行プログラム(Securities Finance Agency program)において貸出に利用することができる。証券融資代行プログラムは、買い持ち(long)証券をブローカ・ディーラに貸し出して、クライアントに現金担保を調達することができる。加えて、投資マネージャが、プリンシパル・プログラム(principal program)から空売り(short)するために、証券を要求することができる。証券融資代行プログラムは、証券を貸し出して、現金担保を受け取る。次いで、借り入れられた証券は、クライアントに受け渡される。ブローカ・ディーラを通じて、クライアントは証券を空売り(short sale)して、売却から現金を受け取ることができる。この売却によって得られた現金は、追加の証券を購入し、クライアントが借入金をレバレッジして投資したロング・ポジション(client levered long position)を遂行する。最後に、カストディアンシステムが市場において証券移動(security movements)を決済する。

40

【0141】

50

[0112] 図7および図8は、人間のアイコンによって指定されるように、処理の一部が手動である場合の処理の流れを示す。図7に示すように、投資マネージャは、例えば、位置特定要求または実行済みの注文を送る。人間のオペレータ710は、手作業でGlobal Oneに入力を記帳し、自動化管理データベース720(OMD)と相互作用を行う。

【0142】

[0113] また、自動化管理データベース720は、取引自動入力(TAD: trade automated entry)システムにも結合されている。取引自動入力システムは、取引をエージェント・レンダー記録帳簿(DML: agent lender book of records)に自動的に記帳する。証券のアベイラビリティが、アベイラビリティ・データベース730によって示される。アベイラビリティ・データベース730は、投資報告(IRR)データベースである。流動性照合システム(LMS: liquidity matching system)がDMLに接続されており、エージェント書き込みデスク(agent writing desk)についての照合、および例えば、具体的な媒介物(vehicle)において利用可能な現金についての情報提供を行う。また、DMLは、別の標準的な報告データベース株ローン・データ(SLD)および証券預託機構(DTC)にも接続されている。実際の証券移動は、DTC内において行われる。

10

【0143】

[0114] 自動管理データベース720は、SFP取引の記帳および買い戻し(buy-to-cover)シート報告を生成することができる。SFP操作740は、買い戻しシート報告を受け取り、Global One SFP750への入力を実行することもできる。Global One SFP750は、証券融資プリンシバル方式レンディング・システムであり、共通カストディ・インターフェース(CCI: common custodial interface)を通じて、証券移動および制御システム(SMAC)に通信する。また、Global One SFP750は、グローバル・トレード・フロー(GTF)モジュールを通じて、SMACにも通信する。

20

【0144】

[0115] SFP操作740は、現金移動システム(Hogan)760にも接続されている。Hoganは、銀行の現金移動を管理する外部銀行システムである。

【0145】

[0116] 図8は、国内市場だけでなく国際市場(ヨーロッパ及び極東)における処理についての追加情報を提供する。

30

【0146】

[0117] 外部銀行現金管理システム810は、米国以外の通貨の現金移動を容易にするIBISによって拡大(expand)されている。SLE2820システムは、毎日のトランザクションにおける不足(shortcoming)を扱うことができる別の貸出システムである。GCAS830システムは、グローバル・法人アクション・システムであり、本システムに法人アクション情報を供給する。SLD報告データベースは、クライアント報告システム(SLPR)840およびリスク分析システム(STARS)850に結合されている。

【0147】

[0118] G1CRESTモジュール860は、英国のシステムであるCREST870との通信をし易くする。G1CRESTモジュールは、証券を英国に移動させるため、そして証券を英国から移動させるために用いられる。GSMAC880は、グローバルな証券移動および制御システムであり、全ての米国以外の証券のためのカストディ・システムである。LCCS890は、CREST870と通信するために用いられるカストディ・システムである。

40

【0148】

[0119] 副カストディ・システム881は、本システムがカストディ・サービスを提供しない市場において、証券を移動させるために用いることができる。場合によっては、便宜上または法的目的で副カストディを借りることもある。Insight821は、別のクライアント報告システムである。Position Recon805は、注文額の不足を扱う二次的エージェント方式レンディング・システムである。Position Reconには、米国以外の契約修正(contract repairs)のための契約修正システムであるPirum806が付加されている。

50

【0149】

[0120] 融資ワークシート(WS)891は、個々のクライアントにどれくらいの現金を調達する必要があるか判断するために、現金の欠損または資産についての情報を提供することができる。SPOチャージ892は、SMACを経由してDTCに出る費用であり、値洗い判定に対するDTC費用である。SFP FAD825は、現金管理を行う融資会計処理部門(financial accounting division)である。最後に、図8は、1日の終了時に必要となる担保額を計算することができるDVB計算機871を示す。

【0150】

[0121] ファンドは、自己借入(SB;Self-Borrows)のようなそれ自体のポートフォリオから、そして非自己借入(NSB)のような他のエージェントのクライアントから証券融資プリンシバルを通じて借り入れることができる。証券融資プリンシバルは、最初に、それらのNSB要求額(requirements)を証券融資代行(SFA;Securities Finance Agency)から供給しようとするが、これらが代行プログラムから入手できない場合、証券融資プリンシバルは外部で借り入れる。

10

【0151】

[0122] 証券融資プリンシバル取引デスクは、証券を探し出す要求、または投資マネージャが空売り(sold short)し、どのようにしてこれらの株を供給するのか決定しなければならないかもしれないことの通知を受ける。供給の判断を行い、講じた処置を記録するために、この機能を管理するには図9に示すようなデータベースが必要となる。

20

【0152】

[0123] データベースは、以下の機能(ability)を含む。

【0153】

公開されたIMアベイラビリティを見る(view)。

【0154】

外部アベイラビリティ・ファイルをインポートし適用する。

【0155】

IM位置特定要求ファイルをインポートする。

【0156】

IM位置特定および事前借入(pre-borrow)要求を記録する。

30

【0157】

非クライアントの自己借入アクションを記録する。

【0158】

IM空売り(short sales)を記録する。

【0159】

投資マネージャ、AIV、証券、および供給元(source)のアベイラビリティを判断する。

40

【0160】

SFAから入手できない株を求めて外部供給元に送る位置特定要求ファイルを生成する。

40

【0161】

外部ブローカ位置特定応答ファイルをインポートし、SFPアベイラビリティに付加する(append)。

【0162】

投資マネージャに位置特定応答ファイルを生成する。

【0163】

株を自己借入に利用可能にするために、再割り当てする非自己借入ローン(non-self borrow loan)を特定する。

【0164】

事前借入または空売り実行の結果として記帳する必要があるローンを報告する。

【0165】

50

IM実行注文を、公開されたアベイラビリティ、位置特定および事前借入トランザクションと調整する。

【0166】

SFP操作に対する買い戻しトランザクションを報告する。

【0167】

記帳された実際の量およびローン数を記録する。

【0168】

[0124] 図10は、棚卸し(inventory)プロセスおよび注文プロセスについて説明する、注文管理の概略的な流れを示す。棚卸しプロセスでは、投資マネージャ・アベイラビリティ・ファイルが作成され、代行アベイラビリティがインポートされる。投資マネージャ位置特定ファイルが受け取られ、エージェント方式レンディング・システムにインポートされる。最後に、位置特定応答が作成され、エージェント・レンダーは、この位置特定応答に対応する注文ファイルを待つ。

10

【0169】

[0125] 注文プロセスでは、投資マネージャ・ファイルを受けると、注文ファイルがインポートされる。注文を調停する注文調停報告が作成される。加えて、インポートされた注文ファイルから、SFA取引記録簿(blotter)が作成され、取引毎に、SFAローンがDMLシステムに記帳され、SFP取引がGlobal Oneシステムに記帳される。

20

【0170】

[0126] 図11は、図10において説明したような、代理アベイラビリティ(surrogate availability)を含む注文管理の簡潔なプロセスを示す。暫定代理NFSアベイラビリティ・プロセスが、代理NFSアベイラビリティ・ファイルを作成する。外部アベイラビリティをチェックした後、代理NFSファイルを作成し、位置特定要求にインポートする。

30

【0171】

[0127] 図12は、どのようにして投資マネージャ・アベイラビリティ・ファイル(investor manager availability file)が作成され、投資マネージャに公表され、IM借入報告を管理するためにプリンシパル方式アベイラビリティのマクロ(Principal Availability macro)によって用いられるかを示す。アベイラビリティは、メインフレーム上においてバッチでビルドされ、AIV投資マネージャ・アベイラビリティ・ファイルにおいて詳述される。バッチ・アベイラビリティ・プロセスが投資マネージャ毎にアベイラビリティ・ファイルを作成するが、これらのファイルはもはや、本来計画されたようには、IMには公表されない。IMは、公表されるアベイラビリティの代わりに、位置特定および応答プロセスを拠り所にする。

30

【0172】

[0128] 図13は、投資マネージャ要求ファイル・プロセス(investor manager request file process)を示す。IM要求ファイルは、位置特定または事前借入要求ファイルとすることができます。ファイルがOMBにインポートされたとき、またはユーザが特定の要求を入力したとき、OMBは株を各要求に割り当てようとする。受け入れられた場合、株は確保される。株が事前借入されている場合、本プロセスは、SFAおよびSFP借入記帳プロセスに進む。

40

【0173】

[0129] 図14は、外部アベイラビリティ・プロセスの要求を示す。アベイラビリティを判断した後、応答を見直し、エージェント・レンダーは外部に行くことを決定することもできる。次いで、外部の供給元(source)に対する追加の位置特定要求を作成し、外部供給元が応答する。外部供給元の応答にしたがって、投資管理アベイラビリティ(investor management availability)を更新する。本来の応答が外部に行かない場合、位置特定応答を生成し、応答ファイルを投資マネージャに送る。

【0174】

[0130] 図15は、投資管理実行注文ファイル・プロセス(investor manager executed orders file process)を示す。IM実行注文ファイルがOMBにインポートされ、トラ

50

ンザクションがそれらの位置特定および事前借入に対して調整され、次いでそれに株が割り当てられる（確保される）。全ての新しい取引は、事前借入を除いて、SFAおよびSFPローン記帳プロセスに進む。

【0175】

[0131] 図16は、アプリケーション・フレームワーク設計を説明するものである。種々のエージェント・レンダーからアベイラビリティ・ファイルが集められる。これらのファイルは、例えば、供給元、クライアント、グループ、ファンド、これが自己借入か否か、証券の説明、ティッカー(Ticker)、CUSIP、SEDL、およびISIN情報、総数情報、自己借入されていない総数(quantity)、これが一般担保 (GC:General Collateral) または特殊担保(Special Collateral)のどちらか、記述コード、決済場所、および証券値開き(security spread)に関する情報を収容する。数量が計算され、例えば、ビジネス・ロジック、クライアントのソーティング、値開き、または代替媒介物投資率(alternative vehicle investment percentages)、クライアントとクライアント・グループの関係、クライアントと投資マネージャの関係、およびクライアント・レベルの値開き(client level spreads)に基づいて、ファイルを生成する。次いで、アベイラビリティ・ファイルは、GCのために投資マネージャに安全に送られる。

10

【0176】

[0132] 図17は、空売り注文(short sale order)のプロセスを示す。具体的には、ステップ0.3において、位置特定要求ファイルを生成する。SFPは、この位置特定要求を受け取り、投資マネージャに位置特定応答ファイルを返送する。投資マネージャは、注文の総量およびレート(rate)について問い合わせるためにSFPと通信する選択肢を有することができる。SFPは、応答して、投資マネージャに、入手可能な総量およびレートを知らせ、特殊注文を生成することができる。投資マネージャは、この特殊注文を処理することを選択することができる。このような場合、SFPはSFAにSFA取引を記帳し、SFPに総量を伝えるように指示する。SFP取引は、投資マネージャに伝えられ、投資マネージャは空売り注文の生成を処理するか否か選択することができる。借入証券の空売り注文は、実行ブローカによって実行される。投資マネージャは、取引確認を受け取り、取引をMCHに送り、図19に記載するような空売り(short sale)指示/決済プロセスを開始するか、または確認した空売り注文ファイルをSFPに送り、図18に記載するように、空売り取引記入(short sale trade entry)を開始する。図17に示すプロセスは、証券が投資マネージャに受け渡され、決済日には、投資マネージャが受け渡しを行うべき証券を有するようにすることを確保する。

20

【0177】

[0133] 図18は、空売り(short sale)を発注した後における空売り取引記入(a short sale trade entries)のプロセスを示す。空売り取引記入は、特定の証券の受け渡しを確保する。最初に、エージェント・レンダーが投資マネージャから、位置特定プロセスまたは電話によって、注文ファイルを受け取り、投資マネージャが借入し過ぎないように、要求を実行と確実に一致させるために調停を行う。0.13SFA取引記帳サブプロセスに示すようにエージェント・レンダーにおいて、または0.15SFT取引記帳サブプロセスに示すように、融資プリンシパルにおいて、取引を記帳することができる。

30

【0178】

[0134] 本発明の一実施形態によれば、エージェント・レンダーは、証券の自己借入を行うことができる。例えば、担保を設定された売却(encumbered selling)が、1つの法的エンティティである15の異なるファンドを有するかもしれない年金制度に関係する場合がある。これらのファンドの内1つは、買い持ち(long) - 空売り(short)ファンドであるかもしれない、一方他のファンドは買い持ちのみのファンドである可能性がある。買い持ちのみのファンドが、買い持ち - 空売りファンドが有する証券を保持する場合、エージェント・レンダーは、買い持ちのみのファンドから証券を取得しそれを買い持ち - 空売りファンドに移動させる。1つのファンドから他のファンドへの移転は、空売りを買い戻す(cover)ように行われる。この自己借入プロセスは、クライアントにとって安価になる。何故

40

50

なら、エージェント・ボロワーは、監査料金のみを請求し、何の担保も調達する(put up)必要がないからである。証券が自己借入される場合、これは内部において空売りを買い戻すように、一方のファンドから他方に移転される。証券が自己借入されるのではない場合、これは記帳されるべきローンとなる。エージェント方式レンディング・デスクは、このローンを記帳し、FSC側のプリンシパルにそれを貸し出し、Global Oneシステムはプリンシパルからの借入およびクライアントへの貸出を記録する。口座決済日において、証券を移動させる準備ができてあり、クライアントの口座に受け渡される。

【0179】

[0135] 図19は、本発明の実施形態による空売り(short sale)指示または決済プロセスを示す。このプロセスは、全ての借入が完了し全てを記帳したときを報告し、更に受け渡しを行うために指示を銀行のカストディ・システムに送る。具体的には、資産が貸出クライアントの口座に入っている、これらを借り出してAIVの口座に移転する必要がある。図19は、自己借入プロセスおよび非自己借入プロセスの双方を示す。非自己借入の場合、証券は、「(XX)」として示すように、エージェントの貸出(DTC997)からプリンシパルの貸出(DTC998)に移動させられ、次いで、「(YY)」として示すように、エージェントの貸出に再度移動させられる。自己借入の場合、証券は、「(WW)」として示すように、エージェントの貸出の中で移動させられる。

10

【0180】

[0136] エージェント・レンダーは、証券をカストディ・システムから取得し、これらを貸出側のプリンシパル・システムに移動させる。次いで、エージェント・レンダーはこれらを、カストディにあるクライアントの口座に戻させる。したがって、証券は同じ場所に戻されるが、これはエージェント・レンダーにおいて2人の異なるクライアントに対して行われる。プリンシパルは、常に各トランザクションの中央に位置する。また、本プロセスは、証券がクライアントの口座に移動させられているので、空売りの受け渡し(short-sale delivery)を行うことができるとの確認も含む。

20

【0181】

[0137] 非自己借入の場合、プリンシパルは、レンダーがボロワーを承認する必要性を回避する。更に、ボロワーがレンダーと直接通信する必要もない。貸出クライアントは、プリンシパルを承認するだけでよい。プリンシパルは、レンダーについてリスク分析を行い、安心して証券をレンダーに貸し出すことができる。

30

【0182】

[0138] 自己借入の場合、ファンド間における証券の移動を開示することができる。何故なら、ファンドは同じ法人の中にあるからであり、これらの移動は単なる内部移転であって貸出エージェント内部に留まっており、プリンシパルを通じて移動する必要がないからである。

30

【0183】

[0139] 図20は、買い戻しプロセスを示す。クライアントが証券を借り入れて空売り(a short sale)を行った後、証券を売却することによって作ったいかなる利益でも回収することを決定することができる。買い戻しを決済するとき、借り入れた証券はエージェント方式レンディング・プログラムに戻される。非自己借入の場合、証券はプリンシパルに戻され、プリンシパルが証券をエージェント方式レンディング・デスクに戻して受け渡す。自己借入の場合、証券は当該法人内部における元のファンドに戻される。

40

【0184】

[0140] 図21は、プリンシパルに貸し出すべきエクイティ(equity)のアベイラビリティを投資マネージャ(investor manager)に伝えるプロセスを示す。投資マネージャは、位置特定要求を送る前に、アベイラビリティをチェックすることができる。

【0185】

[0141] クライアントが、例えば、額にして100,000ドルの空売り(short sell)を開始したい場合、典型的なブローカー・ディーラーは、追加証拠金請求を行い、空売りを行うための担保のために、100,000ドルよりも多い額のエクイティまたは現金を要求

50

する。プローカ - ディーラがエクイティを要求する場合、彼らがこれらのエクイティを管理するのであれば、市場取引ならびに法人アクションおよび配当を含めて、これらのエクイティを所有する。加えて、プローカ - ディーラは、クライアントが知らない間に、これらを他のクライアントに貸し出すこと、これらを場外に出して現金を調達することもできる。

【0186】

[0142] 図22は、本発明の実施形態にしたがって、クライアントが担保として提供する現金を全く有していないときに、どのように取引に融資するのかについて記載する。このような場合、貸出エージェントおよびクライアントが協同して作業を行い、例えば、長期エクイティ(long equities)を利用することによって、担保を調達する。エージェント・レンダーは、この長期エクイティを貸出、貸出毎に、現金の担保を徴収する。従前からのエージェント方式レンディング・プログラムでは、この現金が投資されて、値開きを作ろうとし、投資の利益のためにプローカに払い戻す。本明細書において開示するエージェント方式レンディング・プログラムでは、その現金は投資されず、クライアントに返還され、借り入れた証券に対する支払いのために、クライアントがプリンシパルにその現金を与える。これは、プローカ - ディーラ・システムと比較すると、著しく安い融資方法である。加えて、融資に宛てられる各ローンには、透明性が伴われる。更に、多くのクライアントはエクイティ貸出には、現金を得る方を好む。

10

【0187】

[0143] 図23は、契約比較および値洗いプロセスを示す。図23において、"Loanet"は、契約比較サービス提供業者であり、"LAMS"はロー - ネット(low-net)自動化マーク・システムである。エージェント方式レンディングの投資家(agent lending investor)がレンダーであり、プリンシパル投資家(principal investor)がボロワーであると仮定すると、あらゆる夜間契約(night contract)を比較して、契約が同様に記帳されており、これらが同期されていることを確認する。加えて、本発明の実施形態によれば、一旦契約を比較したなら、双方の側にマークを生成し、これらのマークが、例えば、借り入れられた証券の価格が動いているという情報を提供する。例えば、毎日一定の担保を保持する必要があり、証券の価格が前日の貸出価格よりも下落したと仮定すると、クライアントはいくらかの現金を引き出す(collect)ことができる。クライアントは、エージェント方式レンディング・デスクにマークして、現金を取り返すことができる。次の日に、価格が上昇した場合、エージェント方式レンディング・デスクはマークを行い、いくらかの現金の返還を要求することができる。"Loanet"は、担保水準を、例えば、102%に自動的に設定することができる。

20

30

【0188】

[0144] 図24は、支払い可能日決済保留収入イベント(payable date settling pending income events)、貸出ファンド・エクイティ付与(lending fund entitlements)、プリンシパルからの借方記入(debits)、およびエージェント・レンダーからの貸方記入(credits)に関する、収入収集プロセス(配当)を示す。

【0189】

[0145] 図25から図28は、義務的法人アクション・プロセスを示す。グローバル・サービス(Global Services)は法人アクションを管理するカストディ・グループ(custody group)である。具体的には、図25は、証券交換を伴う義務的アクションについて説明する。反映されるアクションの種類には、交換、株式逆分割(reserve splits)、または名義(name)およびC U S I P変更を含むことができる。図26は、証券分割(security splits)を伴う義務的法人アクションについて説明する。反映されるアクションの種類には、株式分割または株式配当を含むことができる。図27は、新たなC U S I Pが割り当てられる、証券スピンドル・オフ(security spin offs)を伴う義務的法人アクションについて説明する。反映されるアクションの種類には、権利分散、スピンドル・オフ、またはワラント(warrants)を含むことができる。図28は、現金を伴う義務的法人アクションについて説明する。反映されるアクションには、現金混同(cash merger)(接収(takeover))を含むことが

40

50

できる。

【0190】

[0146] 図29および図30に示す自発的法人アクションでは、クライアントは、彼らが採用して欲しい法人アクションの種類について、選択を行うことができる。クライアントは、現金(図29)または証券交換(図30)のいずれかを伴う自発的法人アクションを選択することができる。次いで、貸出エージェントは、クライアントの選択にしたがってアクションするので、ボロワーには選択肢がない。

【0191】

[0147] また、本明細書における詳細な説明は、コンピュータまたはコンピュータのネットワーク上において実効されるプログラム手順に関して提示することもできることは理解されてしかるべきであろう。これらの手順的記述および表現は、当業者が彼らの作業の実体を他の当業者に最も有効に伝えるために用いられる手段である。

10

【0192】

[0148] 手順とは、本明細書では、そして一般に、所望の結果に至るステップの首尾一貫したシーケンスであると考えられる。これらのステップは、物理的量の物理的操作を必要とするものである。通常、必ずしもそうとは限らないが、これらの量は、格納、転送、組み合わせ、比較、およびそれ以外の操作を可能とする電気信号または磁気信号の形態をなす。主に慣例的な使用の理由から、これらの信号をビット、値、エレメント、シンボル、キャラクタ、用語(terms)、数値などと呼ぶことが、ときとして、都合がよいことが分かっている。しかしながら、これらおよび同様の用語の全てには、しかるべき物理量が関連付けられているはずであり、単にこれらの量に適用される便利な表記であるに過ぎないことは、注記してしかるべきである。

20

【0193】

[0149] 更に、行われる操作は、人のオペレータによって行われる精神的操作(mental operations)と一般に関連付けられる、追加または比較というような、用語で言及されることが多い。本明細書において記載した動作において、本発明の一部をなすいずれの動作においても、人のオペレータのこののような能力は必要でなくまた殆どの場合望ましくない。これらの動作は機械の動作である。本発明の動作を実行するのに有用な機械には、汎用デジタル・コンピュータまたは同様のデバイスが含まれる。

30

【0194】

[0150] また、本発明はこれらの動作を実行する装置に関する。この装置は、要求される目的に合わせて特別に組み立てられてもよく、または汎用コンピュータを備えて、当該コンピュータに格納されているコンピュータ・プログラムによって選択的に活性化または再構成されるのであってもよい。本明細書において紹介した手順は、特定のコンピュータまたはその他の装置に本質的に関係するのではない。本明細書における教示にしたがって書かれるプログラムと共に、種々の汎用機械を用いることができ、あるいは要求される方法ステップを実行するように、更に特別な装置を組み立てる方が好都合であると考えられることがある。種々のこれら特定的な機械に要求される構造は、以上で示した説明から明白であろう。

40

【0195】

[0151] 本発明によるシステムは、汎用コンピュータ、または特別にプログラミングされた特殊目的コンピュータを含むことができる。ユーザは、例えば、パーソナル・コンピュータまたはPDA、例えば、インターネット、インターネットなどを通じて、本システムと相互作用を行うことができる。これらのいずれでも、1つのコンピュータではなく、分散型コンピュータ・システムとして実現することもできる。同様に、通信リンクは、専用リンク、POTS回線を通じたモ뎀、インターネット、および/またはコンピュータおよび/またはユーザ間で通信を行うその他のいずれの方法でもよい。更に、処理は1つ以上のコンピュータ・システムまたはプロセッサ上においてソフトウェア・プログラムによって制御することができ、あるいは部分的または全体的にハードウェアで実現することも可能である。

50

【0196】

[0152] 1つのコンピュータを用いてもよいが、本発明の1つ以上の実施形態によるシステムには、多数のプロセッサまたは記憶デバイスあるいはその組み合わせを相応しく装備する随意選択肢もある。例えば、コンピュータは、本発明の実施形態の概念にしたがって動作する適した処理システムであれば、いずれとでも交換すること、またはこれと組み合わせることもでき、適した処理システムには、精巧な計算機、ハンド・ヘルド、ラップトップ／ノートブック、ミニ、メインフレーム、およびスーパー・コンピュータ、ならびにこれらの処理システムをネットワークによって組み合わせたものが含まれる。更に、本システムの一部は、例えば、電子信号のように通信回線上で供給される、CDおよび／またはDVD上で供給される、光ディスク・メモリ上で供給されるもの等を含む、しかるべき電子フォーマットのいずれでも提供することができる。

【0197】

[0153] 本発明のこのような実施形態には、現在入手可能または今後開発されるコンピュータ・ソフトウェア言語および／またはハードウェア・コンポーネントのいずれでも採用することができる。例えば、以上で述べた機能の内少なくとも一部は、JAVA、Visual Basic、C、C++、または用いられるプロセッサを考慮して適したアセンブリ言語のいずれを用いても実現することができる。また、Javaのような、オブジェクト指向および／またはインタープリタ環境で書いて、種々のユーザに向けて多数の宛先に移送することもできる。

【0198】

[0154] 本発明は、以上の説明において明記したまたは図面に示した構造の詳細およびコンポーネントの構成に、その用途が限定されるのではないことは理解されてしかるべきである。例えば、先に説明した1つ以上のシステムは、改良証券貸出プロセスにおいて用いることができる。したがって、本発明は他の実施形態も可能であり、種々の方法で実用化することおよび実行することも可能であることは言うまでもない。また、本明細書において採用した表現および用語は、説明の目的のためであり、限定と見なしてはならないことも理解されてしかるべきである。また、先に説明した実施形態の一部は、連邦またはその他の関連法規下では現在承認されていない場合もあるが、これらの実施形態は、しかしながら、本発明の一部であると見なすことも注記してしかるべきである。

【0199】

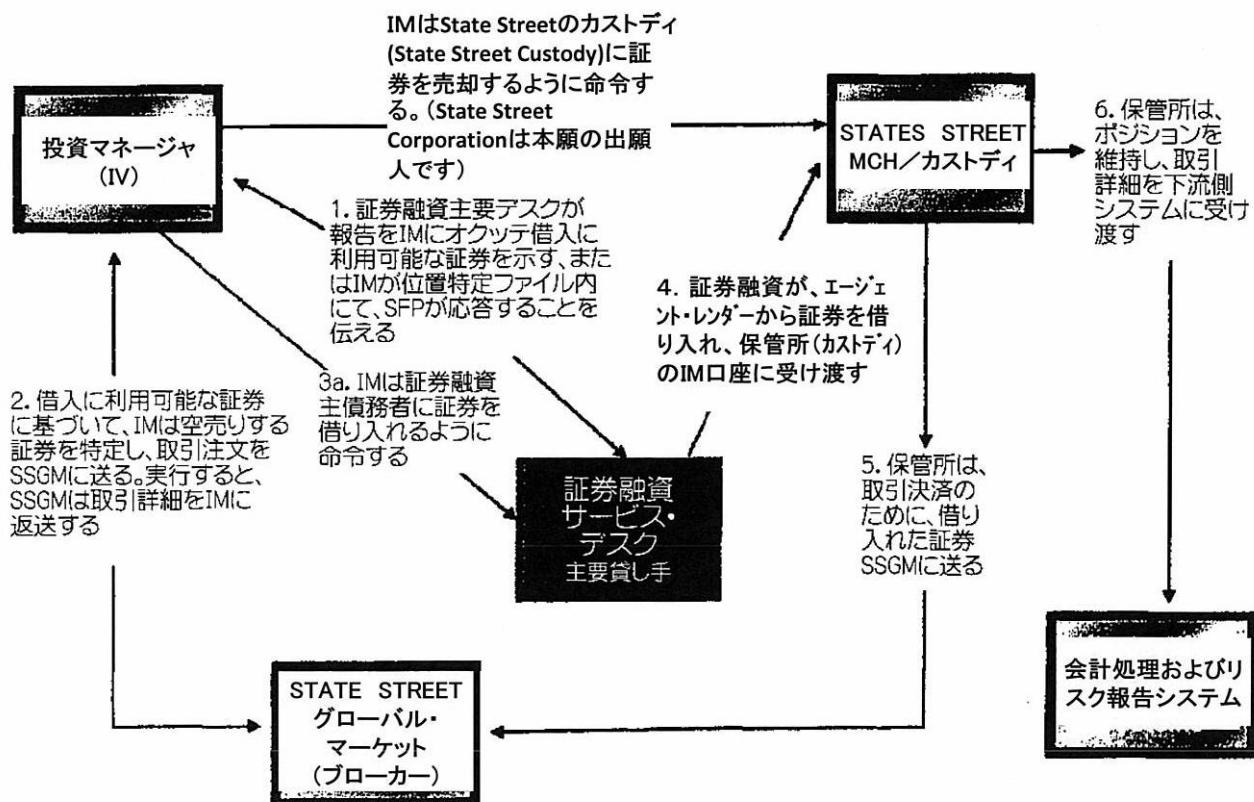
[0155] 当業者には、本開示の基本となる概念は、本発明の様々な目的を実行するための他の構造、方法、およびシステムの設計の基礎として容易に利用できることが認められよう。したがって、重要なのは、このような同等の構造が本発明の主旨および範囲から逸脱しない範囲で、特許請求の範囲がこれらを含むものと見なすことである。

【0200】

[0156] 本発明の実施形態の多くの特徴および利点は、詳細な明細書から明白であり、したがって、本発明の真の主旨および範囲に該当する、本発明のこのような特徴および利点全てを包含することを意図している。本発明の範囲に該当する、全ての適した変更および同等物に頼ることもできる。

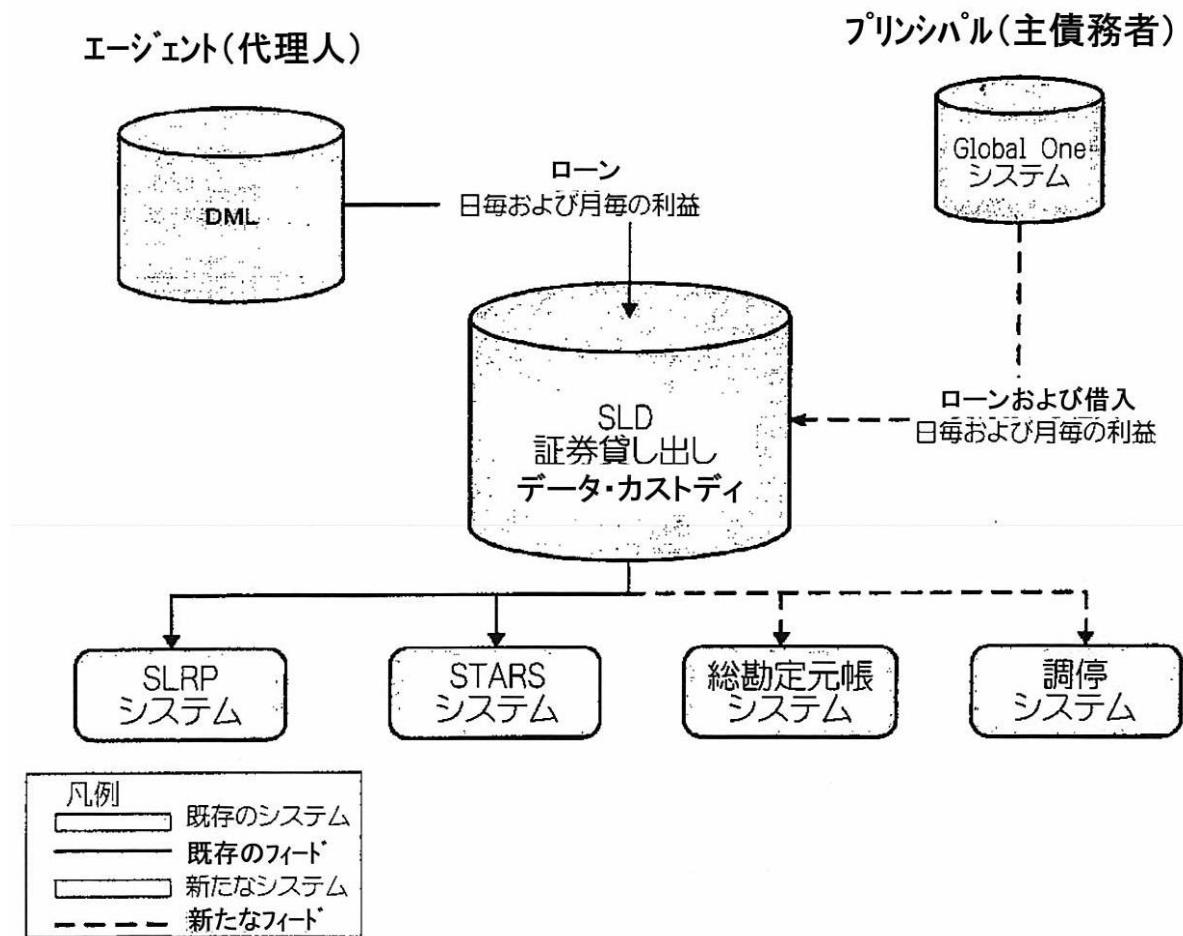
【図1】

モデルの全体像

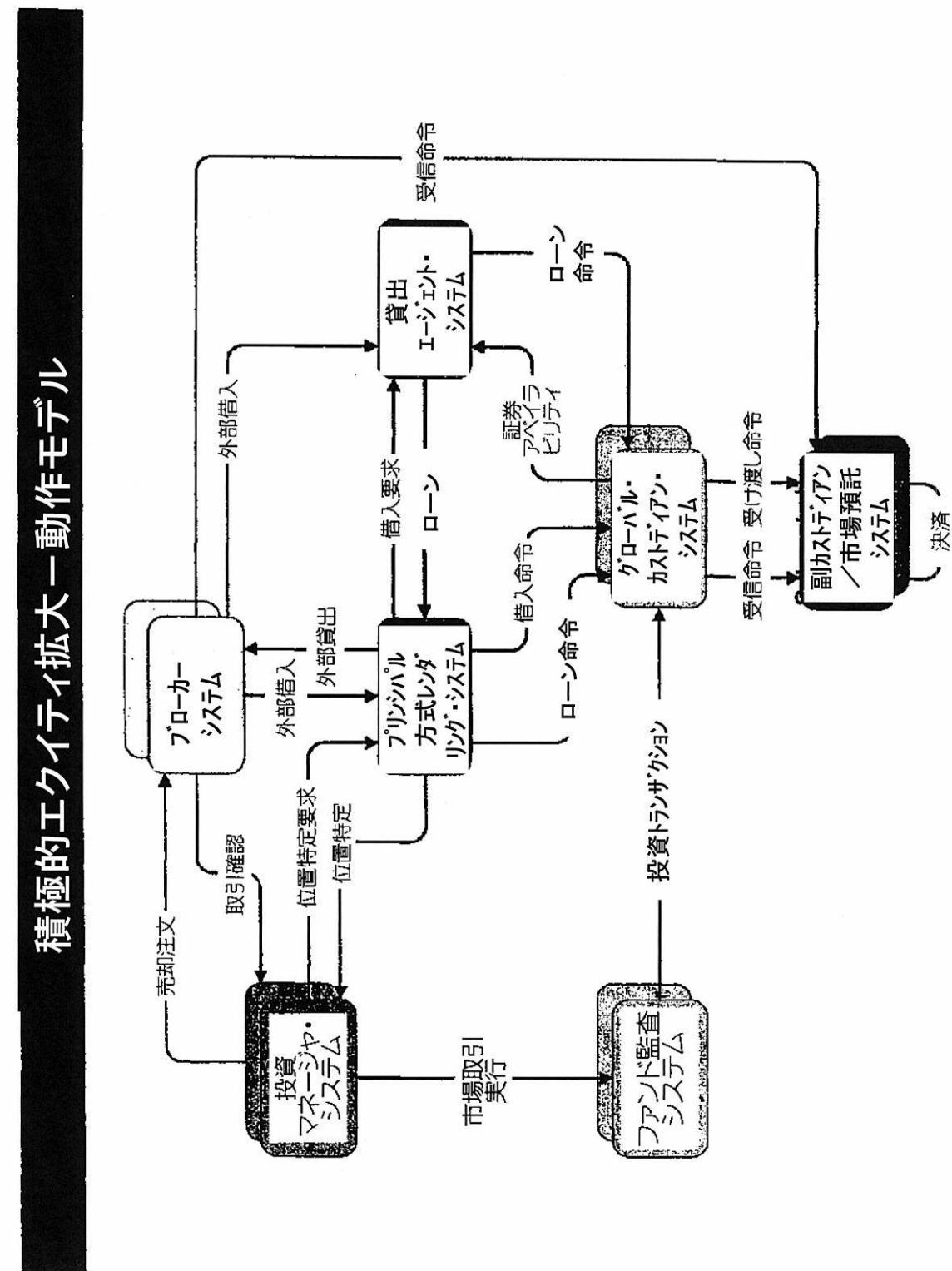


【 図 2 】

改良カストディ・モデルに対するSLD拡大

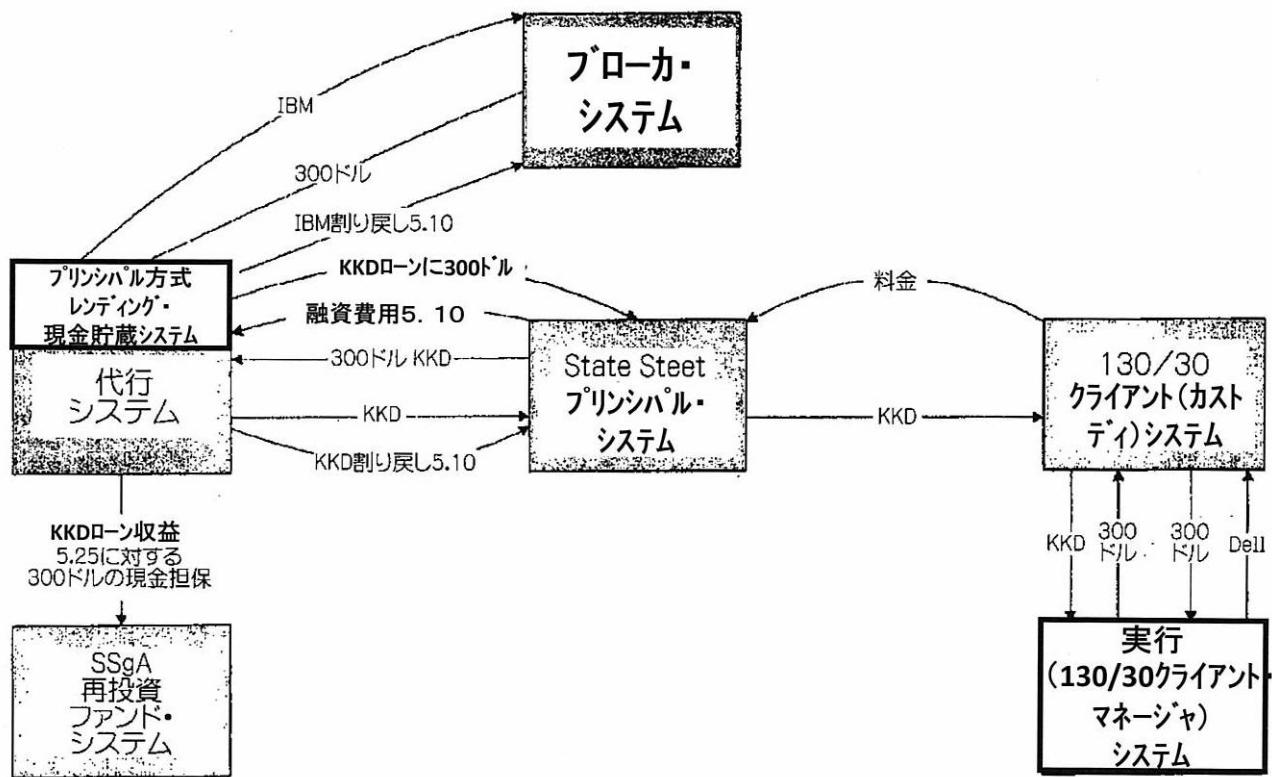


【図3】



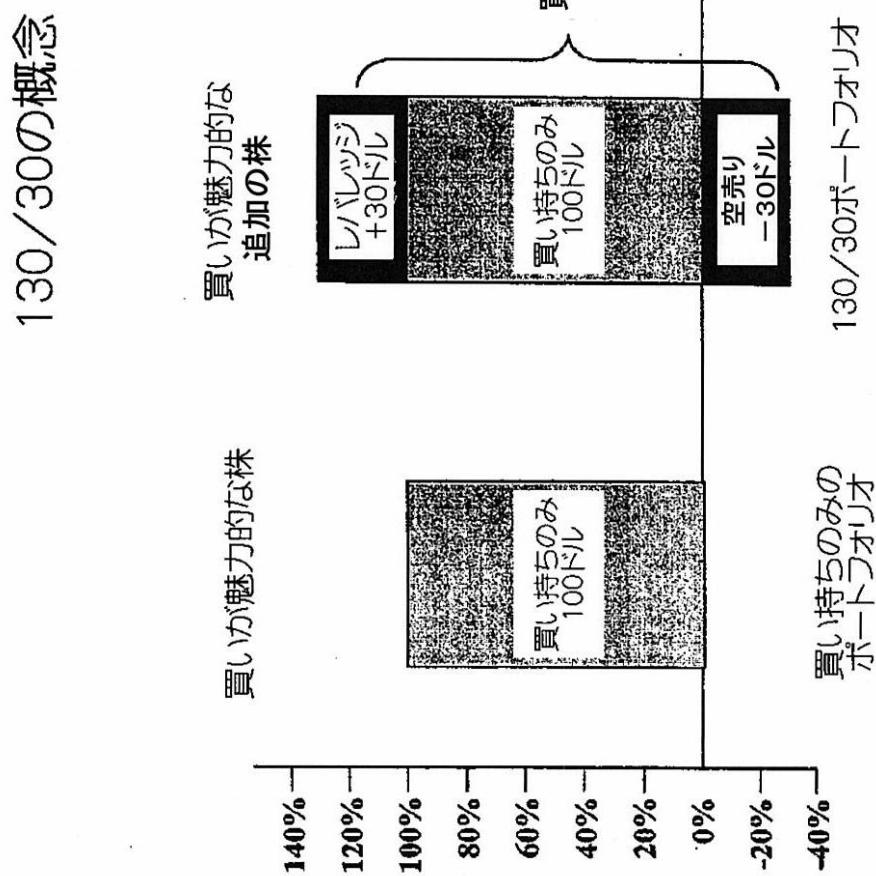
【図4】

金融取引

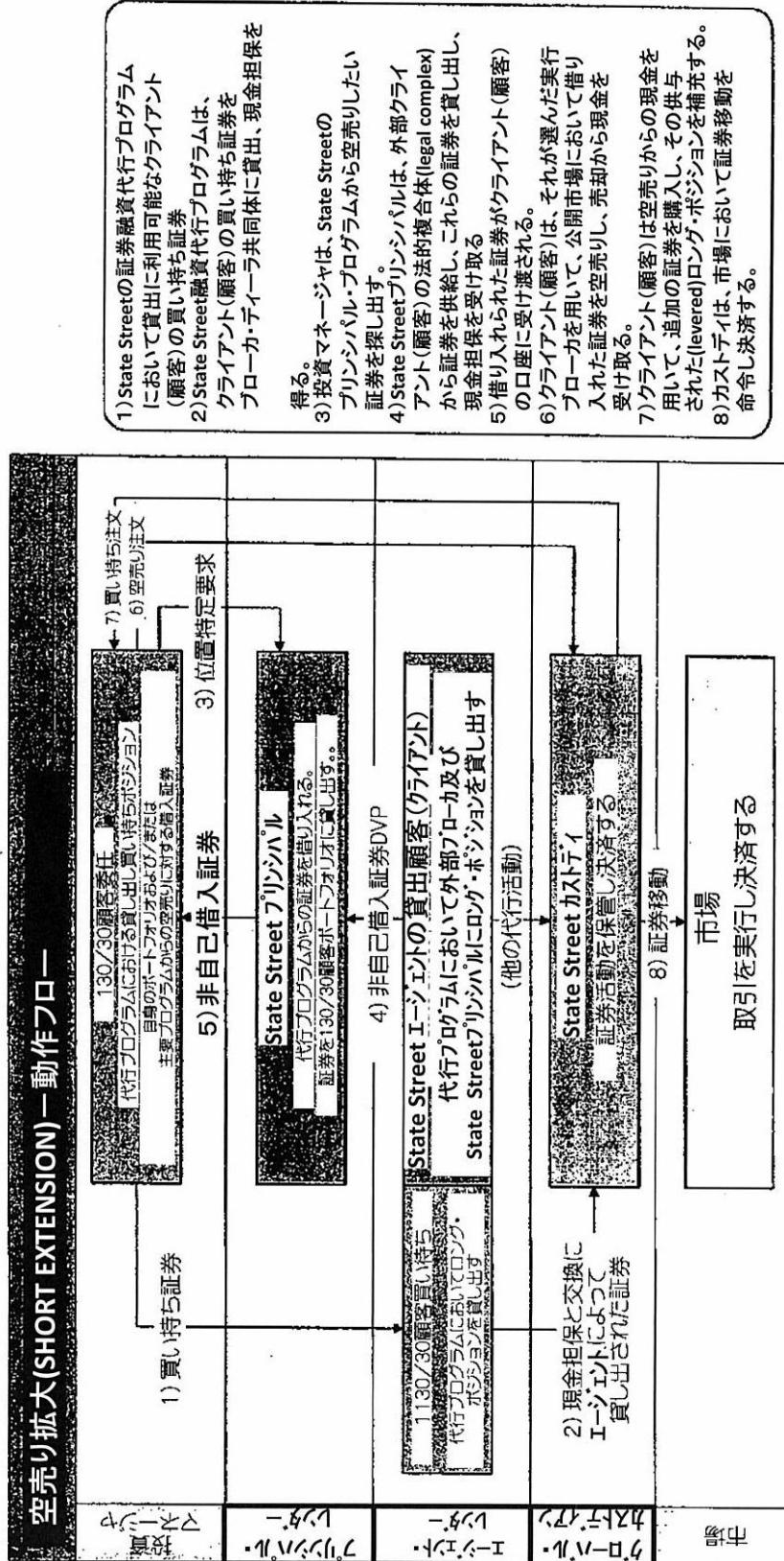


【 図 5 】

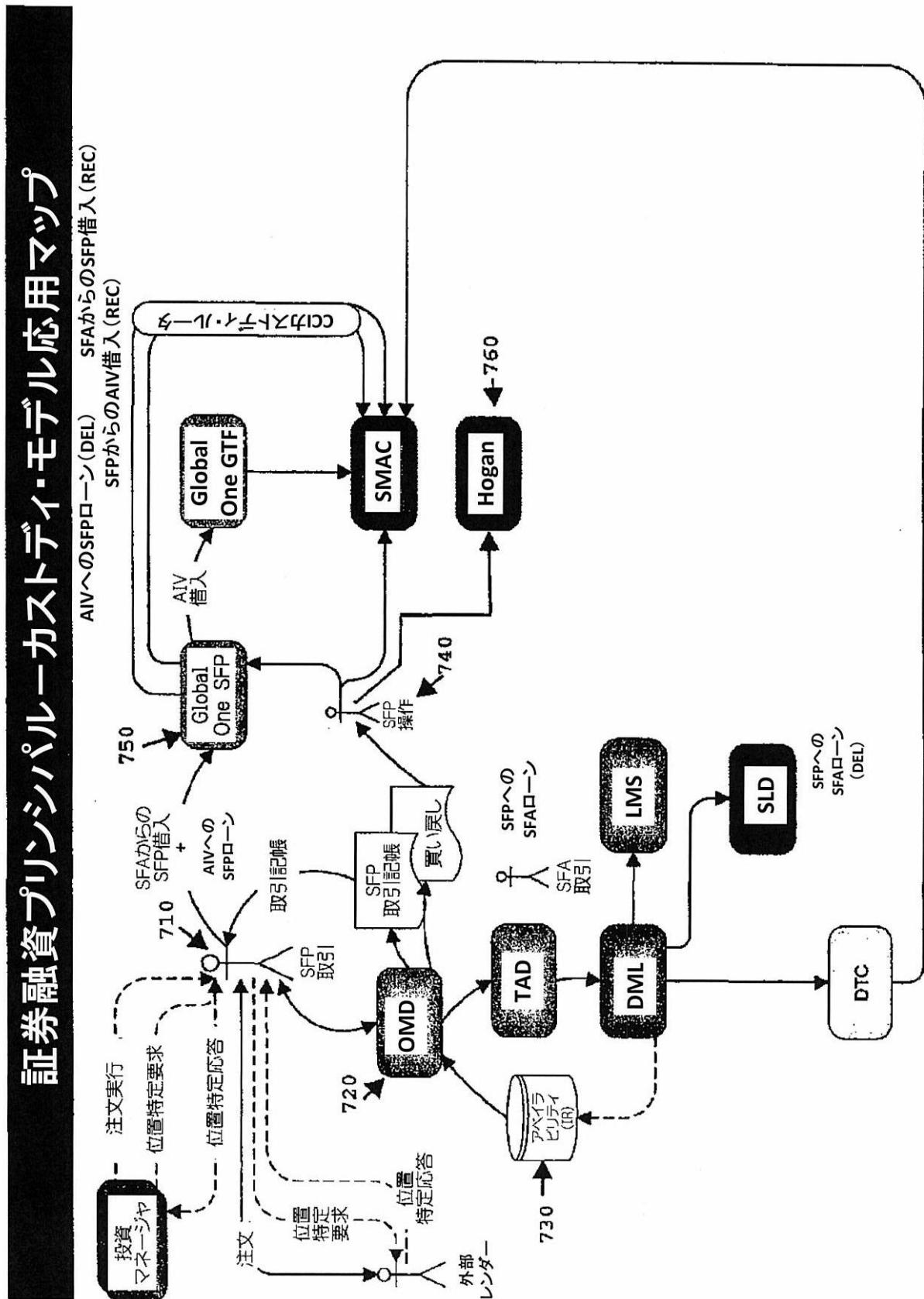
130/30パートワオリオは
アルファ・モデリに對して
より多くのエクスポートを有する



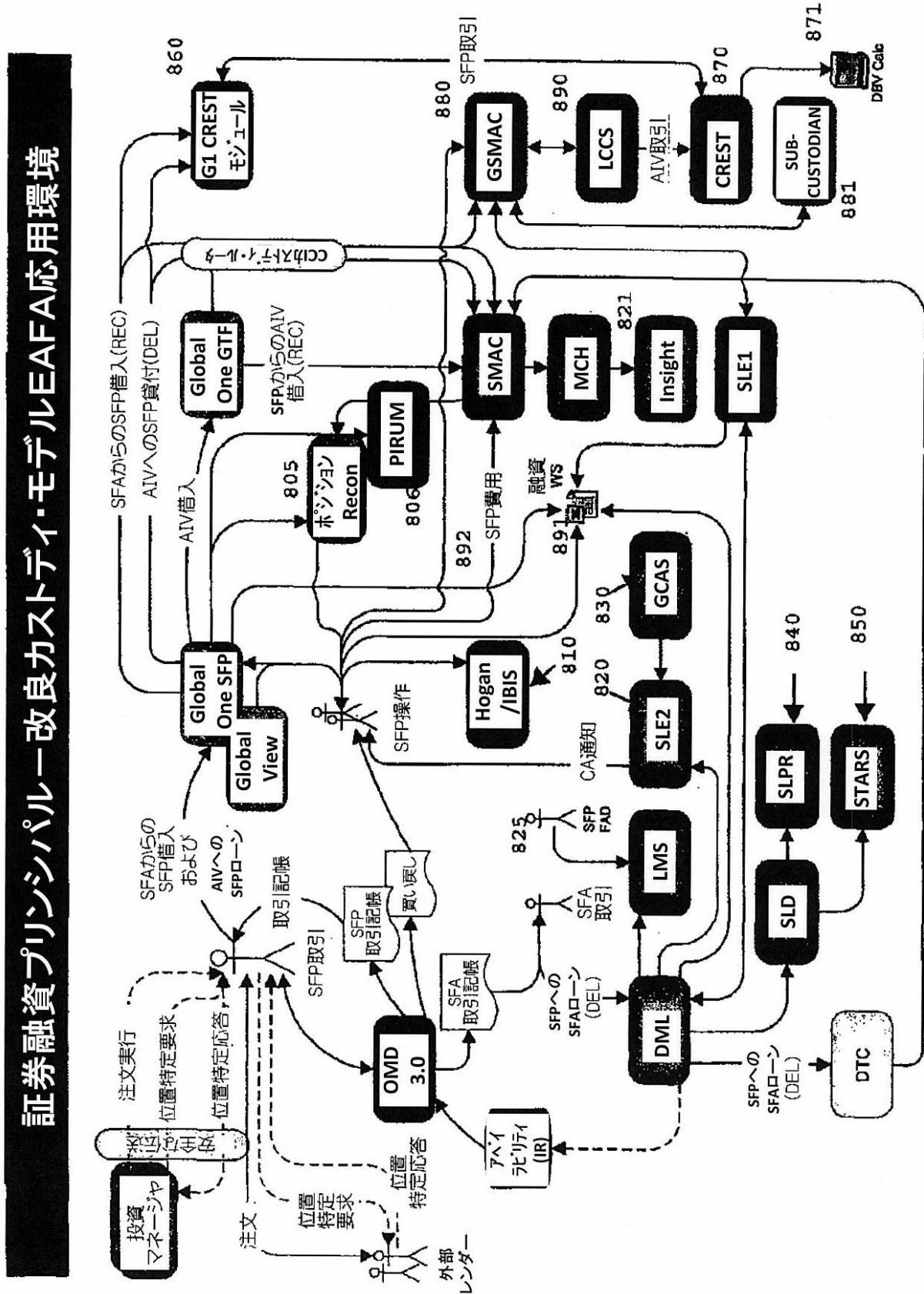
【図6】



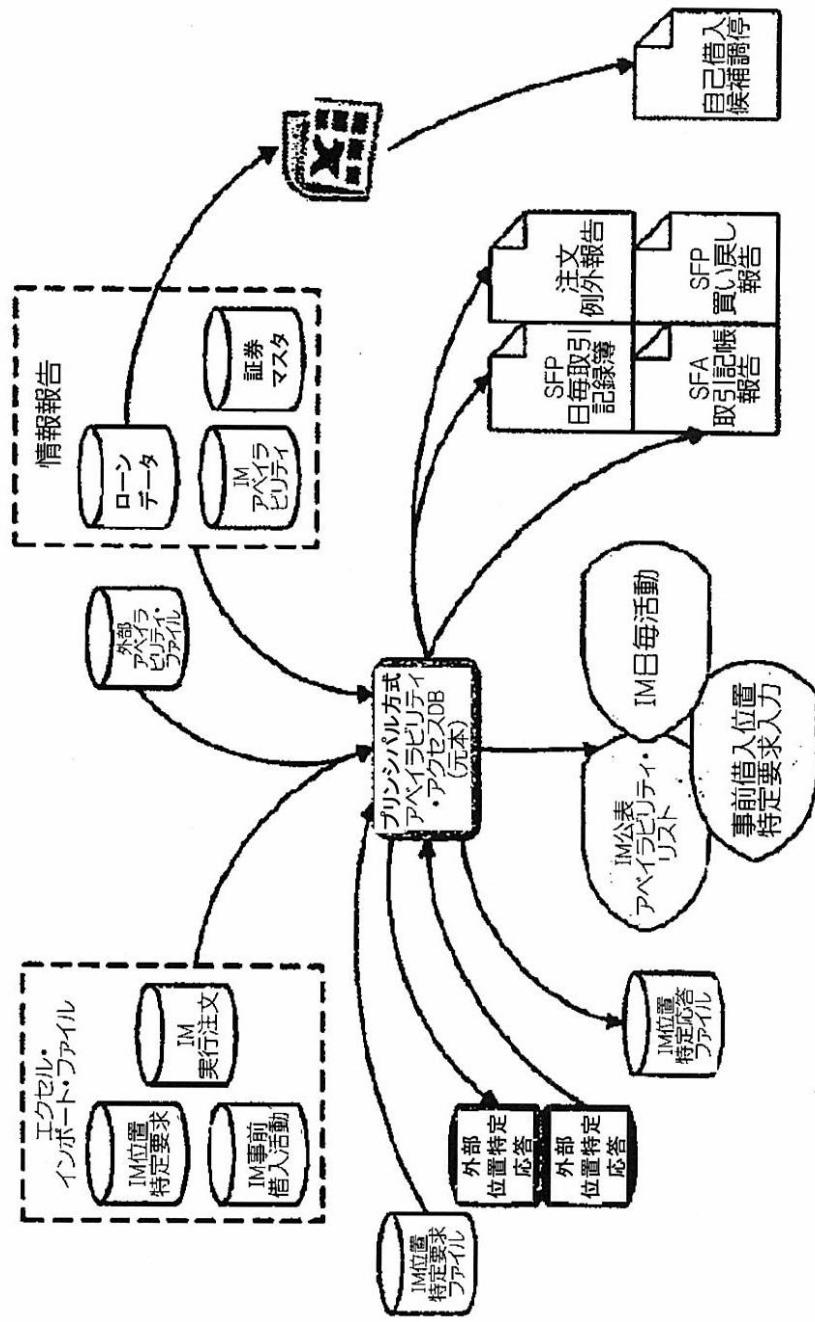
【図7】



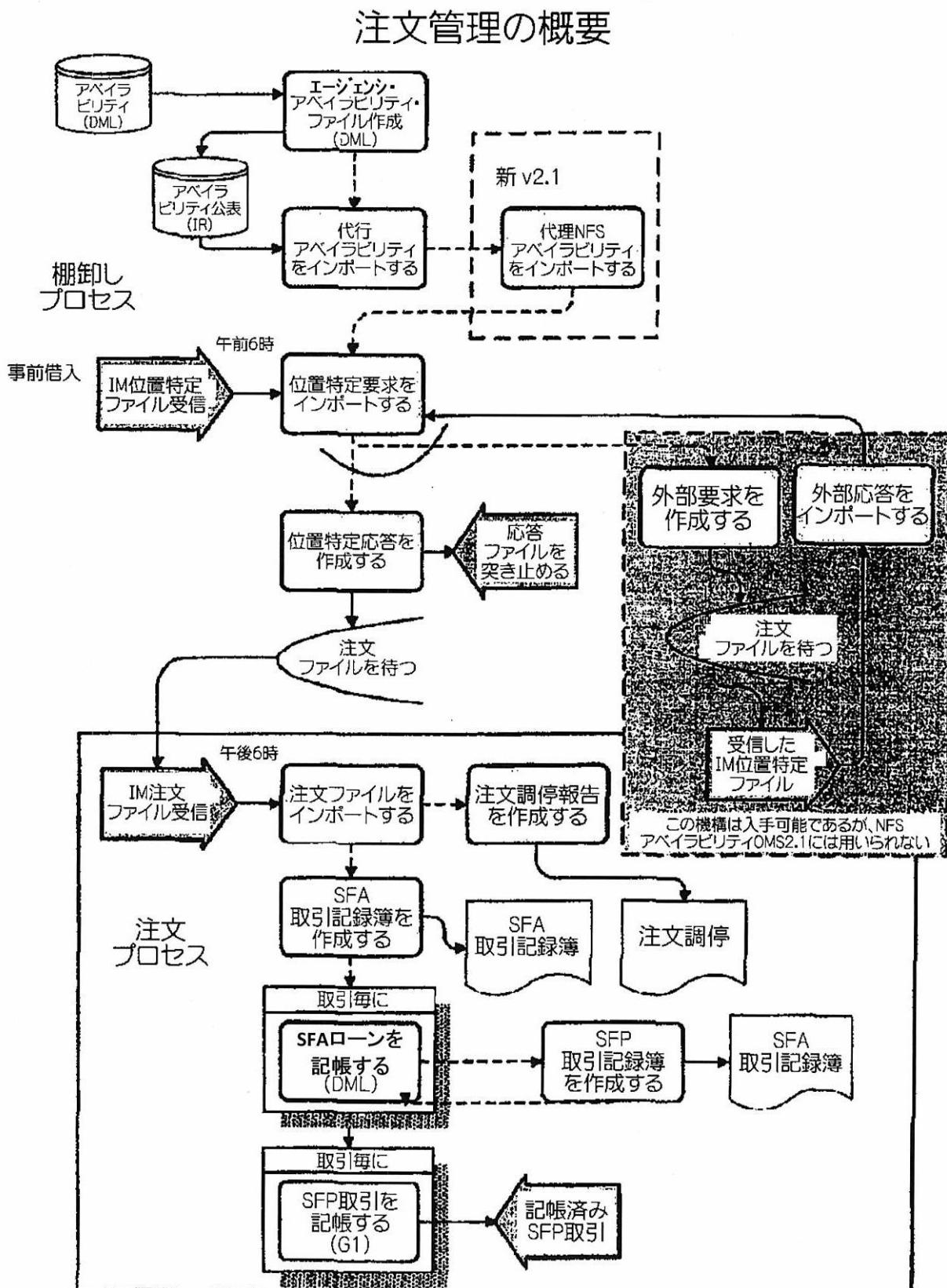
〔 図 8 〕



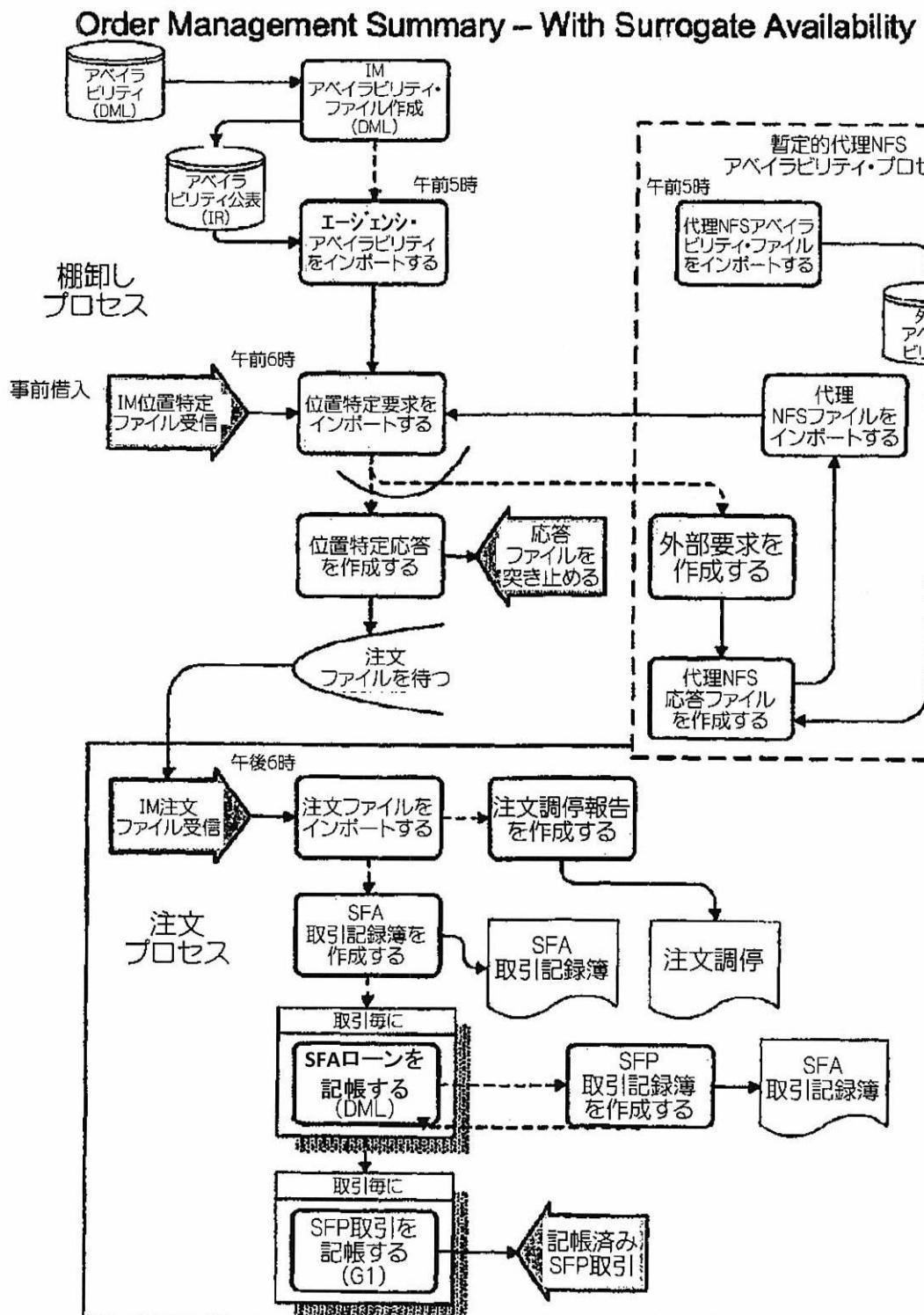
【図 9】



【図10】

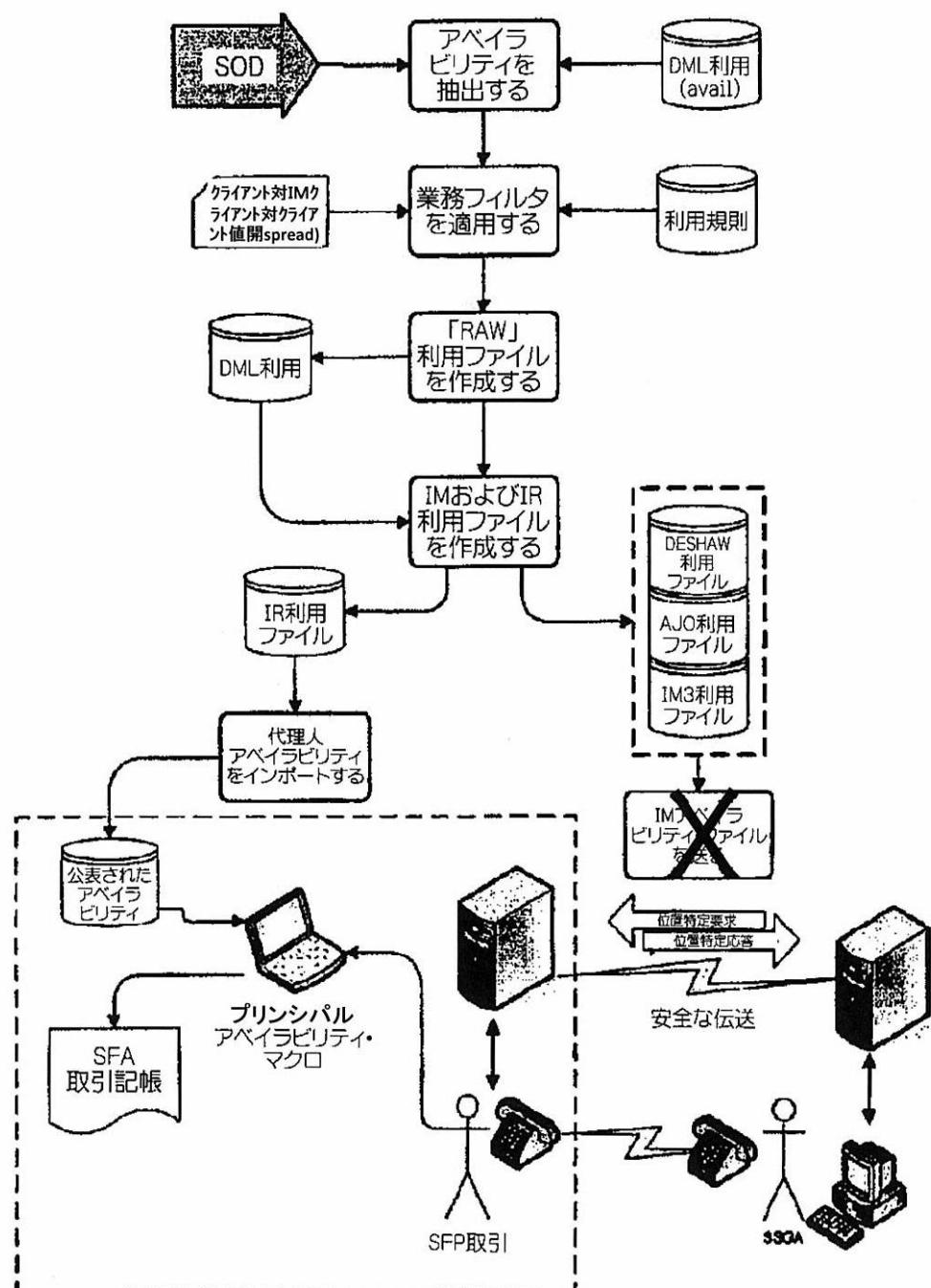


【図 11】



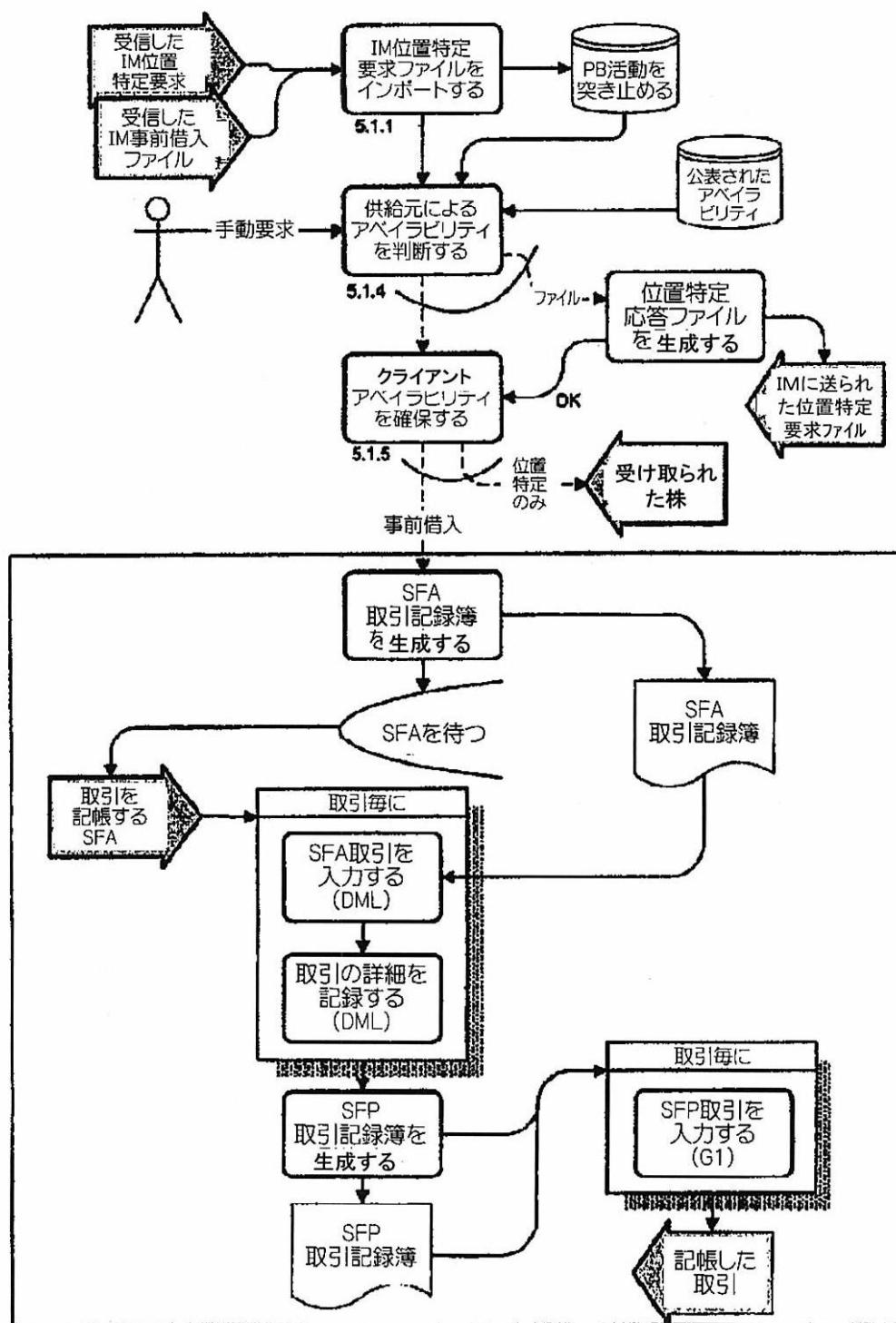
【図12】

IMおよびIRアベイラビリティ・ファイルの作成



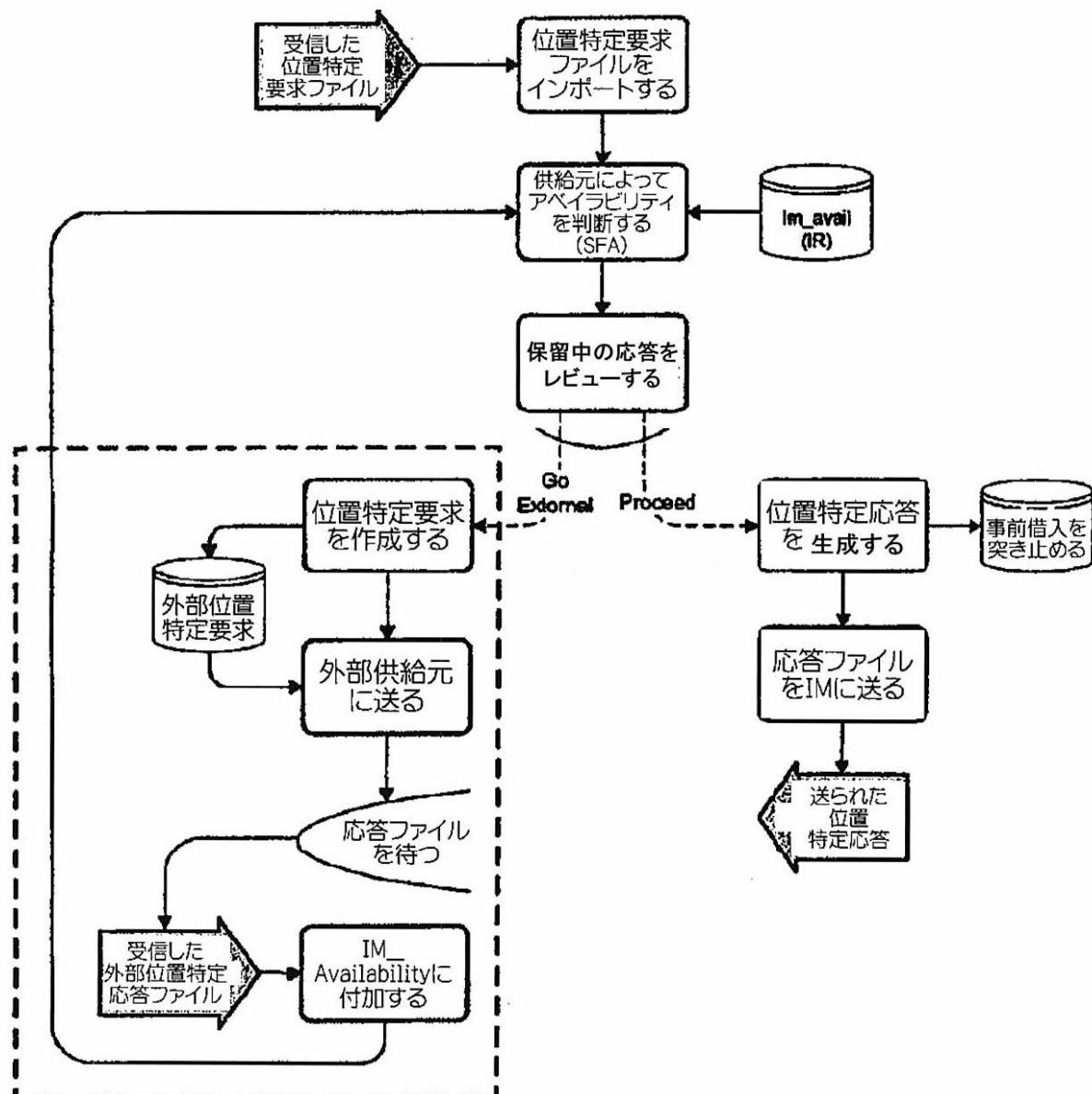
【図13】

IM要求ファイルの処理



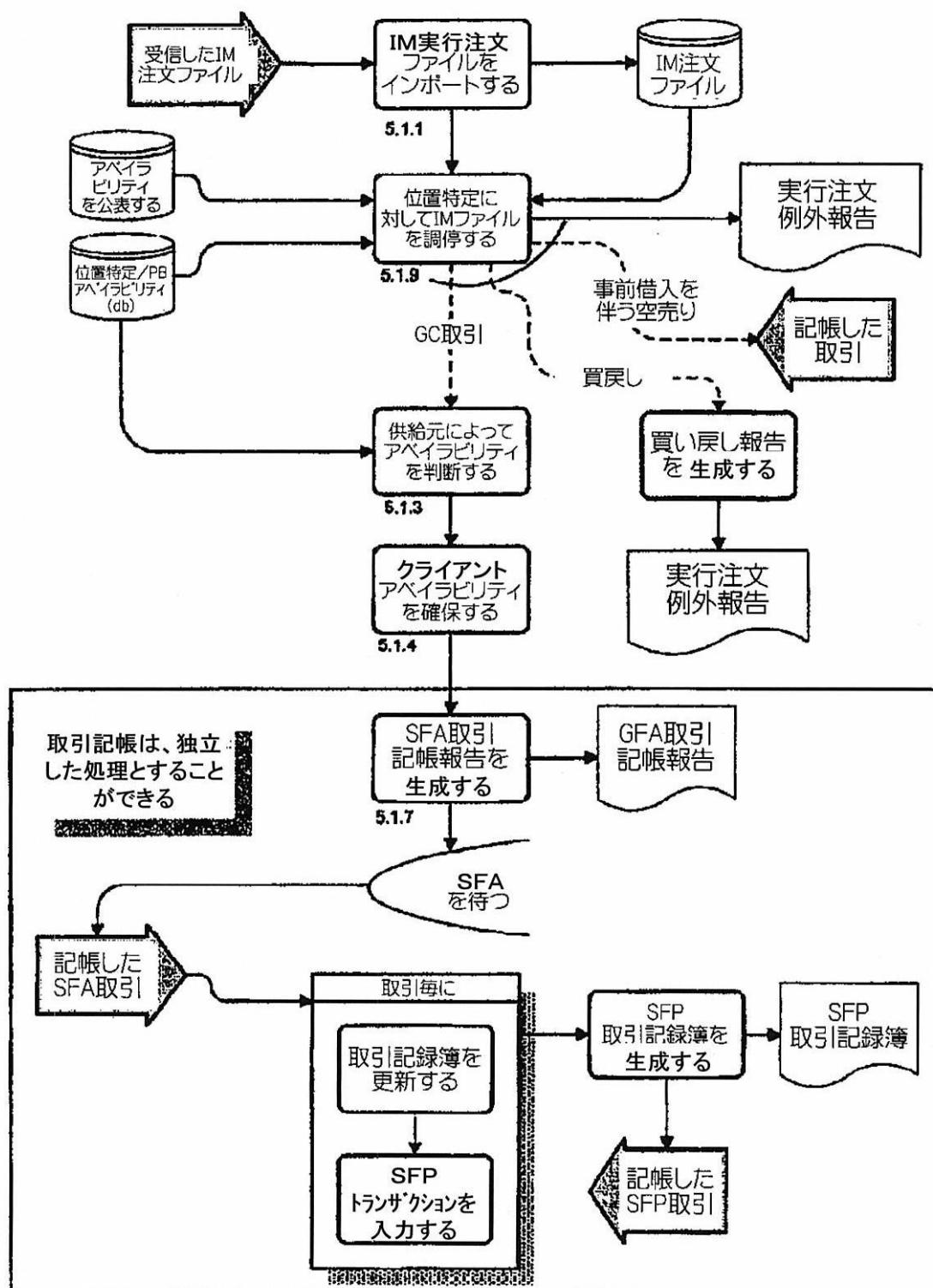
【 図 1 4 】

位置特定／応答ファイルの処理



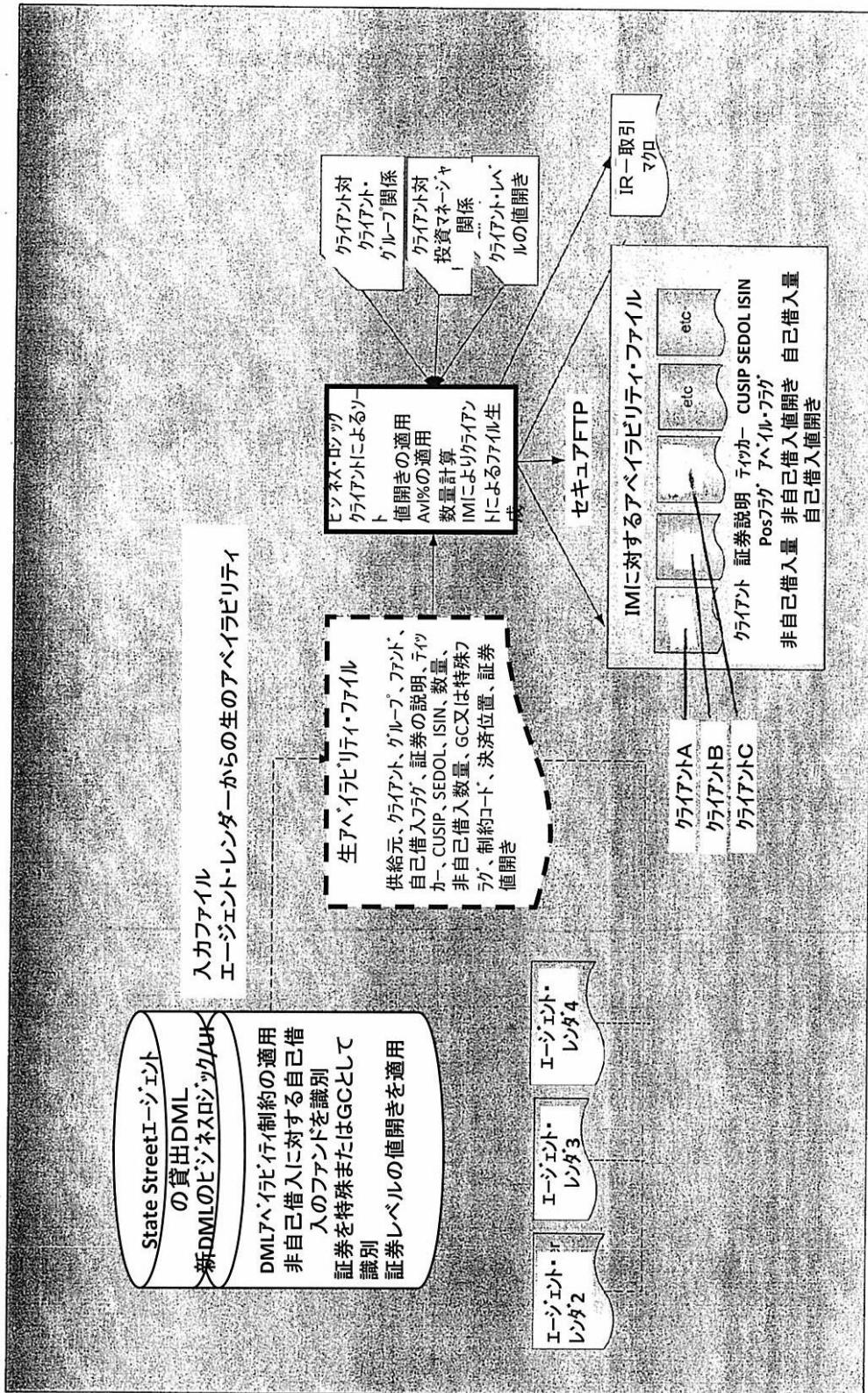
〔 15 〕

IM実行位置特定要求ファイルの処理

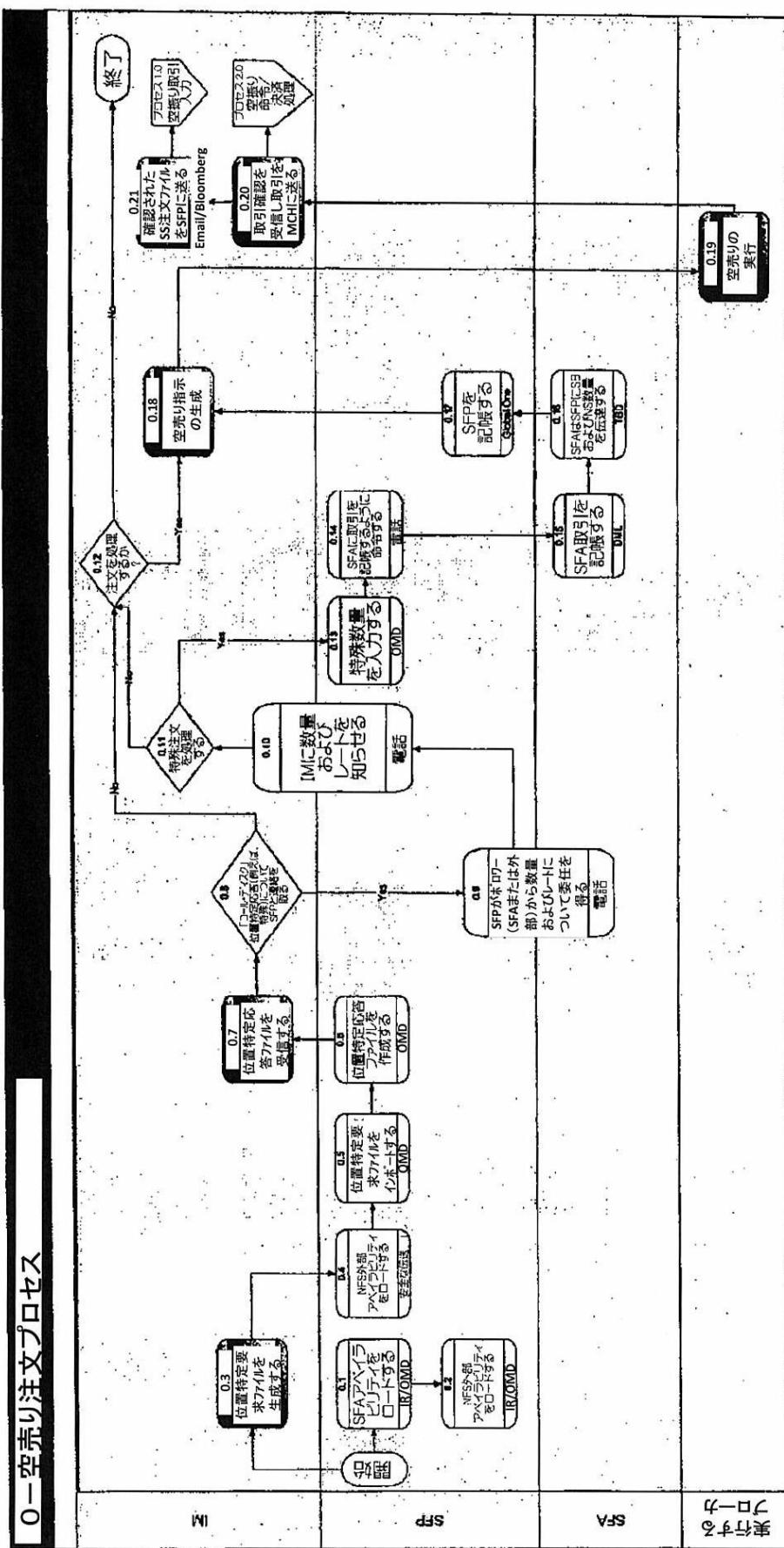


【 図 1 6 】

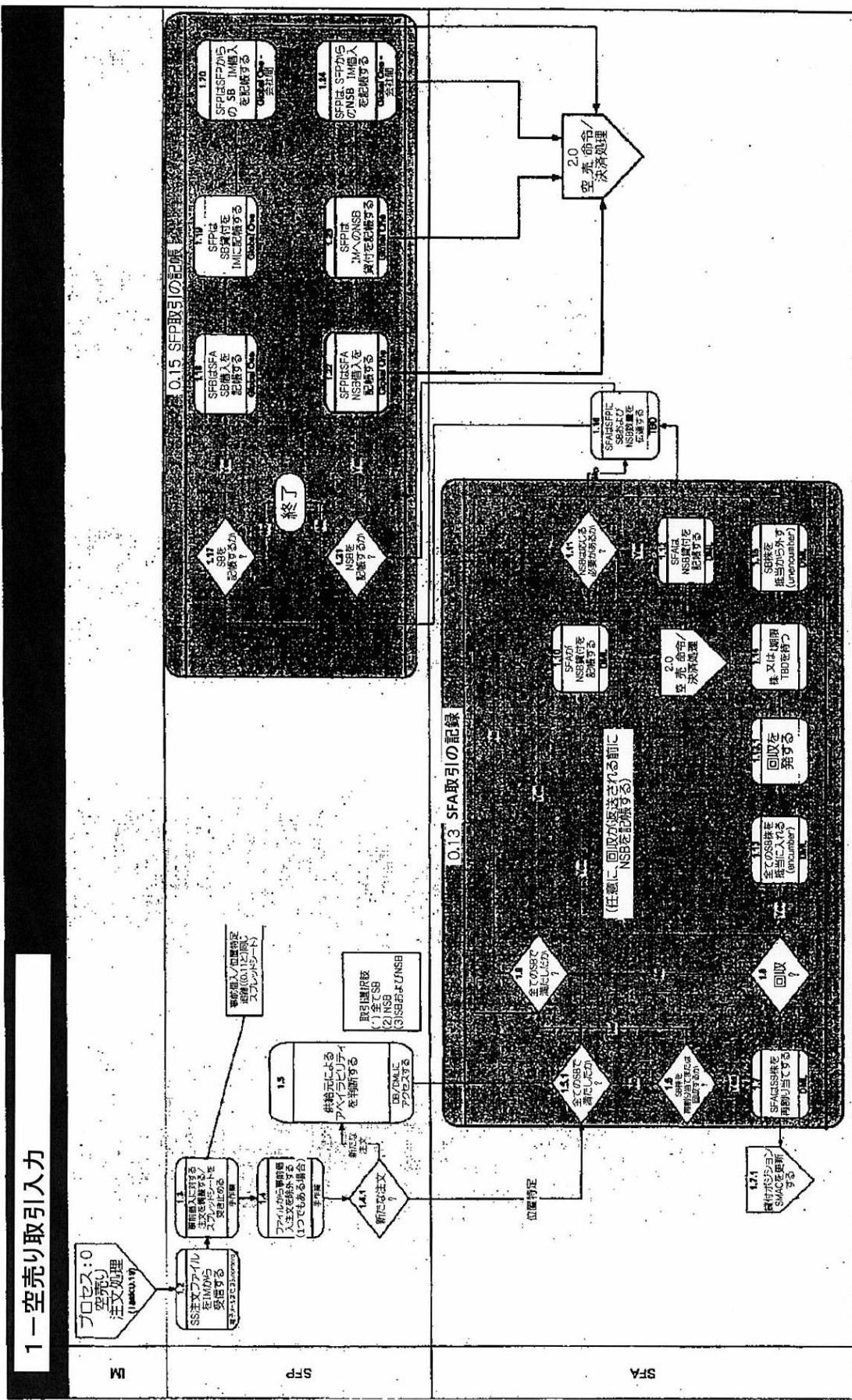
アプローチワークのフレームワーク設計



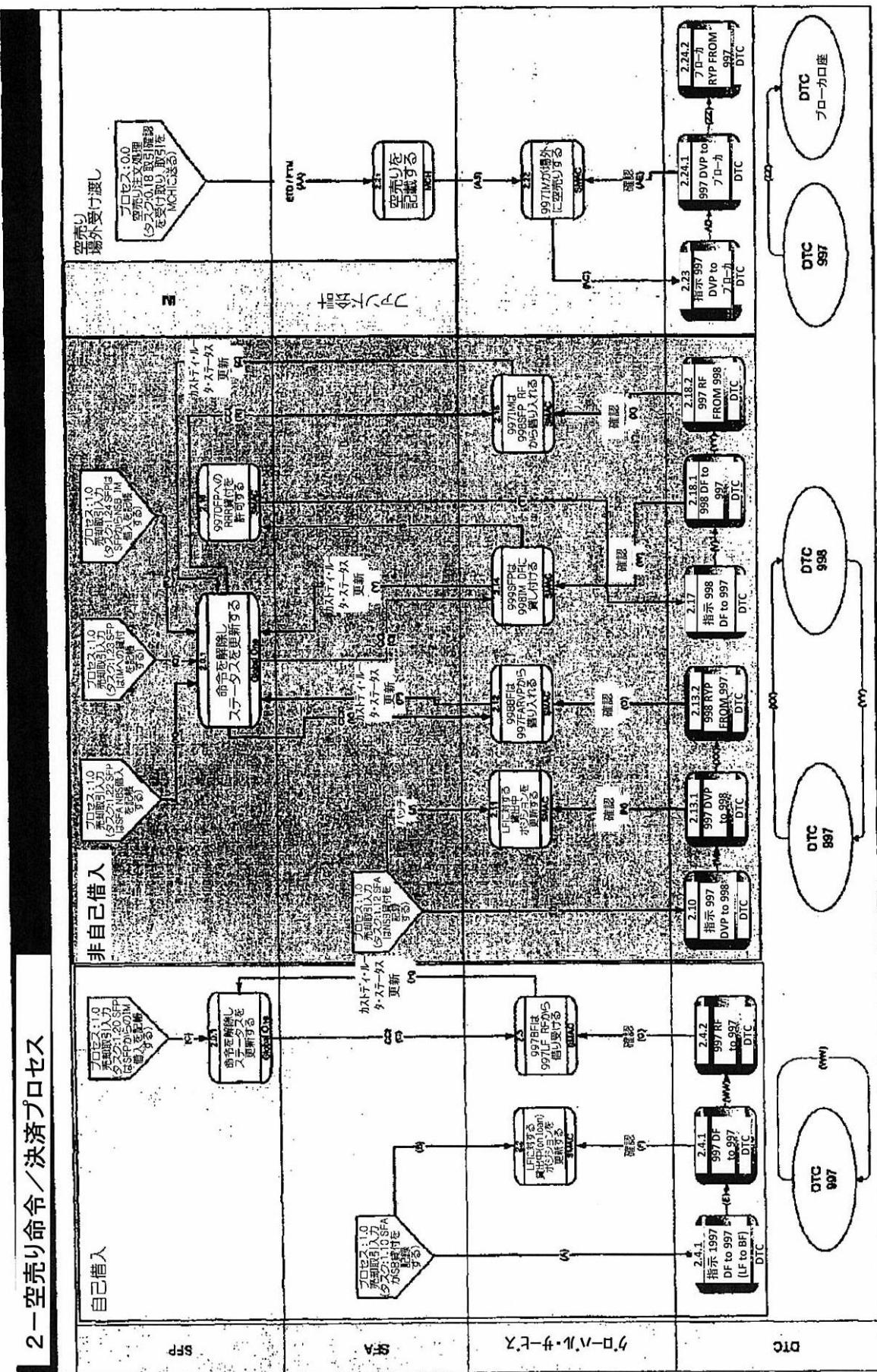
【図17】



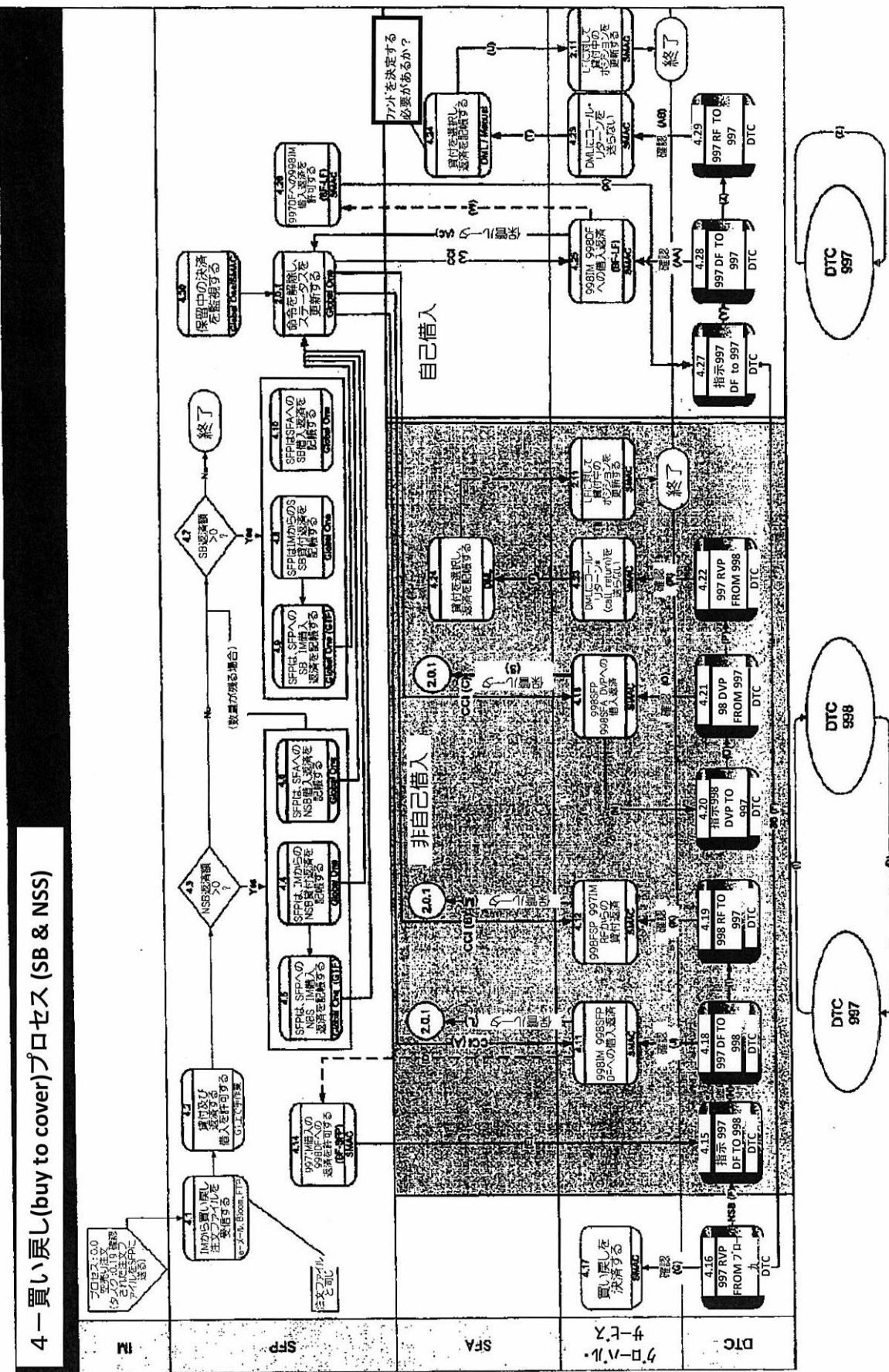
【図18】



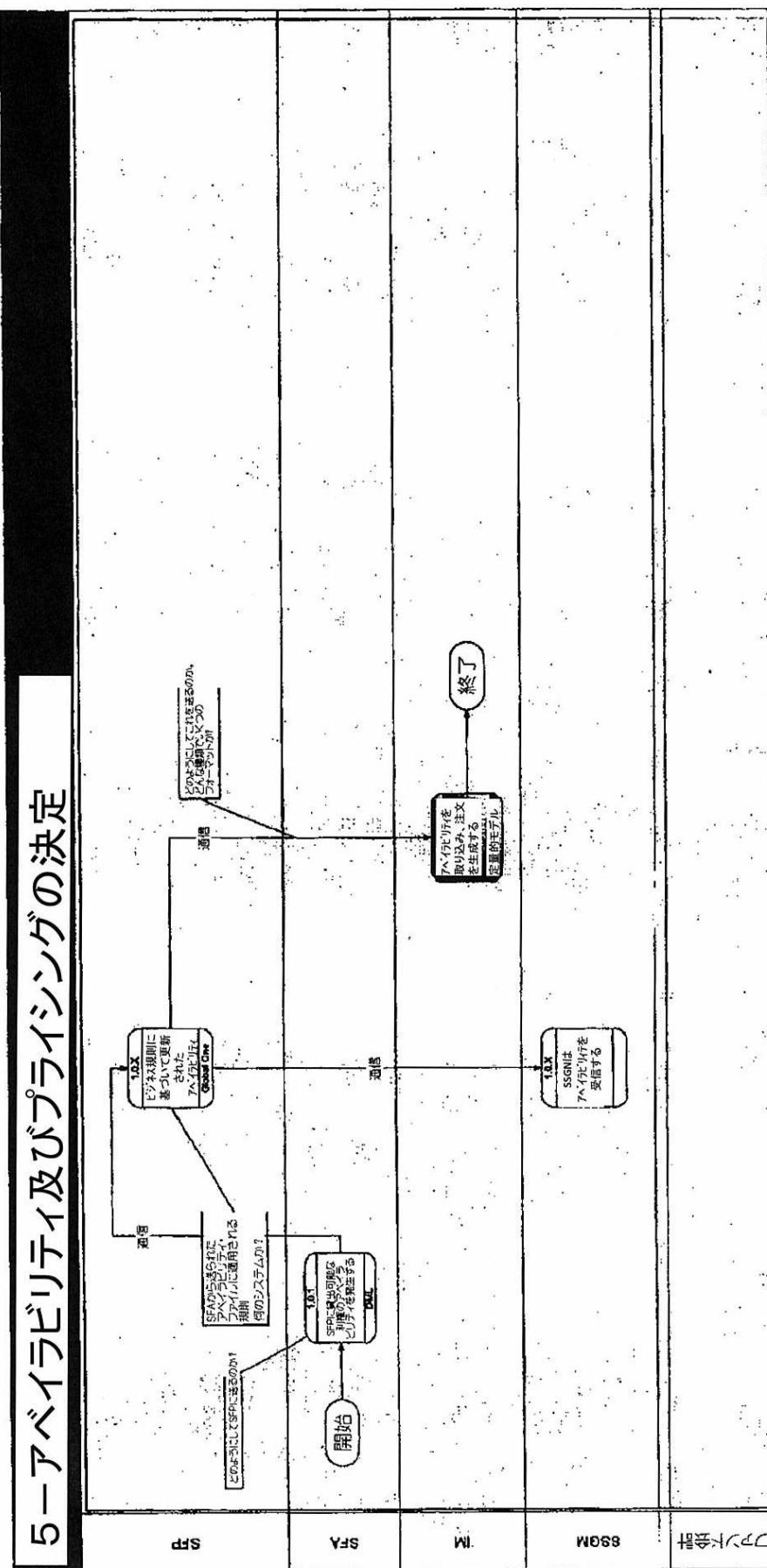
【 図 1 9 】



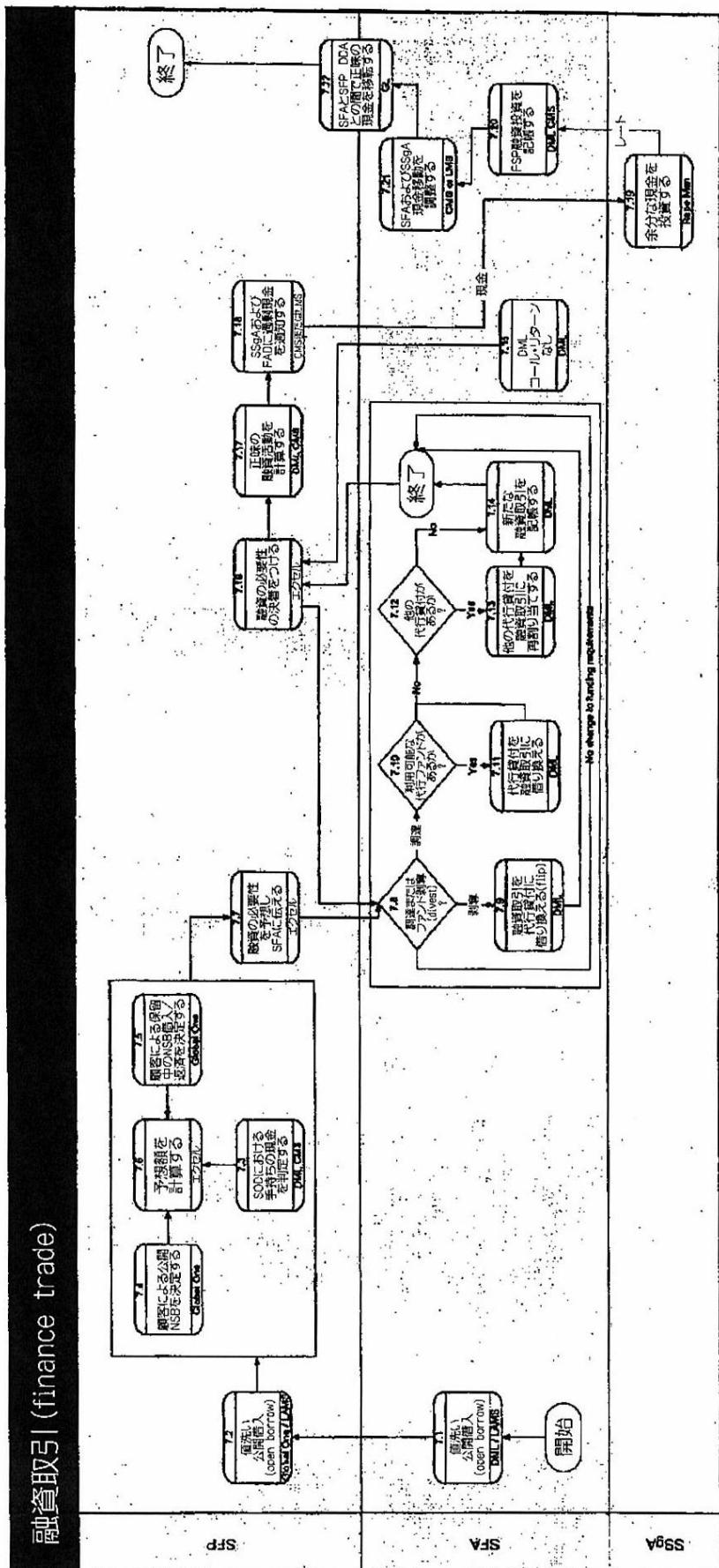
【 図 2 0 】



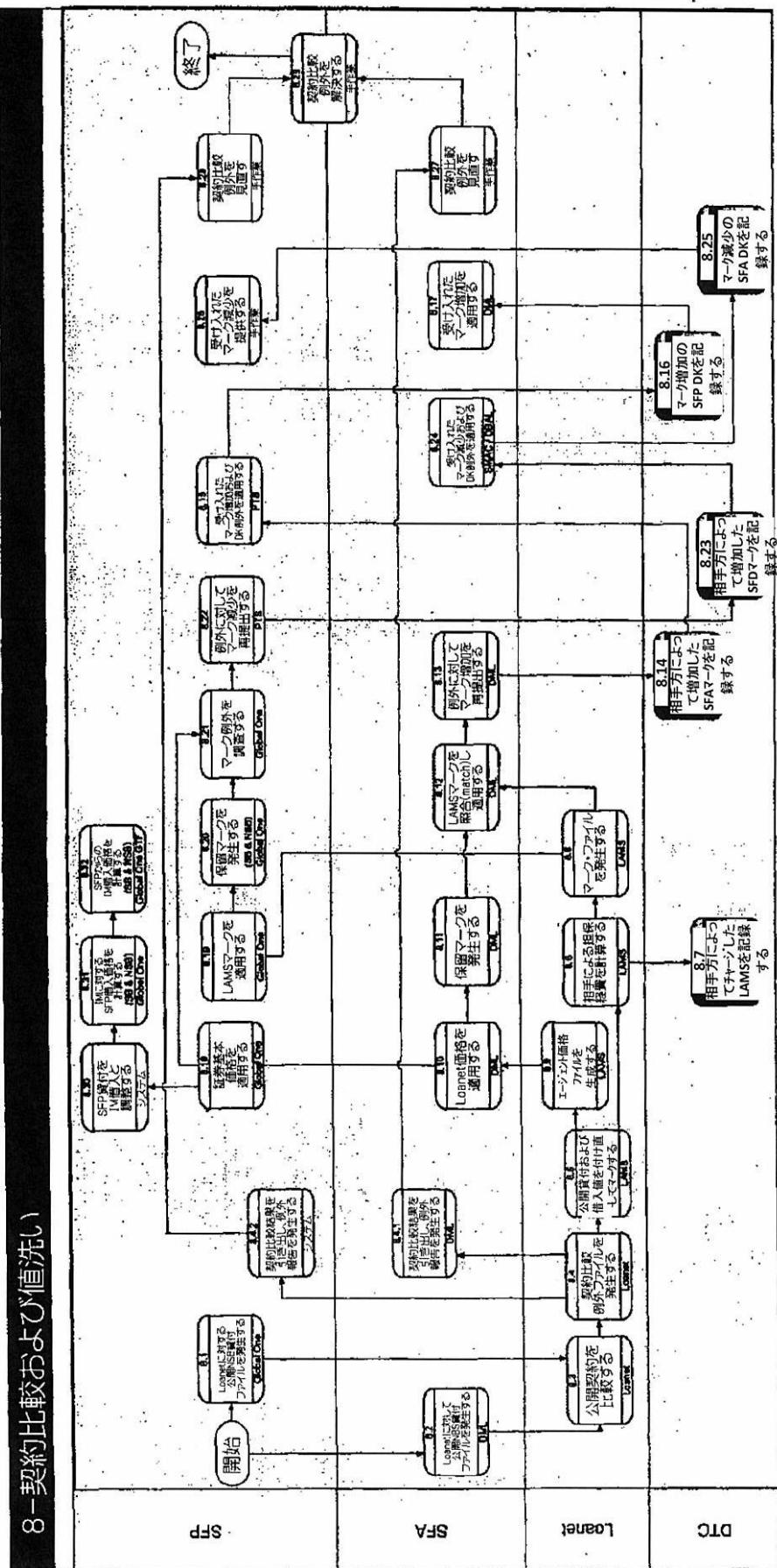
【図21】



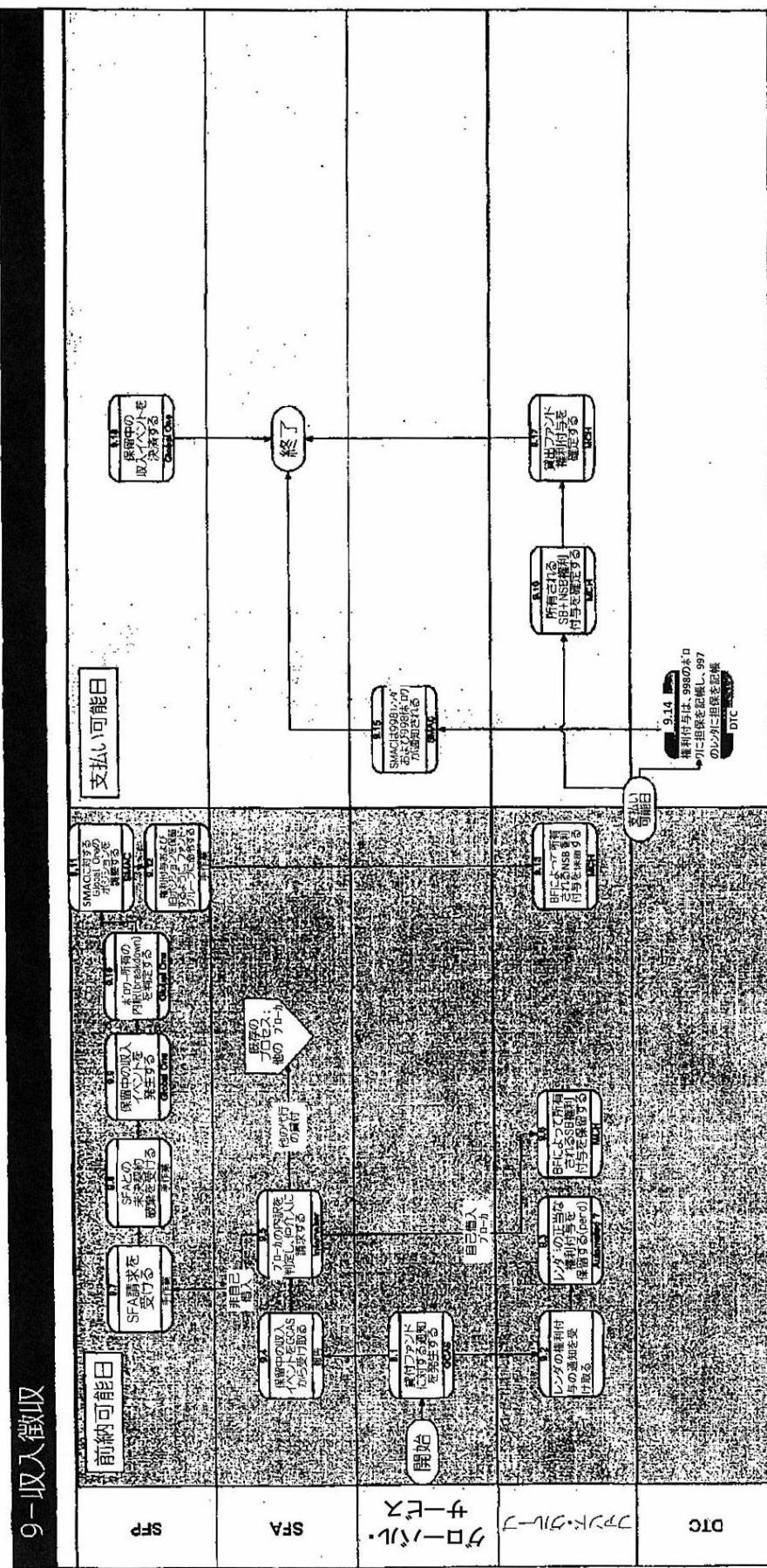
【図22】



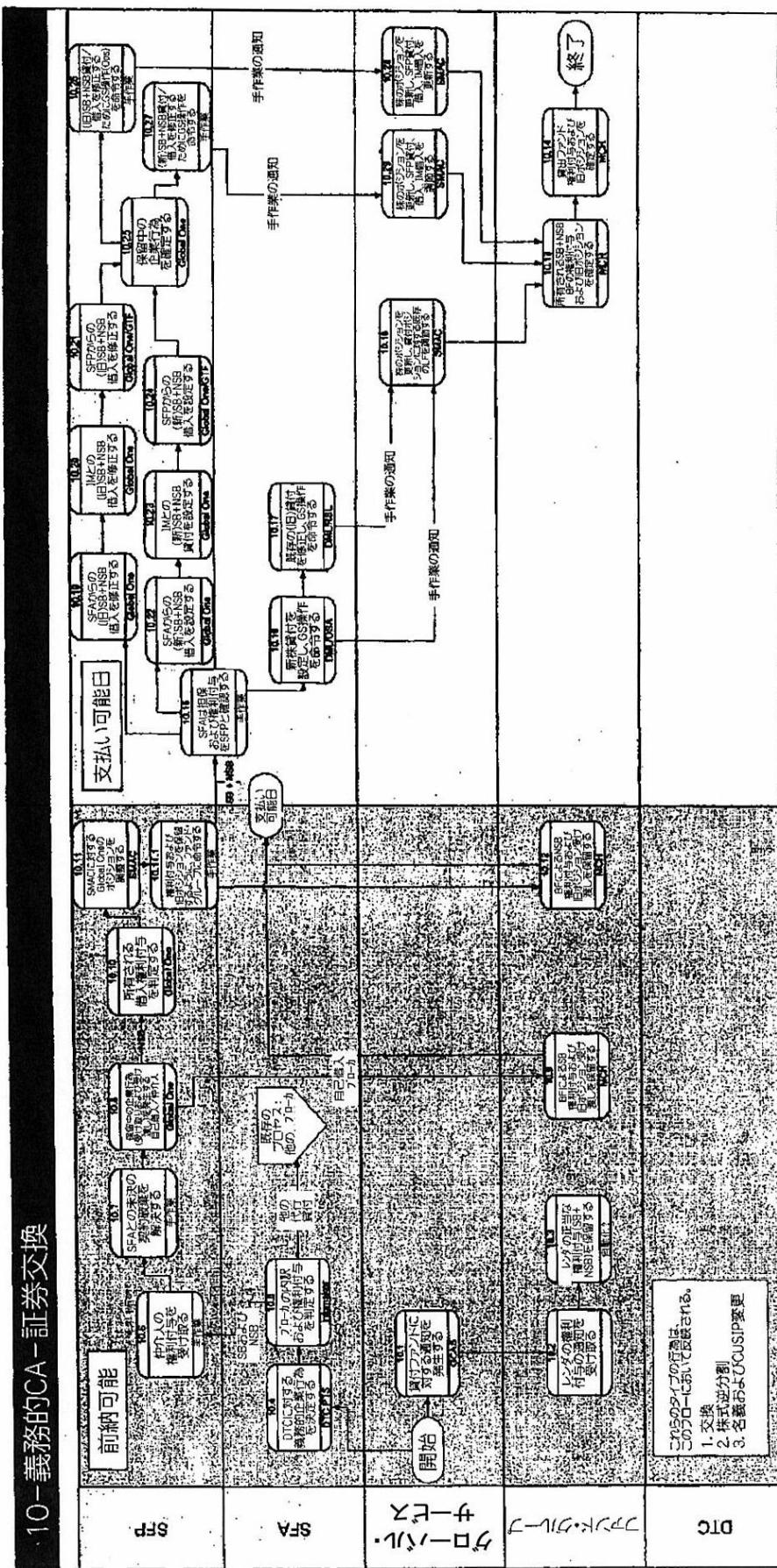
【 図 2 3 】



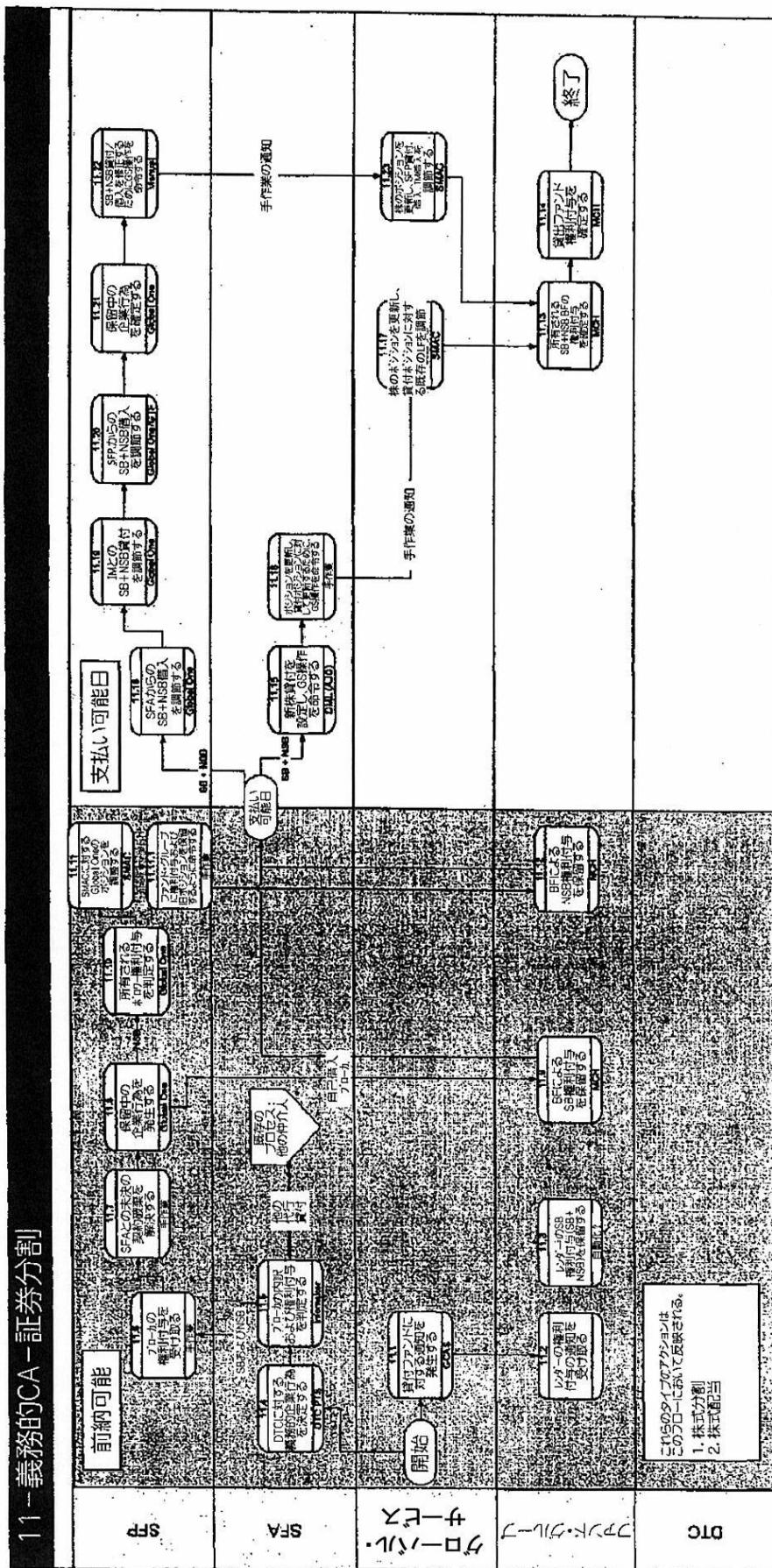
【 図 2 4 】



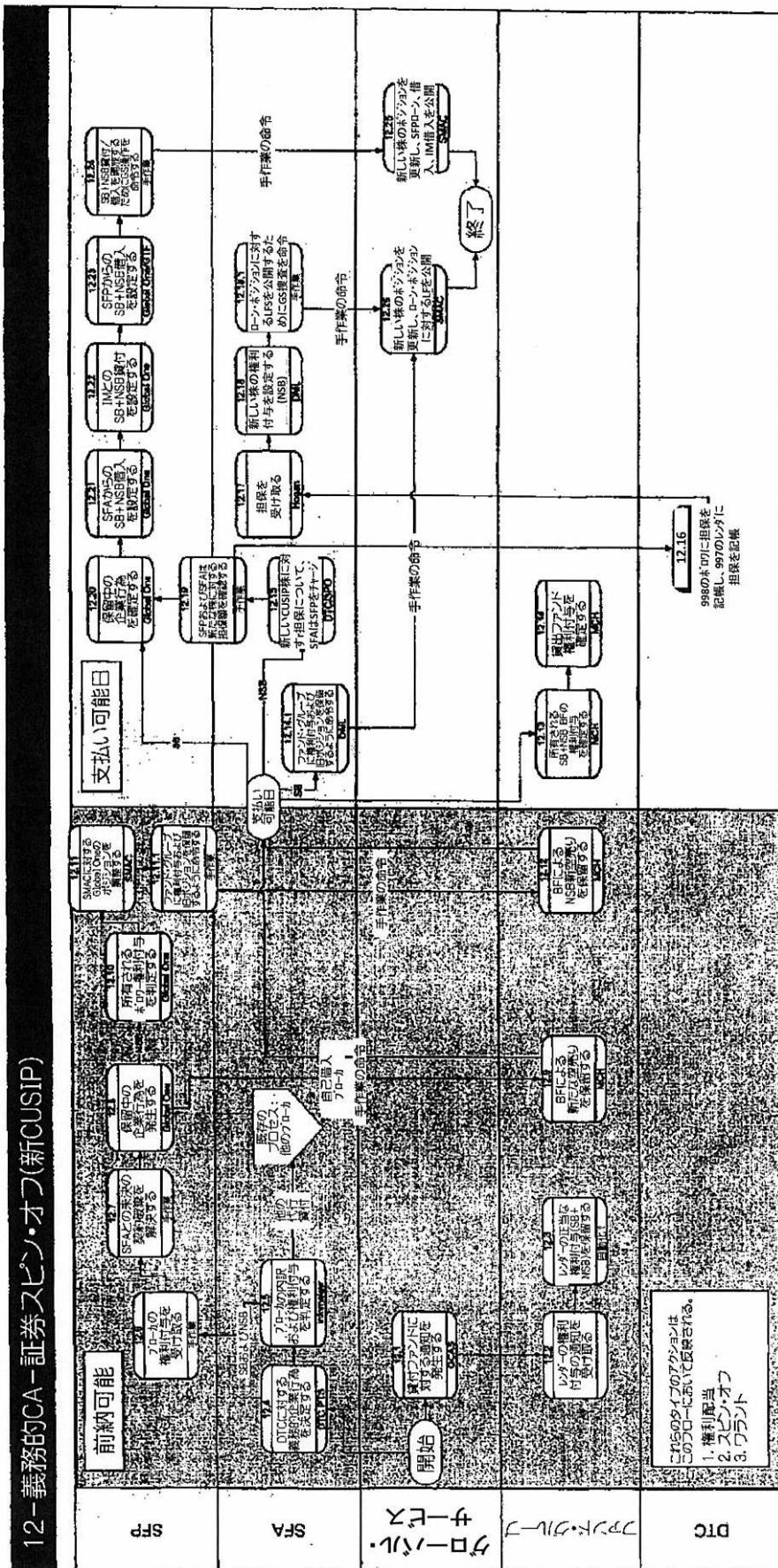
【 図 25 】



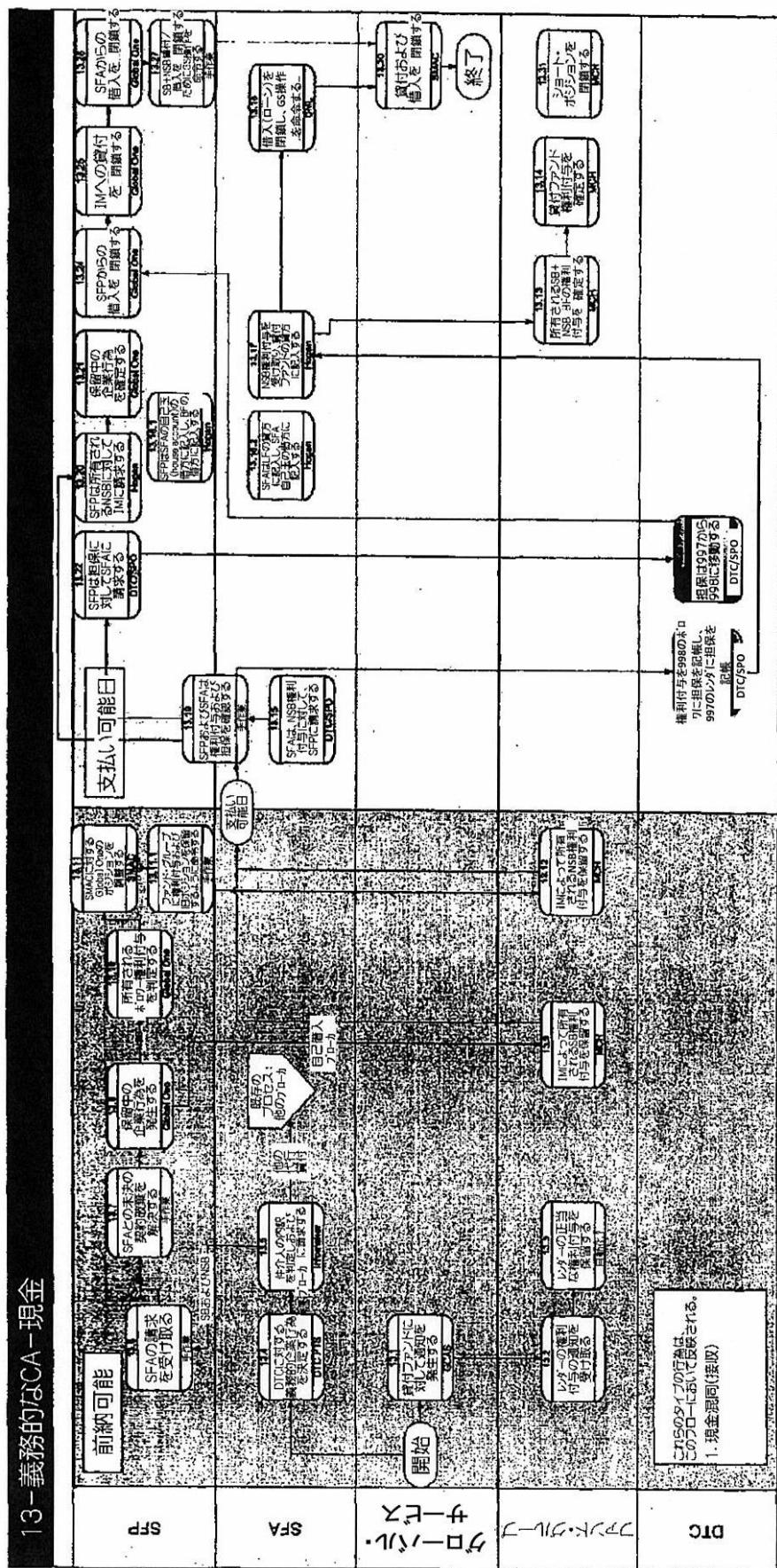
【図26】



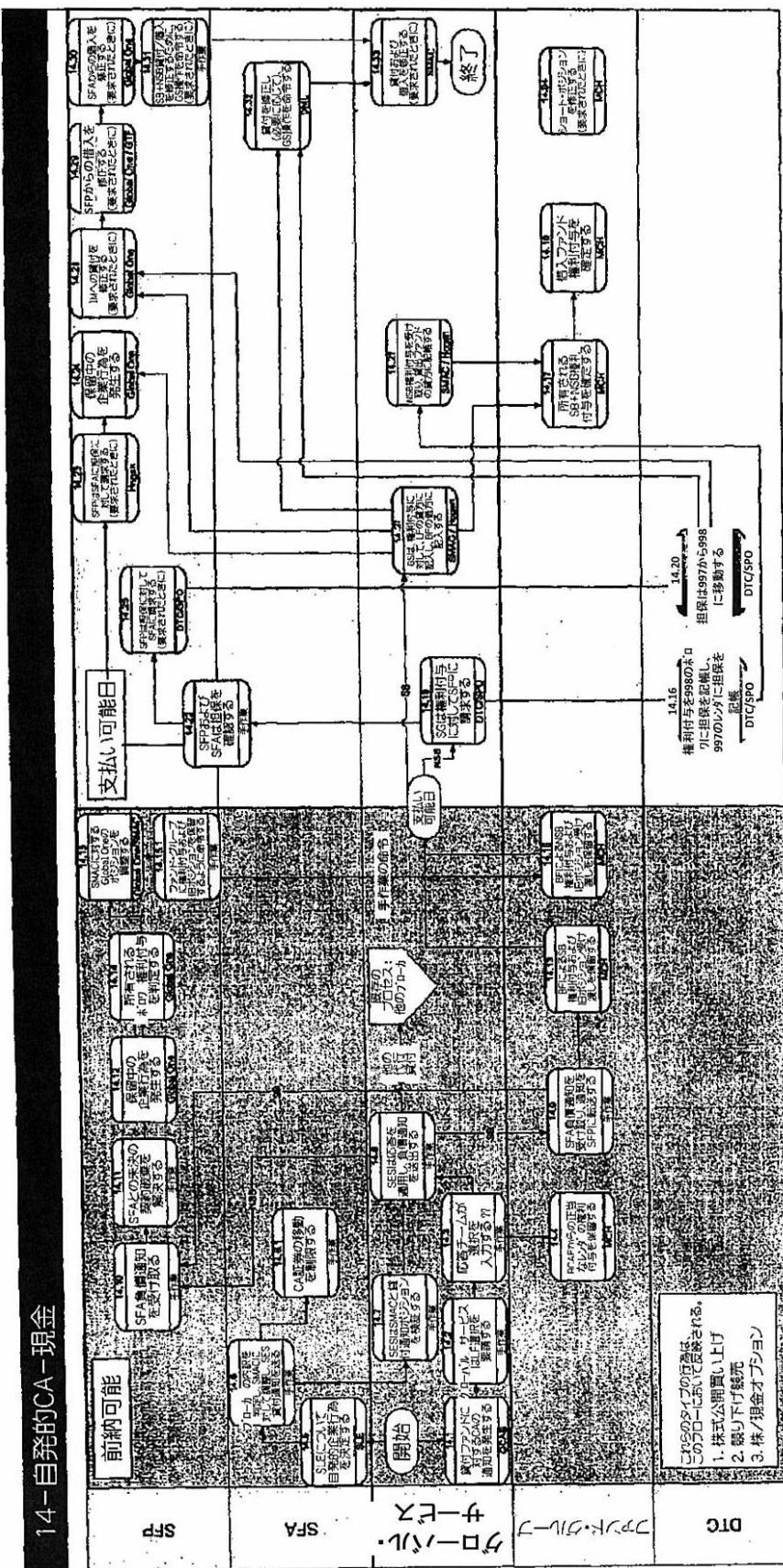
【図27】



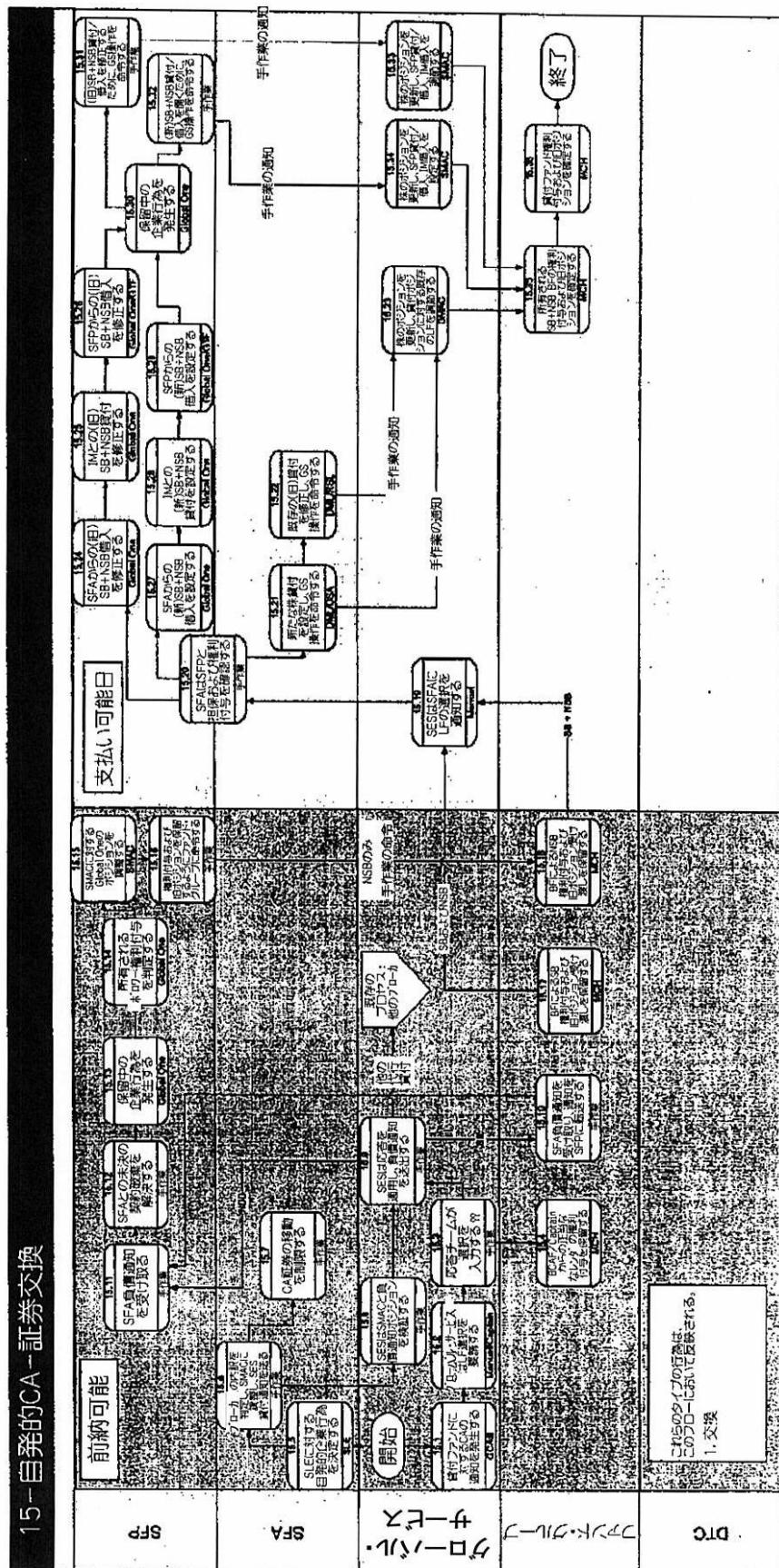
【 図 2 8 】



【図 29】



【図30】



【手続補正書】

【提出日】平成21年8月12日(2009.8.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エンティティによって管理されている証券に対してプリンシパル方式レンディング・トランザクションを実行し、前記エンティティの貸出口座から前記エンティティの借入口座に前記証券を貸し出すためのコンピュータ実装方法であって、前記エンティティは前記トランザクションにおいてプリンシパルとして振る舞い、前記方法は、

前記エンティティの貸出口座から借り入れるために利用可能な証券のアベイラビリティを示す証券アベイラビリティ情報を、プリンシパル方式レンディング・コンピュータ・システムから電子的に送信するステップと、

借入口座に対する証券の空売り指示を電子的に受信するステップと、

前記空売りした証券のカストディを少なくとも1つの貸出口座から、前記少なくとも1つの貸出口座の前記エンティティと同じエンティティの借入口座に移転するために、移転命令をカストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するステップと、

前記プリンシパル方式レンディング・コンピュータ・システムへの前記コストディの移管の記録を電子的に送信するステップと、

を備えている、コンピュータ実装方法。

【請求項2】

請求項1記載のコンピュータ実装方法において、前記空売り指示は、借入口座による空売りを検出するために取引コンピュータ・システムを監視することによって前記空売りの後に受信される、コンピュータ実装方法。

【請求項3】

請求項1記載のコンピュータ実装方法において、前記空売り指示は、前記空売りの前に、借入要求として受信され、前記証券アベイラビリティ情報に基づいて、借り入れる証券を特定する、コンピュータ実装方法。

【請求項4】

請求項3記載のコンピュータ実装方法において、前記借入要求は、投資マネージャから前記借入口座に対して受け取られる、コンピュータ実装方法。

【請求項5】

請求項1記載のコンピュータ実装方法において、証券アベイラビリティ情報を電子的に送信する前記ステップが、

借入のために求められる証券を特定する証券位置特定要求を電子的に受けるステップと、

借入のために求められる証券のアベイラビリティを示す証券位置特定要求応答を電子的に送信するステップと、

を備えている、コンピュータ実装方法。

【請求項6】

請求項5記載のコンピュータ実装方法において、前記証券位置特定要求は、投資マネージャから前記借入口座に対して受信される、コンピュータ実装方法。

【請求項7】

請求項1記載のコンピュータ実装方法において、前記貸出口座および前記借入口座は、双方共前記エンティティの同じクライアントに属する、コンピュータ実装方法。

【請求項8】

請求項1記載のコンピュータ実装方法において、前記証券アベイラビリティ情報は、プリンシパル方式レンディング業務処理に関与することを試みる貸出口座からの情報に基づいて、前記プリンシパル方式レンディング・コンピュータ・システムに格納される、コ

ンピュータ実装方法。

【請求項 9】

請求項 8 記載のコンピュータ実装方法において、プリンシバル方式レンディング・トランザクションに関与しようと試みる貸出口座からの前記情報は、前記エンティティの貸出エージェントから受信される、コンピュータ実装方法。

【請求項 10】

請求項 1 記載のコンピュータ実装方法であって、更に、プリンシバル方式レンディング・トランザクションのために現金担保を得るために、前記借入口座によって保持されている買い持ち証券のプローカに対する貸出トランザクションを開始するステップを備えている、コンピュータ実装方法。

【請求項 11】

請求項 1 記載のコンピュータ実装方法において、前記空売りした証券のカストディを前記少なくとも 1 つの貸出口座から前記借入口座に移転するために、前記移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信する前記ステップの結果、前記借入証券の売却の収益が前記借入口座に送信される、コンピュータ実装方法。

【請求項 12】

請求項 11 記載のコンピュータ実装方法において、前記空売りした証券のカストディを前記少なくとも 1 つの貸出口座から前記借入口座に移転するために、前記移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信する前記ステップの結果、前記借入証券の売却の収益が前記借入口座に送信され、前記クライアントが、当該クライアントのロング・ポジションを埋めるために前記売却収益を用いて、前記借入口座に対する証券の購入を開始することを可能にする、コンピュータ実装方法。

【請求項 13】

エンティティによって管理されている証券に対してプリンシバル方式レンディング・トランザクションを実行し、前記エンティティの貸出口座から当該エンティティの借入口座に前記証券を貸し出すためのシステムであって、前記エンティティは前記トランザクションにおいてプリンシバルとして振る舞い、前記システムは、

前記エンティティの貸出口座から借入に利用可能な前記証券のアベイラビリティを示す証券アベイラビリティ情報を格納するように構成されているコンピュータ・データベースと、

前記コンピュータ・データベースに接続されているプリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムによって実施されるコンピュータ・サーバ・システムであって、借入口座に対する証券の空売り指示を受けるように構成されている、コンピュータ・サーバ・システムと、

を備えており、

前記プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムは、更に、前記空売りした証券のカストディを少なくとも 1 つの貸出口座から、この少なくとも 1 つの貸出口座の前記エンティティと同じエンティティの前記借入口座に移転するために、移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するように構成されており、前記プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムは、更に、前記カストディの移転の記録を電子的に受信するように構成されている、システム。

【請求項 14】

請求項 13 記載のシステムにおいて、前記空売り指示は、借入口座による空売りを検出するために取引コンピュータ・システムを監視することによって前記空売りの後に受信される、システム。

【請求項 15】

請求項 13 記載のシステムにおいて、前記空売り指示は、前記空売りの前に、借入要求として受信され、前記証券アベイラビリティ情報を基づいて、借り入れる証券を特定する、システム。

【請求項 16】

請求項 1 5 記載のシステムにおいて、前記借入要求は、投資マネージャから前記借入口座に対して受け取られる、システム。

【請求項 1 7】

請求項 1 3 記載のシステムにおいて、前記コンピュータ・サーバ・システムによって証券アベイラビリティ情報を電子的に送信する際、

借入のために求められる証券を特定する証券位置特定要求を電子的に受けることと、
借入のために求められる証券のアベイラビリティを示す証券位置特定要求応答を電子的に送信することと、
を備えている、システム。

【請求項 1 8】

請求項 1 7 記載のシステムにおいて、前記証券位置特定要求は、投資マネージャから前記借入口座に対して受信される、システム。

【請求項 1 9】

請求項 1 3 記載のシステムにおいて、前記貸出口座および前記借入口座は、双方共前記エンティティの同じクライアントに属する、システム。

【請求項 2 0】

請求項 1 3 記載のシステムにおいて、前記証券アベイラビリティ情報は、プリンシバル方式レンディング・トランザクションに関与することを試みる貸出口座からの情報に基づいて、前記プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムに格納される、システム。

【請求項 2 1】

請求項 2 0 記載のシステムにおいて、プリンシバル方式レンディング・トランザクションに関与しようと試みる貸出口座からの前記情報は、前記エンティティの貸出エージェントから受信される、システム。

【請求項 2 2】

請求項 1 3 記載のシステムにおいて、前記システムは、プリンシバル方式レンディング・トランザクションのために現金担保を得るために、前記借入口座によって保持されている買い持ち証券の貸出トランザクションを開始する、システム。

【請求項 2 3】

請求項 1 3 記載のシステムにおいて、前記空売りした証券のカストディを前記少なくとも 1 つの貸出口座から前記借入口座に移転するために、前記システムが前記移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するとき、前記借入証券の売却の収益が前記借入口座に送信される、システム。

【請求項 2 4】

請求項 2 3 記載のシステムにおいて、前記空売りした証券のカストディを前記少なくとも 1 つの貸出口座から前記借入口座に移転するために、前記システムが前記移転命令を前記カストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信するとき、前記借入証券の売却の収益が前記借入口座に送信され、前記クライアントが、当該クライアントのロング・ポジションを埋めるために前記売却収益を用いて、前記借入口座に対する証券の購入を開始することを可能にする、システム。

【請求項 2 5】

エンティティによって管理されている証券に対してプリンシバル方式レンディング・トランザクションを実行し、前記エンティティの貸出口座から前記エンティティの借入口座に前記証券を貸し出すためのコンピュータ実装方法であって、前記エンティティは前記トランザクションにおいてプリンシバルとして振る舞い、前記方法は、

前記エンティティの貸出口座から借り入れるために利用可能な証券のアベイラビリティを示す証券アベイラビリティ情報を、プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムから電子的に送信することを可能にするステップと、

借入口座に対する証券の空売り指示を電子的に受信することを可能にするステップと、前記空売りした証券のカストディを少なくとも 1 つの貸出口座から、前記少なくとも 1

つの貸出口座の前記エンティティと同じエンティティの借入口座に移転するために、移転命令をカストディ制御コンピュータ・システムに電子的に送信することを可能にするステップと、

前記プリンシバル方式レンディング・コンピュータ・システムへの前記コストディ移管の記録を電子的に送信することを可能にするステップと、
を備えている、コンピュータ実装方法。

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/US 09/42568
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC(8) - G06Q 40/00 (2009.01). USPC - 705/37 According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) USPC: 705/37		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched 705/1, 35, 36R, 38, 700/1, 90		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) USPTO WEST (PGPB, USPT, EPAB, JPAB); GOOGLE Search Terms Used: loan, lend, borrow, stock, securities, locate, identify, long, short, position, sell, profile, principal, account, entity, manager, investment, custody		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 2005/0086147 A1 (WOODRUFF et al.) 21 April 2005 (21.04.2005, entire document, especially para [000], [0011]-[0012], [0017]-[0018], [0028]-[0029] and Figs 1-2	1-4, 7-9, 11, 13-16, 19-21, 23, 25
Y		5-6, 10, 12, 17-18, 22, 24
Y	US 2004/0220872 A1 (POLLOCK III) 04 November 2004 (04.11.2004), entire document, especially para [0034]-[0035], [0110], [0198], [0368]	5-6, 17-18
Y	US 2002/0194109 A1 (TAKESHI) 19 December 2002 (19.12.2002), entire document, especially para [0022], [0030], [0070] and abstract	10, 12, 22, 24
A	US 2008/0052214 A1 (MARTINEZ et al.) 28 February 2008 (28.02.2008)	1-18
A	US 2007/0299786 A1 (BREGSTEIN et al.) 27 December 2007 (27.12.2007)	1-18
A	US 2006/0277124 A1 (GERRIETTS II) 07 December 2006 (07.12.2006)	1-18
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/>		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubt on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		
Date of the actual completion of the international search 29 May 2009 (29.05.2009)		Date of mailing of the international search report 09 JUN 2009
Name and mailing address of the ISA/US Mail Stop PCT, Attn: ISA/US, Commissioner for Patents P.O. Box 1450, Alexandria, Virginia 22313-1450 Facsimile No. 571-273-3201		Authorized officer: Lee W. Young PCT Helpdesk: 571-272-4300 PCT OSP: 571-272-7774

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW,GH,GM,KE,LS,MW,MZ,NA,SD,SL,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,MD,RU,TJ,TM),EP(AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,SE,SI,S,K,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IS,JP,K,E,KG,KM,KN,KP,KR,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PG,PH,PL,PT,RO,RS,RU,SC,SD,SE,SG,SK,SL,SM,ST,SV,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,ZA,ZM,ZW

(特許庁注：以下のものは登録商標)

1. JAVA

(72)発明者 オルソン,スコット・ダブリュー

アメリカ合衆国マサチューセッツ州01945,マーブルヘッド,バーナゲット 5

(72)発明者 マクローニ,ブライアン・ジェイ

アメリカ合衆国マサチューセッツ州02050,マーシュフィールド,アロー・ヘッド・ロード
231

(72)発明者 フレミング,ポール・ジェイ

アメリカ合衆国マサチューセッツ州02111,ボストン,リンカーン・ストリート 1

(72)発明者 ホナー,グレン

アメリカ合衆国マサチューセッツ州02056,ノーフォーク,パークシャー・ストリート 51

【要約の続き】

【選択図】 図1